

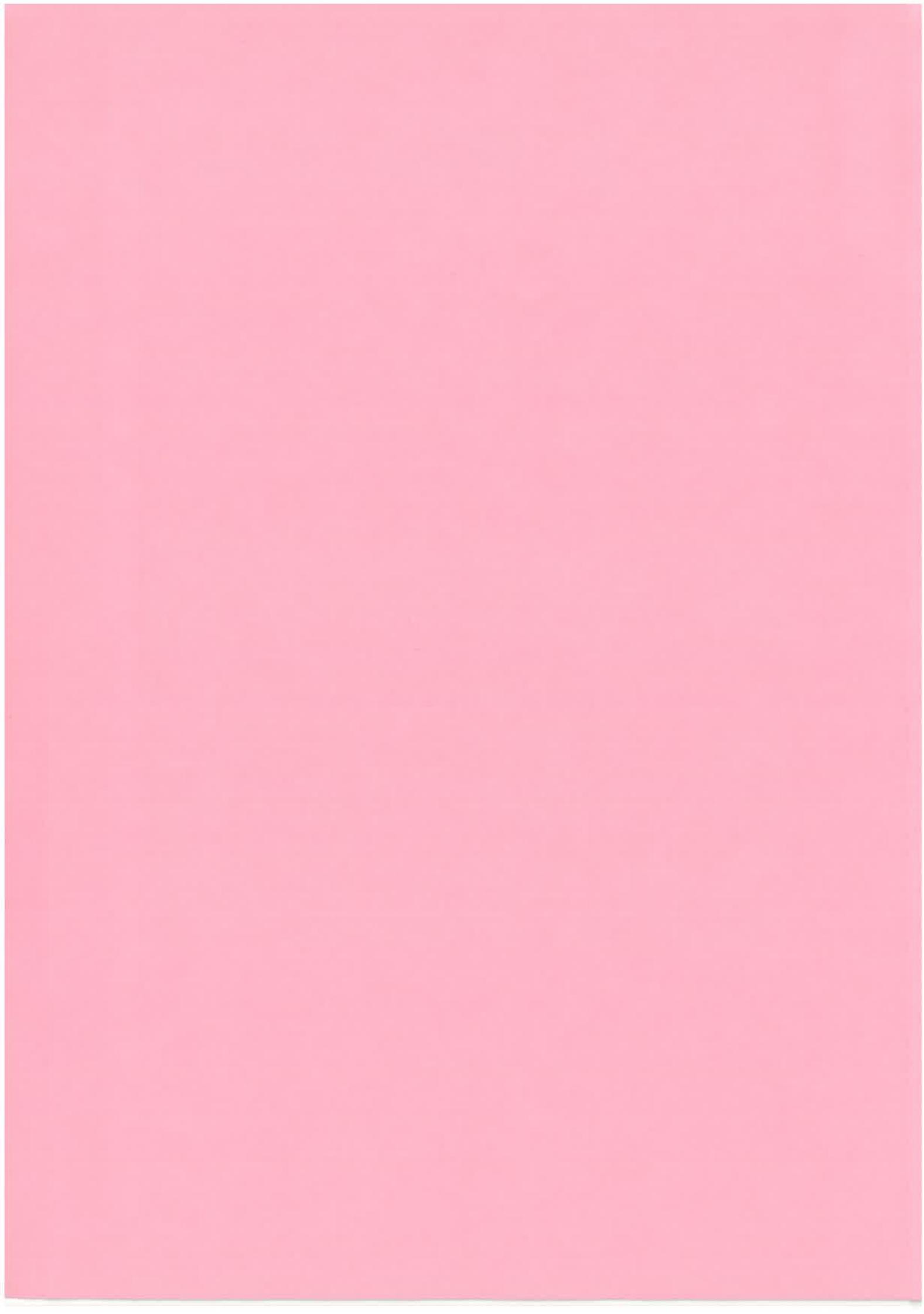


## 研究実践記録 第32集

主体的、対話的で深い学びの実現  
～世界に向け心を開く子どもの育成～



令和2年度  
ソウル日本人学校



## はじめに

校長 小山 一成

2020年度は、長い学校教育の歴史の中でもこれまで前例がない1年間となりました。4月、臨時休校の延長による始業日の延期から今年度はスタートしました。

手探りの中で始まったオンライン授業、どのように接続し、どのように操作したらオンライン授業ができるのか、1単位時間に必要な準備はどのくらいあるのか、校内の配信環境が持ち堪えられるのか、様々な初めて経験する課題や問題点ばかりでした。それでも画面越しの子どもたちの元気な姿や声を支えにオンライン授業は進められました。

オンライン授業を現有の職員で配信し始めたころ、さらに、大きな問題がもう一つありました。新規派遣教員が着任できない事態が待ち受けていました。日本からの出国が制限され、日本を出発できない状況が続きました。日本から授業配信を試みる学年もありました。このような状況下でも国内で授業研究に取り組み、オンラインで授業提案をする教師もいました。

7月、それでも大使館と日本人会の方々の国内への強い働きかけにより世界で最も早く新派遣教員を迎えることが出来ました。夏休み前、ようやく全職員が揃い、2020年度の校内研修も全員で行うことが出来る状況になりました。

2020年度は、昨年度の研究主題《主体的、対話的で深い学びの実現～世界に向かへ心を開く子どもの育成～（各教科における道徳教育の推進）》に引き続き、今年度の研究主題を次のように定め、授業研究、教養・現地理解研修、幼小中連携、ソウル大学語学研修の4つの内容を柱に研究を進めてまいりました。

### 主体的、対話的で深い学びの実現 ～世界に向かへ心を開く子どもの育成～

研究の詳しい内容については、この研究紀要をご覧いただき、ぜひ、本校の研究の様子にご助言、ご指導いただければ幸いです。今年度の研究会は、授業参観もオンラインにて行いました。また、授業後の分科会や全体協議会もオンラインで行いました。

コロナ禍という状況で研究推進にはいろいろな制約はありましたが、それでも職員皆の知恵を集結させて、今年度の研究をまとめることができました。

私たちは在外教育施設で子どもたちに学習内容を指導するだけでなく、現地（韓国やソウル）の文化や伝統、風習を学ぶ機会を作り、さらに自国と駐在国だけでなく世界のさまざまな国々についても関心を広げ、学びを深めていくことを目指して日々、研修を深めています。子どもたちに自国のことについて知ることや日本人として、また韓国人としてのそれぞれのアイデンティティを育てていくことを学びの中で培っています。

この歩みを停滞させることなく、今後も着実に進めていきたいと思うところです。

# 目次

## はじめに

### I 研究概要

学校経営方針

校内研究の取り組みについて

- 1 年間活動目標
- 2 研究主題  
　　主題設定の理由
- 3 全体構造図
- 4 運営の重点
- 5 研究組織図
- 6 本校の研究活動
- 7 研究部組織
- 8 研究計画

### II 研究授業実践

- 1 幼稚部ブロック
- 2 低学年ブロック
- 3 中学年ブロック
- 4 高学年ブロック
- 5 中学部ブロック

### III 研究のまとめ

### IV 他

- 1 コロナ対策の為の今年度の資料
- 2 ICT を活用した教育体制構築に関する実証事業報告書

## あとがき

令和2年4月1日

新学習指導要領実施  
新しい時代の学校づくり

こんな子どもに・・・  
こんな学校に・・・  
こんな教師に・・・  
こんな家庭に・・・



## 令和2年度 学校経営の方針



学校教育目標

たくましく心豊かに世界に生きる子どもの育成

ソウル日本人学校

## 令和2年度 学校経営計画

1 本校の教育基盤	··· 2
・本校の教育基盤	
・諸法規	
・学習指導要領	
・社会の変化と要請	
・海外子女教育の充実	
2 本校の基本方針	··· 6
3 本校の教育目標	··· 6
4 学校経営の重点	··· 7
5 本年度の具体的取組	··· 8
6 教育課程の編成（特色ある本校の教育活動）	··· 11
7 その他（教育課程外の活動、大使館、現地との連携について）	··· 13
【資料】	
・ソウル日本人学校規則	··· 14
・外国人学校の内国人在学生処理方案	··· 17

令和2年4月1日  
ソウル日本人学校  
校長 小山 一成

## 令和2年度 学校経営計画

### 1 本校の教育基盤

**日本国憲法、教育基本法をはじめとする諸法規に準拠し、学習指導要領の指導方針に則り、初等中等教育の推進を図る。また、社会の要請や保護者の願いや期待に応え、人間性豊かな心身の調和のとれた子どもの育成に努めることで、本校の教育目標である「たくましく心豊かに世界に生きる子どもの育成」をめざす。**

### 【諸法規】

#### ① 日本国憲法

##### ・第4条（義務教育）

「国民は、その保護する子女に、九年の普通教育を受けさせる義務を負う。」

##### ・第26条（教育を受ける権利）

「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。」

※憲法第26条は、属地的に働く規定である。憲法第26条は直接在外邦人子女に適用されない。

※教育の機会均等や義務教育の無償を定めた憲法第26条の精神に沿って、在外教育施設の小学部、中学部に対して文科省や外務省が支援を行っている。

#### ② 教育基本法 第1章

##### ・第1条（教育の目的）

「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」

##### ・第2条（教育の目標）

「教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

##### ・第3条（生涯学習の理念）

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」

##### ・第4条（教育の機会均等）

「すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。」

国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。

国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者

に対して、奨学の措置を講じなければならない。」

③ 学校教育法施行規則

④ 文部科学省設置法

- ・第4条（所掌事務）第14号

「海外に在留する邦人の子女のための在外教育施設及び関係団体が行う教育、海外から帰国した児童及び生徒の教育並びに本邦に在留する外国人の児童及び生徒の学校生活への適応のための指導に関すること。」

⑤ 在外教育施設の認定等に関する規程（文部省告示第114号）

第1章 認定の基準

（認定）

第1条 文部科学大臣は、在外教育施設の設置者（在外教育施設を設置しようとする者を含む。以下同じ。）の申請に基づき、当該在外教育施設が小学校、中学校又は高等学校（以下「小学校等」という。）の課程と同等の課程を有する旨の認定を行うことができる。

（教育課程）

第9条 申請施設の教育課程については、学校教育法及び学校教育法施行規則並びに小学校学習指導要領、中学校学習指導要領又は高等学校学習指導要領の定めるところによらなければならない。ただし、地域社会、当該申請施設又は当該申請施設に在学する児童生徒の実態等から特に必要があり、かつ、小学校等と同等の教育水準が確保できると認められる場合には、その一部について特別の教育課程によることができる。

（教職員）

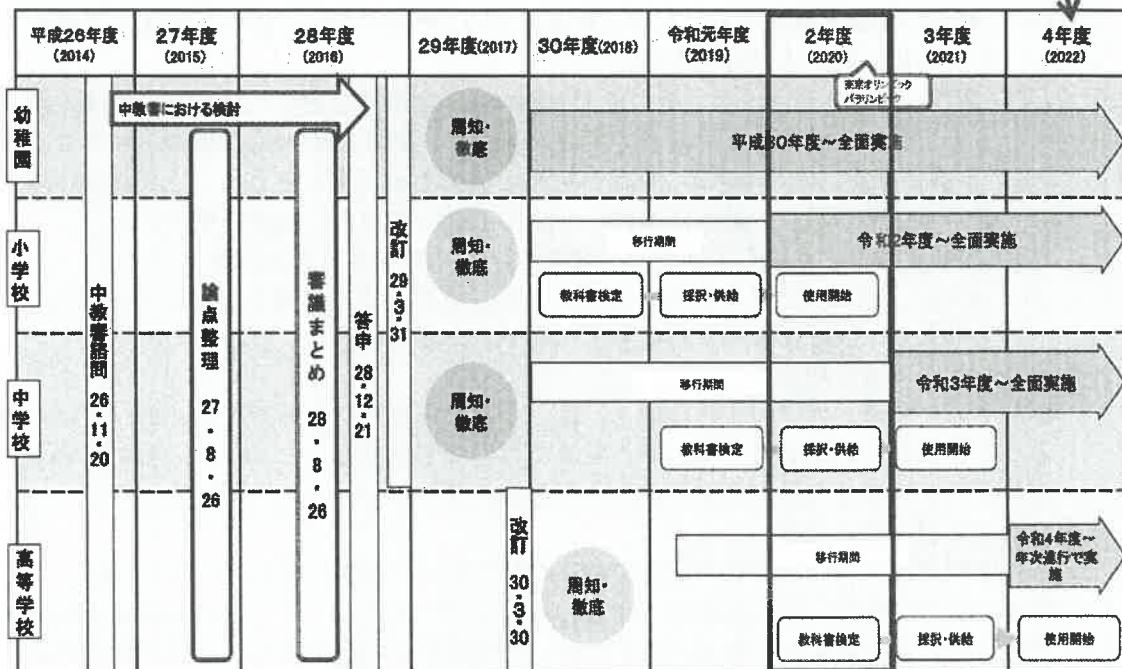
第11条 申請施設には、学校教育法第37条第1項に定めるところに準じて、校長、教頭、教諭、養護教諭及び事務職員（以下「教職員」という。）を置かなければならない。ただし、特別の事情のある場合には、教頭又は事務職員を置かないことができる。

⑥ ソウル日本人学校規則（※巻末参照）

本校50周年

【学習指導要領】

今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール



特別支援学校学習指導要領(幼稚部及び小学部・中学部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。  
特別支援学校学習指導要領(高等部)は、平成31年2月4日に改訂告示を公示。

## 学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

### 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

### 何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の  
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造  
的に示す

学習内容の削減は行わない\*

### どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティヴ・  
ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求  
められる資質・能力を育成  
知識の量を削減せず、質  
の高い理解を図るために  
学習過程の質的改善

主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び

## 育成すべき資質・能力の三つの柱



学校教育法第30条第2項が定めるいわゆる学力の三要素（「基礎的な知識及び技能」これらを活用して課題を解決  
するために思考力・判断力・表現力その他の能力」「主体的に学習に取り組む態度」）を議論の出発点としながら、学習する子  
供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

学びに向かう力、人間性等

### どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

### 何を理解しているか 何ができるか

知識及び技能

### 理解していること・できる ことをどう使うか

思考力、判断力、表現力等

## 【社会の変化と要請】

Society 5.0 の社会像…IoT、ロボット、人工知能、ビッグデータ等の先進技術を活用することで、新たな価値を創出し、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することのできる新たな時代

※狩獵社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く新たな社会を指す。

※IoT:身の回りのあらゆるモノがインターネットにつながる仕組み  
AI 技術の発達 ⇒ 定型的業務や数値的に表現可能な業務は、AI 技術により代替が可能に

## Society 5.0 における学びの在り方、求められる人材像

AI 等の先端技術が教育にもたらすもの ⇒ 学びの在り方の変革へ

学校が変わる。学びが変わる。⇒ Society 5.0 における学校（「学び」の時代）へ

- ・一斉一律授業の学校 → 読解力など基盤的な学力を確実に習得させつつ、個人の進度や能力、関心に応じた学びの場へ
- ・同一学年集団の学習 → 同一学年に加え、学習到達度や学習課題等に応じた異年齢・異学年集団での協働学習の拡大
- ・学校の教室での学習 → 大学、研究機関、企業、NPO、教育文化スポーツ施設等も活用した多様な学習プログラム

共通して求められる力： 文章や情報を正確に読み解き対話する力

科学的に思考・吟味し活用する力

価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力

新たな社会を牽引する人材： 技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材

技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材

様々な分野において AI やデータの力を最大限活用し展開できる人材

## 【海外子女教育の充実】：グローバル人材育成

○海外の日本人学校や現地校、補習授業校で学ぶ子供たちは、我が国と異なる言語・文化・社会環境の中で生活・学習しており、将来のグローバル人材の「金の卵」である。これらの子供たちが真のグローバル人材となるためには、海外での利点を最大限に活かした教育を受けることに加えて、日本人としてのアイデンティティを培うことや我が国の歴史、伝統文化、国語、道徳等をしっかりと学ぶことも重要であり、グローバル人材育成の最前線にある在外教育施設の教育の質の向上を図ることは、我が国のグローバル化戦略の中でも極めて重要な有効な施策である。

○これまで国においては、特に義務教育段階にある海外の子供たちに、可能な限り日本の義務教育に近い教育を提供できるよう国内から教員を派遣し、日本に帰国・進学する際の接続を円滑にする観点から、在外教育施設の認定制度を設けるなどの施策を実施してきた。加えて、今後は我が国のグローバル人材育成を強化する観点から、在外教育施設を高度グローバル人材育成のための拠点としてより積極的に捉え、教育の強化を図ることが重要である。

## 2 本校の基本方針

- (1) 韓国・ソウルで生活しているという貴重な体験を生かして特色ある教育活動を推進する。  
→「現地理解・国際理解教育」の推進
- (2) 基礎・基本の確実な定着を図るとともに、一人ひとりの個性を生かし、能力を高め、知・徳・体の調和のとれた教育を通じ、心身ともに健康で国際性豊かな幼児・児童・生徒の育成に努める。  
→「確かな学力の定着と自己実現」の推進
- (3) さまざまな体験を通して、真に社会で「生きる力」を育むことができるよう、全教職員が専門職としての資質と常に教育者としての使命感にあふれ、個々の特性や力量が生かされる組織と協働的な学校経営を進める。  
→「学校経営への教職員の協働参画」の推進

## 3 本校の教育目標

たくましく心豊かに世界に生きる子どもの育成

子ども達の自主・自立を願い、優しく思いやりのある人間関係づくりに努め、自分の目標に向かって努力・実践を惜しまない国際性豊かな子どもの育成。

(1) めざす子ども像（自分の目標に向かって努力する子ども）

- (ア) 礼儀正しく、進んで行動する子ども  
(イ) 健康で、思いやりのある子ども  
(ウ) 夢をもち、世界に向け心を開く子ども  
(エ) 自他の人格を尊重し、和を重んじる愛情豊かな子ども

(2) めざす教師像（教育愛に富み常に教育者としての使命感溢れる教師）

- (ア) 子どもを共感的に理解し、愛情を持って接する教師  
(イ) 子どもと共に活動し、子どもの喜びを共感できる教師  
(ウ) 情熱と責任をもち、共に励む教師  
(エ) 夢をもち、世界に目を向ける教師  
(オ) 自ら研修に努め、子どもや保護者から信頼される教師

(3) めざす学校像（子ども達が楽しく生活できる魅力ある学校）

- (ア) 明るく楽しい雰囲気のただようさわやかな学校  
(イ) 学習環境が整備され、美しく潤いのある学校  
(ウ) 子どもたち一人一人が大切にされ夢をもち、世界に向け心を開く学校  
(エ) 保護者や地域に開かれた信頼される、安心・安全な学校

### ①本校児童の実態

(ア) 礼儀正しく、進んで行動する子ども

- ・明るく元気で進んで行動することができる。
- ・社会のルールやマナー、規則や約束を守ろうとする気持ちが育っている。
- ・挨拶のできる子どもが多いが、T P Oを考えた挨拶の仕方を身につけていきたい。

**(イ) 健康で、思いやりのある子ども**

- ・運動が好きな子どもが多い。日頃から外遊びを好んでする子どもが多い。
- ・地域でサッカー、野球、テコンドーなどの運動に参加している子どもたちがいる。
- ・たてわり活動を通じて、上学期の子どもたちが下学期の子どもたちを大切に思いやる気持ちが育っている。また、下学期の子どもたちが上学期の子どもたちを頼りにしている。

**(ウ) 夢をもち、世界に向かう心を開く子ども**

- ・落ち着いて学習に取り組む習慣が身に付いている。
- ・韓国文化に触れたり現地校との交流会に参加したりする機会を持つことができる。

**(エ) 自他の人格を尊重し、和を重んじる愛情豊かな子ども**

- ・穏やかで素直な心を持って人に接したり行動したりすることができる。
- ・友達の意見や考えをよく聞き、認めようとする気持ちが育っている。
- ・転出入が多い環境の中で友達関係の変化を感じながらも友達を大切にしようとする。

**②保護者の願い**

- ・子どもの教育に熱心で、日頃から教育活動に協力的な保護者が多い。子どもたちが安心して落ち着いて学校生活を送ること、学習に取り組めることを第一に望んでいる。
- ・また、ソウルでの経験を大切にするとともに国内の学力水準の定着を期待している。
- ・学校評価においても教育活動、教育内容、教育環境等の項目で80%以上の肯定的な見方で学校を見守っている。

**③本校の特色**

**(ア) 子どもたちに日本と同等の教育を提供する学校である**

- 新学習指導要領の確実な実施（小）、移行期の対応と準備（中）

**(イ) 海外（韓国）にある学校である**

- 現地校との交流学習の充実
- 校外学習（社会科見学・地域探検・修学旅行等）の充実
- 韓国に学ぶ（現地理解教育、現地素材の活用等）
- 日本人としてのアイデンティティを大切にした学び（特色ある教育課程の編成）

**(ウ) 幼小中が一緒に学ぶ学校である**

- 幼児・児童・生徒をつなぐ手立て
- 教師間の具体的実践、年間計画の立案

**(エ) 派遣教員が全国から集まっている学校である**

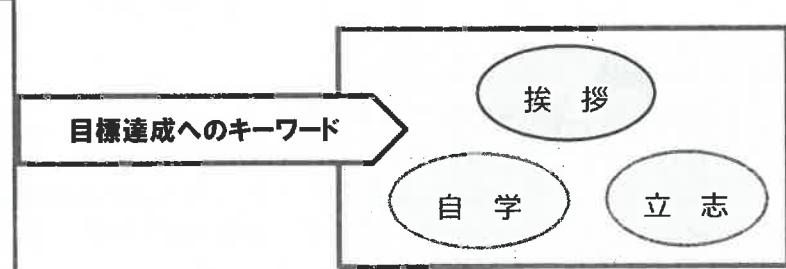
- 教育実践の相互交流
- ソウル型学校教育の構築（共通理解、共通実践）

**(5) 空間の効果的活用ができる学校である**

- オープンスペースの有効活用、IT機器等の整備と活用
- 栽培スペース・校庭の計画的な整備と活用

**4 学校経営の重点 ○一人一人の子どもを大切にする学校経営を目指して…**

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 心の教育の充実
- (3) 健康教育の推進
- (4) 国際理解教育の推進
- (5) キャリア教育の推進
- (6) 生徒指導の充実
- (7) 安全な学校づくり



## 創立49年目、区切りの年、これまでの教育活動のまとめの1年

### 新学習指導要領のスタート、新しい時代へ向けての学校づくり

#### 5 本年度の具体的取組

##### (1) 確かな学力の育成

###### ○基礎的基本的な知識や技能の習得と活用、学習意欲を高める授業づくり

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善、教材教具の準備とその活用

主張的な学び→学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び。  
対話的な学び→子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び。  
深い学び→習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きかせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び。

###### ○自己学習力の育成（自主的、意欲的な学習姿勢の育成）

- ・宿題、家庭学習の習慣化等

###### ○話し合いのできる教室

- ・自分の考えを話す。お互いの考えや意見を聞き合う。まとめ上げる活動

###### ○学習指導の質的向上

- ・指導と評価の一体化、教材研究、校内公開授業研究の推進、教育機器の活用
- ・各教科指導充実のために教具、備品等や消耗品の整備

###### ○授業時数の確保

- ・ねらいを達成するための見通しをもった計画的な指導

###### ○新学習指導要領の完全実施（小学部・幼稚部）

- ・指導内容の確実な実践（各教科内容の指導と評価）
- ・「特別の教科 道徳」及び「外国語・外国語活動」の指導と評価（小学部）
- ・新学習指導要領の実施に備え、必要な備品等の計画的な整備（小学部・中学部）
- ・「特別の教科 道徳」及び移行期の教科指導内容の確認と実践（中学部）

###### ○個に応じた指導、特別支援教育の充実

- ・支援を必要とする児童生徒への「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成と活用
- ・ケース会議の活用、幼小中の連携
- ・スクールカウンセラーの活用

##### (2) 心の教育の充実

###### ○「明るくさわやかなあいさつ」の励行と習慣化の継続

- ・職員自らが率先して、児童生徒の自主活動を生かした「あいさつ」運動の継続
- ・あいさつや返事の習慣化、定着からコミュニケーションの拡充

###### ○集会活動の充実

- ・各種集会を通して児童生徒の主体的な活動の推進

###### ○委員会活動の小中連携

- ・生徒会と児童会との連携（学校全体をリードする組織に）リーダーシップの育成

- ・各児童生徒委員会の活動の充実。児童生徒の発想を大切にした活動計画と実践
- ・常時活動の推進と児童生徒の成就感や自己肯定感の醸成

### (3) 健康教育の推進

#### ○体育指導の充実

- ・正課体育、保健指導の充実、指導時数の確保、指導教具資料の活用

#### ○季節や指導時期を考慮した体育的行事や指導の充実

- ・運動会、マラソン大会、駅伝大会等行事の実施
- ・水泳指導の計画的な取組

#### ○健康安全教育、保健指導の推進

- ・各教科や行事等での指導と日常的な取組の充実

#### ○外遊びの奨励

- ・ルールを守った外遊び、体力づくりにつながる外遊びの継続

### (4) 国際理解教育の推進

#### ○現地校との相互交流学習の充実

- ・小学部 上智小（小1）、ハヌル小（小2、6）、上岩小（小3）、明知小（小4）  
新龍山小（小5）との交流学習
- ・中学部 善一中、Dwight International School との交流学習、善一中との交換一日体験

#### ○現地教材を取り入れた校外学習（社会科見学・地域探検・修学旅行等）の充実

- ・小学部 下学年遠足（小1～小3）、上岩洞探検（小2）、二村洞探検（小2）、  
消防署見学（小3）、浄水場見学（小4）、工場見学（小3・小4・小5）、  
博物館見学（小5・小6）、宿泊学習（小4・小5）、修学旅行（小6）等
- ・中学部 ソウル市内校外学習（中1・中2）、福祉体験学習（中1）、職業体験学習（中2）、  
修学旅行（中3）等

#### ○コミュニケーション能力の向上と異文化理解のための言語教育の推進

- ・韓国語教育（小1～中3）、英会話教育（幼稚部～中3）
- ・交流の場面での活用、日常生活での使用

#### ○日本人としてのアイデンティティを大切にした学び（特色ある教育課程の編成）

- ・自分の役割を自覚し主体的に取り組む行事や活動：運動会、発表会（ワクフェス等）、ソウルタイム
- ・日本文化を大切にした活動：ソウル太鼓の継承、集会での発表
- ・教育活動、週時程の工夫と計画的な実施：クラブ・委員会活動、チャレンジタイム、清掃活動等

#### ○教職員研修の充実（教師自身が韓国を知ること）

- ・韓国の教育事情の理解
  - 1年目：課題設定→3年間のプランニングの提出
  - 2年目：課題見直し・調査活動
  - 3年目：まとめと報告→現地教育事情等に関する調査・研究最終報告書提出
- ・現地理解研修の充実

### (5) キャリア教育の推進

#### ○自己を見つめ、将来への目標を持ち、進路を切り開く節目をとらえたキャリア教育の実践

- ・教科指導等におけるキャリア教育の充実（生活・社会科、職業体験、1/2成人式、立志式等）
- ・成長の節目を意識した行事での実践
  - 入学式、入園式、卒業式、卒園式他
  - ・ソウル日本人学校の進路指導体制づくり
  - 進路指導、進路説明会、中3三者面談、国内情報の入手、国内高校からの進路説明来校

## (6) 生徒指導の充実

### ○児童生徒理解と共感的な学級づくりの推進

- ・日々の関わり（子どもとの遊ぶ時間の確保）を大切にし、声をかけ、よく話し、見守る中で児童と教師の信頼関係の構築
- ・転出入が多く流動的な環境の中での児童相互の人間関係の構築
- ・規範意識の育成と基本的生活習慣の確立  
(きまりや約束を大切にし、それを守る気持ちを育てる。)
- ・人権尊重の気持ちを育てる。

特に言葉づかい、名前の呼び方→教師の学習指導時、日常生活時の話し方が子どもの規範の元になる。

- ・自己存在感、自己肯定感の得られる学級づくり

(学級になくてはならない存在であること、一人一人の居場所を大切に)

### ○「ソウル日本人学校いじめ防止基本方針」に沿った取り組みの充実

- ・いじめを許さない学級集団
- ・年間指導計画に沿った取り組みの充実
- ・「いじめ防止対策推進法」に則った指導体制

### いじめ防止対策推進法

#### 第一章

##### 第一条（目的）

この法律は、いじめが、いじめを受けた児童等の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであることに鑑み、児童等の尊厳を保持するため、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のための対策に関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体等の責務を明らかにし、並びにいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針の策定について定めるとともに、いじめの防止等のための対策の基本となる事項を定めることにより、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする。

##### 第二条（定義）

この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

##### 第三条（基本理念）

いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関する問題であることに鑑み、児童等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずにいじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

2 いじめの防止等のための対策は、全ての児童等がいじめを行わず、及び他の児童等に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することができないようにするため、いじめが児童等の心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する児童等の理解を深めることを旨として行われなければならない。

3 いじめの防止等のための対策は、いじめを受けた児童等の生命及び心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

第四条（いじめの禁止） 児童等は、いじめを行ってはならない。

## (7) 安全な学校づくり

### ○職員の危機管理意識の徹底

- ・海外で生活しているという自覚と意識
- ・有事、緊急時等の対応 マニュアルの運用↓

(ソウル日本人学校安全対策マニュアル 日本大使館安全マニュアル)

- ・緊急メールや緊急連絡網による情報

### ○登下校時の安全管理の充実

- ・7時10分：派遣教員（二村洞）による登校指導、バス乗車時の安全指導、添乗
- ・7時45分：派遣教員（上村岩）による自力通学児童生徒への登校指導、安全確保
- ・下校指導、バス乗車時の安全指導の徹底

### ○教育環境の整備

- ・月ごとの安全点検の実施とその迅速な対応処置
- ・教室環境の整備 ・栽培園管理、栽培方法の検討

### ○関係機関との連携

- ・大使館との情報共有 大使館からの緊急連絡メール、
- ・学校運営委員会、SJCとの連携
- ・釜山日本人学校等との情報共有
- ・文科省、外務省からの安全対策関係情報や支援措置

## 6 教育課程の編成（特色ある本校の教育活動）

### 礼儀正しく、進んで行動する子ども

- ・心のこもった挨拶や言葉遣いをする。
- ・めあてを持ち、最後までやりぬく。
- ・自分の行動を振り返り、自ら活動を進める。
- ・きまりの大切さがわかり、進んで守る。
- ・自分の役割を大切にし、集団の一員としての自覚を持つ。



### 【関連する教育活動】

- 入学式、入園式、卒業式、卒園式
- 始業式、終業式、修了式
- 児童生徒会活動、あいさつ運動
- 児童生徒委員会活動、クラブ活動
- 学校集会、全校集会、学部集会
- 防災訓練、緊急時バス下校訓練

### 【指導の指針】

- ・儀式的行事、キャリア教育の視点
- ・自己肯定感の達成や自己実現の場
- ・自分の役割に責任を果たす心の育成
- ・ボランティア精神の育成
- ・心の教育の充実、特別活動の工夫
- ・安全教育の場、命を守る学習



(↑入学式)



(↑防犯訓練)



(↑1年生を迎える会)

### 健康で、思いやりのある子ども

- ・外で元気に運動する。
- ・自分にあつためあてをもち、力いっぱい運動する。
- ・健康の大切さを知り、リズムある生活をする。
- ・下学年の子どもたちを思いやりながら異学年交流活動をする。
- ・上學年の子どもたちを信頼して活動をする。
- ・動植物の世話を通して自然を大切にする心を育てる



#### 【関連する活動】

- 運動会
- 身体測定、健康診断
- 正課体育の充実（学年TT）
- 水泳学習
- マラソン大会、駅伝大会
- なかよし弁当、縦割り活動
- 下学年遠足、修練院宿泊学習
- 一鉢栽培、学年での栽培

#### 【指導の指針】

- ・子どもと作る運動会
- ・日常的な健康管理を支援する
- ・子どもの意欲を大切にし運動技能の向上を図る
- ・主体的に体力づくりに取り組む工夫
- ・継続的に目あてをもった体力づくりの場
- ・好ましい人間関係を育む異年齢活動
- ・異学年交流活動の場
- ・栽培活動と教科との関連を図る



(↑小学部マラソン大会)



(↑宿泊学習)



(↑中学部駅伝大会)

### 夢をもち、世界に向かう心を開く子ども

- ・読む、書く、計算する力をつける。
- ・学び方を身に付け、意欲をもって学習する。
- ・友だちと協力し合い、自分の考えを深める。
- ・課題に対して自分の力を発揮し、新たな考え方を作り出す。
- ・落ち着いて学習に取り組もうとする。
- ・韓国文化に触れ、現地校との交流会に積極的に参加する。



#### 【関連する活動】

- ドリル学習、暗唱学習
- ワニコッピーフェスティバル
- 学習参観、学習発表会
- コンピュータの活用学習
- 交流会
- 校外学習、修学旅行
- 芸術鑑賞教室

#### 【指導の指針】

- ・繰り返し学習による基礎基本の徹底
- ・教科学習の発表の場として、また全校での発表の場
- ・各教科、総合的な学習の時間等の実践と積み重ね
- ・視聴覚機器、ICT、OA機器の整備と効果的な活用
- ・現地理解教育、異文化交流の推進
- ・韓国文化、産業、生活にふれる機会
- ・文化、芸術にふれる学習



(↑コンピュータの活用)



(↑中学部修学旅行)

**自他の人格を尊重し、和を重んじる愛情豊かな子ども**

- ・相手の立場や気持ちを考えて行動する。
- ・穏やかで素直な心を持って人に接したり行動したりする。
- ・友達の意見や考えをよく聞き、認めようとする。
- ・良いことをした人や努力している人を応援しようとする。



**【関連する活動】**

- 学級活動、係活動
- 教育相談週間
- 清掃活動

**【指導の指針】**

- ・ふれあいを通した明るく楽しい学級づくり
- ・一人一人の子どもを大切にした学級経営
- ・きれいな学校にしていくとする美化意識の育成

## 7 その他（教育課程外の活動、大使館、現地との連携について）

### ① SJCソウル日本人会、ソウル日本人学校運営委員会への関わり

- ・本校はSJCにより設立・運営される学校である。（学校規則第1章第1条）
- ・校務方針、学校予算決算、現地職員の任免等の運営については学校運営委員会の審議により決定される。（第3章第12条）
- ・SJC理事会、総会（校長参加）
- ・SJC安全対策委員会（教頭参加）
- ・SJC関係行事  
(ソフトボール大会：職員参加（馬力会）、日韓交流おまつり：校長、教頭、教務、音楽)
- ・学校運営委員会（学校会場時：校長、教頭、園長、事務長参加）  
(SJC会場時：校長参加)
- ・SJC会員登録 着任時登録 帰国時抹消 会費の納入作業（教頭）

### ②大使館との関わり

- ・着任時、大使館への着任報告（校長、当年度派遣教員参加）
- ・着任時の在留届の提出（着任時→領事部）
- ・帰任時の帰国報告届提出（帰国時）
- ・大使館との情報交換会、懇談会（隨時）

### ③ 1年目派遣教員の夏の語学研修（夏休み2週間、ソウル大学にて研修）

### ④ 現地小中学校教員との合同研修会、現地校への訪問

### ⑤ 創立50周年準備委員会の立ち上げ

# ソウル日本人学校規則

## 第1章 総 則

第1条 (運営母体) この規則による学校は、ソウルジャパンクラブ(以下「SJC」という)により設立・運営される学校である。

第2条 (名 称) この学校は、ソウル日本人学校(以下「学校」という)という。

第3条 (所在地) この学校は、幼稚部・小学部及び中学部をソウル特別市麻浦区 WORLDCUP 北路 62 GIL 11 に置く。

第4条 (目 的) この学校は、ソウル及びその周辺に駐在する日本人保護者の子女に対し、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に従い、文部科学省の定める学習指導要領を基準とし、初等及び中等普通教育を施すことを目的とする。

## 第2章 教育課程

第5条 (修業年限) この学校は、幼稚部、小学部、及び中学部により構成し、修業年限はそれぞれ 3 年、6 年及び 3 年とする。

第6条 (就 学) この学校に入学できる者は、韓国に駐在する日本人保護者の子女で、日本国籍を有し、次の条件に該当し学校運営委員会の承認を得た者とする。

- ① 日本人の保護者が韓国に駐在し、SJC 個人会員であること。
- ② 日本語による教育を受けること。

2. 前項の規定にかかわらず、入学を許可すべき事情があると学校運営委員会が認める子女については、この学校に入学できるものとする。

3. この学校の幼稚部・小学部・中学部それぞれの就学年齢は、学校教育法第 22 条、第 39 条及び第 80 条の定めるところによる。

第7条 (修了・卒業) この学校は、幼稚部・小学部・中学部それぞれの課程の修了・卒業を認定し、必要な証明書類を交付するものとする。

第8条 (入学・退学等) この学校の入学・退学・転学・及び就学者の住所変更等については、所定の手続きをとらねばならない。

第9条 (保 健) この学校は、児童・生徒及び教職員の健康の保持・増進を図るために健康診断を行い、その他保健に必要な措置を講ずるものとする。

第 10 条 (教科課程その他) 第 4 条の目的を達成するため、この学校の教科課程・学級編制・学期・休業日・授業時数・校務分掌については、学校教育法に従い学校長が別に定める。

## 第3章 学校の運営

第 11 条 (運営委員会の構成及び職掌) この学校には、SJC から委嘱された委員長及び次の職掌をもつ 10 名の委員によって構成されるソウル日本人学校運営委員会(以下「運営委員会」という)を置く。

1. 委員長 委員会を統轄する。
2. 副委員長 委員会統轄を補佐する。
3. 連絡調整担当委員(大使館) 大使館との連絡調整を掌る。
4. 渉外担当委員(大使館) 政府及び上部団体等に対し、学校運営上必要な折衝を掌る。
5. 庶務担当委員(商 社) 庶務及びその他委員の職掌に属さない業務を掌る。
6. 会計担当委員(銀 行) 予算・決算・資金管理等会計業務を掌る。
7. 広報担当委員(報 道) 学校運営に関する活動状況等を一般に広報する。
8. PTA 担当委員(PTA 会長) 学校運営に関し、PTA との意思疎通を行う。
9. PTA 担当委員(PTA 副会長) 学校運営に関し、PTA との意思疎通を行う。
10. 学校長

第 12 条 (運営委員会の審議事項) 次に掲げる事項については、運営委員会にはかつて決定しなけ

ればならない。

1. この規則の制定及び改正
2. この規則に基く細則の制定及び改正
3. 校務方針及び校務報告の承認
4. 当地において採用される教職員の任免に関する事項
5. 学校の予算及び決算に関する事項
6. 基金・寄附金及び借入金に関する事項
7. 重要な資産の取得・処分に関する事項
8. その他学校運営に関する重要事項

第 13 条（運営委員会の開催、定足数及び議事）運営委員会は、毎月 1 回、運営委員長が招集するものとする。但し、委員の 3 分の 1 以上から請求があったときは、運営委員長は臨時に招集開催しなければならない。

2. 運営委員会は 3 分の 2 以上の委員の出席をもって成立するものとする。
3. 議決は出席委員の過半数の賛成により行う。
4. 運営委員会は必要に応じ、教職員その他関係者の出席を求め意見を聞くことができる。

第 14 条（運営委員の任期）委員の任期は 1 カ年、再任を妨げない。

2. 任期の途中に就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。
3. 前 2 項の規定にかかわらず、委員は任期満了後も後任者が就任するまではその任務を継続しなければならない。

第 15 条（監事）この学校の毎年度財務監査を行うため、SJC 理事長に委嘱された監事 2 名を置く。

2. 監事は、各会計年度末に日本人会及び運営委員会に監査報告を行うものとする。
3. 監事は運営委員会に出席し意見を述べることができる。4. 第 14 条の規定は監事に準用する。

## 第 4 章 教職員

第 16 条（教職員の種類及び職務）この学校に次の教職員を置く。

校長 校務を掌り、所属職員を監督する。また、幼稚部の運営を支援し助言する。

園長 幼稚部の園務を掌る。

教頭 校長を補佐し、校務を整理する。

教諭 児童・生徒の教育を掌る。

養護教諭 児童・生徒の養護を掌る。

事務職員 学校事務を掌る。

特務職員 通学バス運行、学校警備その他雑務を掌る。

第 17 条（校長及び教頭）校長及び教頭は政府派遣教員の中から文部科学大臣が委嘱発令したものとする。

第 18 条（現地雇用者）校長は運営委員会にはかり、現地講師、事務員、特務職員を雇い入れることができる。

第 19 条（服務・待遇）教職員の服務・待遇については別に定める。

## 第 5 章 会計

第 20 条（会計）この学校の会計は、一般会計、通学バス会計、校舎改築会計、特別会計及び退職金引当金に分けて、管理するものとする。

第 21 条（一般会計）一般会計の収入は、日本政府補助金・海外子女教育振興財団補助金・SJC 補助金・授業料・入学金・暖房費等をもって充て、支出は経常的経費に充てるものとする。

第 22 条（通学バス会計）通学バス会計の収入は、通学バス利用料・寄附金等をもって充て、支出は通学バス運行に必要な経費に充てるものとする。

第 23 条（校舎改築会計）校舎改築会計の収入は、校舎改築積立金をもって充て、支出は校舎改築

に必要な経費に充てるものとする。

#### 第 24 条 (特別会計)

特別会計は、特別の案件に関して、その必要に応じ運営委員会の承認を得て決定する。その収入は一般会計からの拠出金及び寄附金をもって充てるものとする。

#### 第 25 条 (会計年度) この学校の会計年度は、毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。

#### 第 26 条 (納付金及び会計規定) この学校の園児・児童・生徒は、入学金・授業料・校舎改築積立金・冷暖房費・通学バス利用料等必要な経費を納入しなければならない。その金額は運営委員会において、その都度決定する。

### 附 則

この規則は 1977 年 4 月 1 日より効力を発するものとする。

- ・1977 年 8 月 31 日 一部改正
- ・1980 年 4 月 14 日 一部改正
- ・1986 年 11 月 1 日 一部改正
- ・1992 年 10 月 20 日 一部改正
- ・1999 年 9 月 21 日 一部改正
- ・2000 年 1 月 19 日 一部改正
- ・2001 年 3 月 19 日 一部改正
- ・2003 年 2 月 18 日 一部改正
- ・2004 年 5 月 18 日 一部改正
- ・2006 年 5 月 16 日 一部改正
- ・2008 年 3 月 12 日 一部改正

### 第 6 条第 2 項に関する運用細則

1. 日本国籍を有すること
2. 韓 日本国籍を有しない者は、原則として入学を許可しないものとする。  
但し、(1)のいずれかに該当し、かつ(2)、(3)及び(4)の条件を満たすものについては、学校運営委員会の承認を得て、入学を許可することができる。
  - (1) ① 日本駐在韓国公館から、在日韓国僑胞子女であることを承認する書類を受領した者  
② 韓 国系混血児又は外国系韓国人子女(いずれも大韓民国国籍保持者)で、韓国の管轄教育庁から身分上の特殊性を確認する書類を受領した者  
③ 大韓民国国籍以外の外国人で日本永住権を有する者
  - (2) 保護者が韓国に一時的に滞在しており、将来日本に戻ることが明確であること。
  - (3) 現在まで日本で日本の学校教育を受けており、将来も日本で教育を受ける者であること。
  - (4) 日本語能力が、日本の教育レベルに達していること。
  - (5) 「学校の性格」について、十分に理解できていること。
3. 保護者が SJC の正会員・賛助会員として入会すること。

### 附 則

この運用細則は 1995 年 11 月 28 日より効力を発するものとする。

この第 6 条 2 項の運用細則は、江南教育庁より『外国団体(学校)入学処理指針通報(文書番号 81707-1890、1995 年 7 月 24 日付)』が発信されたものを受け改正した。

また、ソウル特別市教育局より「外国人学校の内国人在学生処理方案」(文書番号 81410、1999 年 9 月 22 日付)が発行されたものを受け改正した。

この第 6 条第 2 項に関する運用細則の 3 を 2012 年 11 月 1 日に改正した。

【資料】 「外国人学校の内国人在学生処理方案」(文書番号 81410、1999年9月22日付)

## ソウル特別市教育局

文書番号 81410

実施日 1999.9.22

### 外国人学校の内国人在学生処理方案 お知らせ

- 1 行政81411-2561(99.8.27)号との関連です。
- 2 上記関連号により外国人学校の内国人生入学資格は「韓国系混血児」「外国系として大韓民国国籍所持者」「外国市民権か永住権所持者」「海外長期居住(5年以上)侨胞として一時帰国子女」に制限しています。
- 3 したがって外国人学校を各種学校として設立認可の時、入学資格がない内国人たちが一部、学校に在籍していて強制退学措置をしましたが、この人たちが数年間、外国人学校で教育を受けることによって国内学校に転・編入して通常の教育を受けにくい点を勘案して現在、履修中である教育課程修了のときまではすでに在学中の外国人学校で続いて教育を受けられるように猶予期間を与えてこの学生たちが不利益を受けないようにしてください。  
○幼稚部課程は幼稚園課程、初等部課程は初等学校課程、中学部課程在学者は中学校課程のみ通うことができる。  
しかし、既存の在学生でない入学資格がない内国人を新規として入学させて物議をかもした場合、学校設立廃止等強力な行政措置を取ることをお知らせしますので、外国人学校運営に万全を期してください。

ソウル特別市教育局

# I 研究概要





# 令和2年度 校内研修の取り組みについて

## 1 年間活動目標

様々な文化や価値観を背景とする子どもたちの「生きる力」を育むために、授業改善を目指し、全教職員の共通理解を図る。また教師相互の啓発によって、ＩＣＴ活用の在り方や現地理解研修を行い、個々の専門性を高め合える研修活動に努める。

## 2 本年度研究主題

主体的・対話的で深い学びの実現  
～世界に向か心を開く子どもの育成～

### 主題設定の理由

昨年度は、主題を『主体的、対話的で深い学びの実現』とし、「世界に向か心を開く子どもの育成」、「各教科等における道徳教育の推進」の指導を行う上で、「主体的・対話的で深い学び」につながる子どもの姿はどのような姿か、また子どもの学びを支える教師の手立てはどのようなものがあるか、について研究を進めてきた。1年間の研修を経て、各教科における道徳教育の推進について理解が深まり、授業の進め方や発問の組み立て方について共通理解もできてきた。

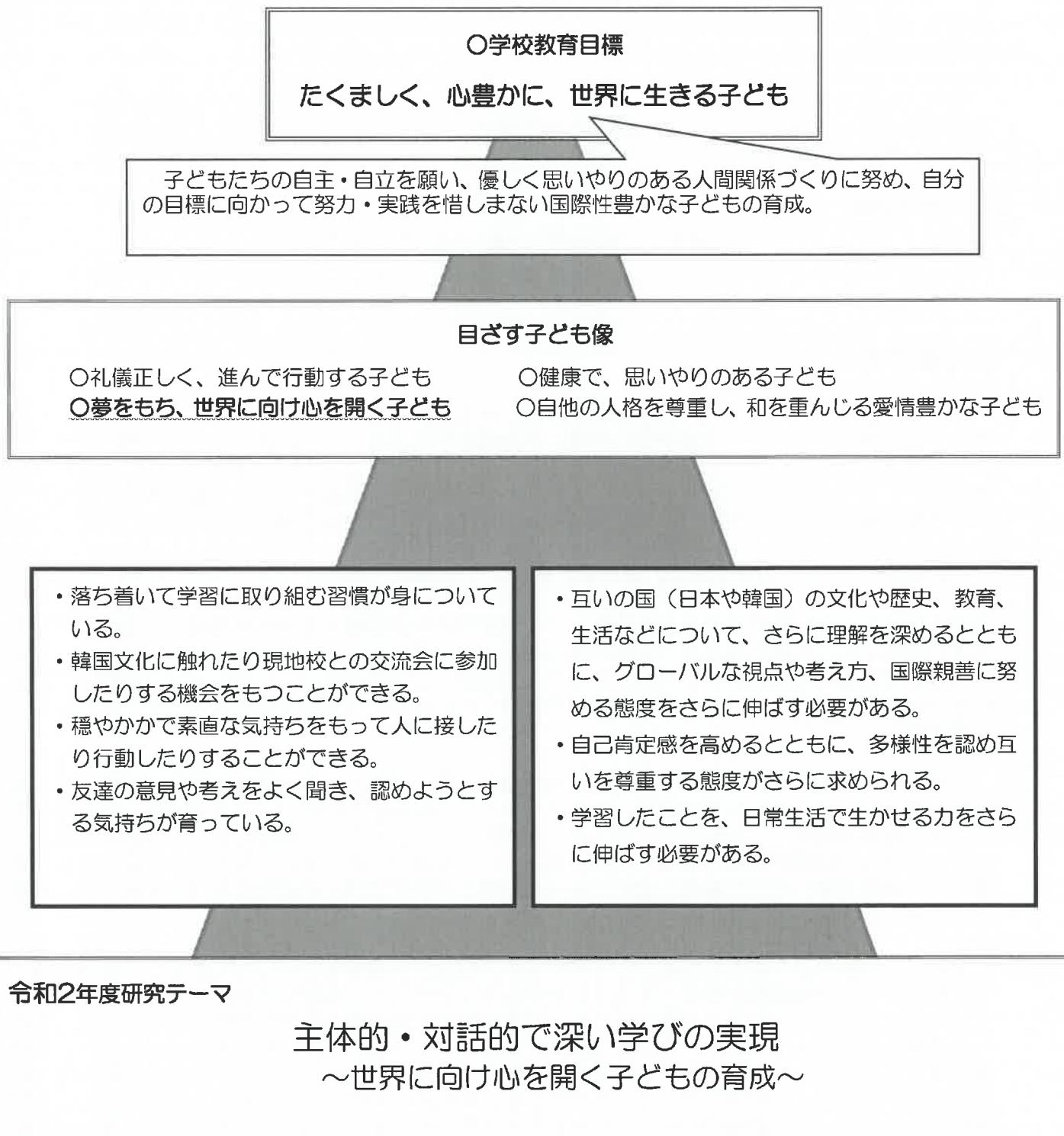
昨年度のまとめの全体研修で、引き続き主題を『主体的、対話的で深い学びの実現』とすること、また、本校は日本国外にあることから、よりグローバルな人材を育成するのにとても適した環境であることから他教科との連携を意識して「世界に向か心を開く子どもの育成」を確認した。今までの研究から、授業の進め方や発問の組み立て方、評価について共通理解をするとともに、子どもたちが物事を「多面的」にとらえ、そしてこの価値にどう向き合っていくかを「多角的」に考えられるようにすることで、より『主体的・対話的で深い学びの実現』を進めることができるだろうと考える。

今年度は昨年度の研修を生かし他教科との連携を意識して進め、また個々の専門性を高め合える研修を進めていく。そして今年度は、コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月23日から双方向オンライン授業を始めた。Zoomやロイロノートを使用し、子どもたちの表情を見ながら進める授業はソウル日本人学校開校以来の初めての試みだ。ＩＣＴを活用しオンライン授業で、主題である「主体的・対話的で深い学びの実現～世界に向か心を開く子供の育成」に迫ることは、今後のソウル日本人学校においても大変有意義なことだと考える。

本校は日本国外にあることから、よりグローバルな人材を育成するのにとても適した環境である。様々な文化や価値観を背景とする子どもたちの「生きる力」を育むために、授業改善を目指す必要がある。グローバル化が進展する今日、国際理解や国際親善は重要な課題になっている。これらの課題に対応できるようにするために、他国の人々や文化に対する理解とこれらを尊重する態度を養うことが求められる。それぞれの国には独自の伝統と文化があり、自分たちの伝統と文化に対して誇りをもち、大切にしている。そのことを、我が国の伝統と文化に対する尊敬の念と併せて理解できるようにする必要がある。ソウル日本人学校の学校や子どもたちの実態などを踏まえ設定した目標を達成するために、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて行うことを基本として、あらゆる教育活動を通じて適切に行い、広く世界の諸情勢に目を向けつつ日本人としての自覚をしっかりとつことが出来る様になってほしい。また私達教師も世界に目を向け、時代の変化に順応しなければならない。コロナウイルスにより先が読めない状況でも柔軟に対応し、学びを止めない研修を行っていく所存である。

そして本校の学校教育目標でもある、「たくましく心豊かに世界に生きる子どもの育成」を目指したい。

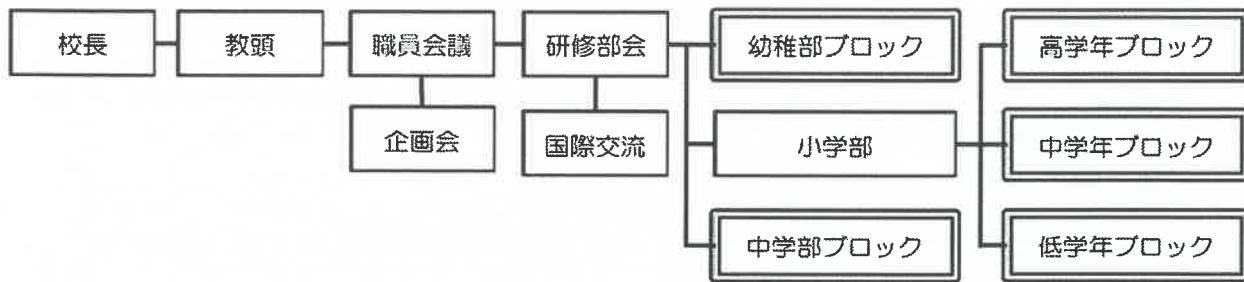
### 3 全体構造図



### 4 運営の重点

- (1) 研修活動を通し、本校の教育目標の達成を目指す。
- (2) 目指す子ども像をもとに、基礎・基本の重視と自己教育力の育成についての研修を深め、今日的な課題や子ども・地域の実態、教師の願いなどから共通理解の図れる課題を策定し、研究を進める。
- (3) 日常実践に活用できる実技、技能の研修を取り入れていく。

## 5 研究組織図



### ○全体研修会

- ・研究計画（テーマ・組織など）について協議したり、共通理解を図ったりする。
- ・全教職員構成し、提言や報告をもとにした学習会や実践交流の場とする。
- ・実践上の諸問題の研修を行う。

### ○ブロック部会・学年部会

- ・各ブロック部会、各学年団で組織し、研究母体として、主題にせまるための実践研究を行う。
- ・研究の全体計画、提案を審議し、研究の推進を図る。
- ・ブロック及び学年研修の計画、実践と交流、研究のまとめなどにあたる。

### ○研究部会

- ・各部会、各ブロック連絡調整を行う。
- ・全体会の企画・運営にあたる。
- ・研究計画を作成する。

## 6 本校の研究活動

### ○授業研究

- ・学校教育目標及び目ざす子ども像、幼児・児童・生徒の実態を踏まえ、共通の研究テーマを設定し、幼稚部・小学部・中学部で連携しながら、研修を進める。
- ・新学習指導要領の実施を踏まえた研修の充実を図る。

### ○教養・現地理解研修

- ・教員として必要な教養や、外国にある学校としての特色を生かした教育ができるような知識や経験を得るために研修を行う。

#### ※現地理解研修

- ・現地理解に関する研修の企画・実施を行う。
- ・現地校との職員交流・現地校参観の企画・実施を行う。
- ・その他、職員研修にすることを行う。

### ○幼小中連携

- ・異学年集団で取り組める活動を充実させ、なかよしグループの活動を中心に縦割りの活動を積極的に進める。

### ○ソウル大学語学研修

## 7 研究部組織

◎井橋・市原・霜鳥・藤倉・本間・安・吳

授業研究・・・・・ ○井橋・市原・霜鳥・藤倉・本間・安・吳

教養・現地理解研修・・・ ○小林・本間・安・吳

ソウル大語学研修・・・ ○井橋・吳

小中連携・・・・・ ○小林、霜鳥、本間（研修部内）

（幼小中連携・・・・・ ○朴・山本・奥村 ※特別活動部と連携）

## 8 研究計画

月	日	曜日	組織	研修名	内容
4	8	水	全体	全体研修①	「Zoom・ロイロノート研修」
	17	金	全体	全体研修② 「今年度の研究の概要」	研究部年間計画の確認。研究テーマ、内容の全体確認
5	11	月	研究部	分掌部会	研究部年間計画の確認
	18	月	研究部	分掌部会	研究視点についての協議・役割分担
	20	水	全体	全体研修③	研究視点について、
	26	火	研究部	分掌部会	今後の流れについて
	27	水	全体	全体研修④	今後の流れ、授業者発表など
6	1	月	中学年	授業発表（双方向オンライン）	ブロック発表、3年学活
	29	月	研究部	分掌部会	教材研究、研修の話し合い
7	13	月	研究部	分掌部会	実践記録について
	27	月	全体	全体研修⑤	子ども達の実態について授業者決定等
8	3,4,6,10,11日		語学研修 1年目派遣教員		韓国語研修
	19	水	研究部	分掌部会	前期研究のまとめ
9	9	水	高学年	授業発表（双方向オンライン）	ブロック発表、6年社会
10	12	月	研究部	分掌部会	授業発表準備
11	6	金	低学年	授業発表	ブロック発表、1年生活
	14	土	全体	研修会兼職員親睦旅行	コロナの為に中止
	24	火	中学部	授業発表	ブロック発表、中学部総合
	24	火	全体	全体研修⑥	ICT研修
12	10	木	中学年	代表者授業発表	ブロック発表、3年社会
	11	金	全体	全体研修⑦	代表者授業 事後検討会
1	6	水	研究部	分掌部会	来年度の主題について
	27	水	全体	全体研修⑧	研修のまとめ
2	15	月	研究部	分掌部会	研究紀要作成

## II 研究授業実践





# 幼稚部ブロック

## 本年度の研究主題

「**主体的・対話的で深い学びの実現**」  
～世界に向か心を開く子どもの育成～

### 研究の視点

- ① 多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫
- ② 自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫
- ③ ICT 活用の在り方

## ○今年度の取り組み

幼稚部では

多面的とは…

例えば

新型コロナウイルスなどの感染症について理解し、どうして感染症が広まるのかについて知り、命の大切さに気づく。

多角的とは…

例えば

新型コロナウイルスなどの感染症の予防のための約束事（ルール）を知り守る。

## ○成果と課題

登園が始まった6月から新生活様式に従って園生活の約束を伝えていたことで、マスクの着用のことや正しい手洗いの仕方を知ることができ、子どもたち1人1人が気を付けている姿が見られた。また進んで手洗いをする習慣ができてきた。しかし時間がたつにつれマスク着用の仕方が乱れ、正しいマスクの着用ができていない子がいたため重ねて声をかけていきたい。

またICTの活用については各担任がオンライン授業をしながら折り紙、うた、体操、お絵かきなど様々工夫して授業をし、子どもたちとコミュニケーションをとれたのではないかと思う。ZOOMの使い方や教材選び、声かけを工夫しながらさらに子どもたちのやる気を引き出していきたい。

○国際理解の観点に関して、現在の子どもたちの実態について

学年・クラス	児童の実態
たんぽぽ組	韓国の歌に 관심が高く、クラスで歌った韓国語の歌をよく口ずさんでいる。また、韓国語や英語のあいさつと天気など聞いたら喜んで答えてている様子である。
さくら組	韓国語のあいさつや数字の数え方に関心のある子も多く、単語などを韓国語でいうなどにかなと興味を持つ。韓国語の手遊びも楽しんで行っている。
ひまわり組	韓国の方に会うと(警備員)元気よく韓国語であいさつをする姿が見られる。韓国語の歌や数字の数え方にも興味があり、また英会話の授業も楽しんで参加している。



学年・クラス	児童の変容
たんぽぽ組	食事前、韓国語であいさつをする姿が見られるようになった。あいさつ、数、天気なども韓国語や英語で言える。 英語の単語を生活の中で使う姿が見られるようになった。
さくら組	韓国語の歌を取り入れたことによって、親しみをもつようになった。英会話の授業を楽しむ姿が見られる。
ひまわり組	普段の生活の中で自然に警備員やバスの担当の方にあいさつしたり、韓国語、日本語、英語の数字を使ったりすることで、英語や韓国語のあいさつや数え方を親しみをもって行っている。

# 幼稚部 コロナウイルス感染予防に対する 学習指導 略案

園 児：

たんぽぽ組：男子4名 女子7名 計11名

指導者：李 尚恩

さくら組：男子10名 女子8名 計18名

指導者：本間 美由紀

## 1 主題名 新しい生活様式に従って生活する。

— 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。「健康」

## 2 ねらい コロナ対策のためのお約束を知り、守りながら安全な園生活を送る。

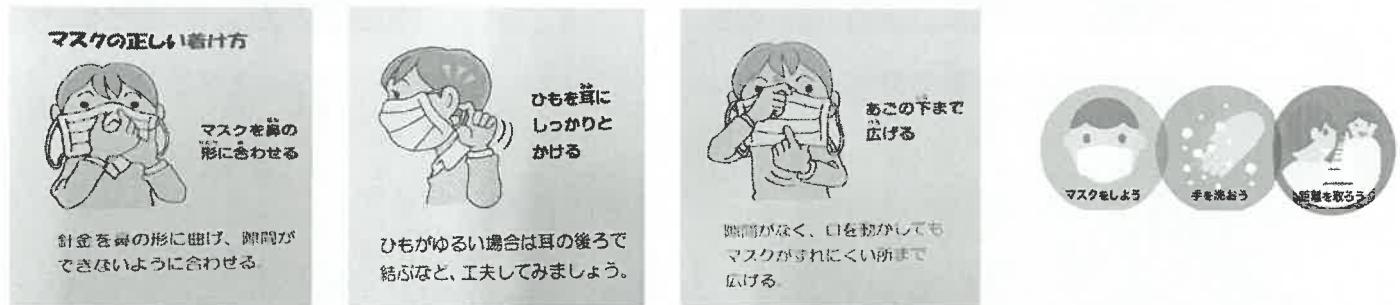
### 3 子どもたちの様子

新型コロナウイルスの拡大抑制のため、6月から園生活をスタートした子どもたちは（2か月近くはオンライン授業を行う）今までとは違う形で園生活を送ることになった。コロナ予防対策として、園では子どもたちが安全な園生活を送るために 三つの約束を立てた。まず一つ目はマスクをつけて園生活をすること。二つ目は手洗いを徹底にすること。三つ目は、お部屋や廊下、トイレなどで距離をおいて生活すること。教師だけではなくお家の方もマスクを常にすることについて強調していた様子で、子どもたちはマスクをすることに慣れていて、拒否することはなかったが、長い時間マスクをして園生活をするので、つけ方が段々乱れていく様子で、正しいマスクのつけ方（参考1）を重ねて話しかけていた。

また、手の洗い方を保育活動の中で重ねて体験するようにして、子どもたちが丁寧に手を洗うように心がけていた。活動が終わると教師は手を洗うように声をかけ、子どもたちが手を洗う習慣が身につけていくようになってきた。後期に入ってからは教師の声かけがなくても手を洗うこと意識するようになってきた。

最後に、子どもたちが距離をおいて園生活するように、お部屋で椅子やテーブルなどを離して配置したり、トイレや手洗い場では足の形のシールなどを使って、子どもたちが自然に距離をおいて使うように工夫していたので子どもたちが少しずつ慣れていき無理なく行うようになった。

（参考1）



## 4 成果

- ・子どもたちが常にマスクをつけて園生活をすることを意識するようになった。
- ・子どもたちが正しい手洗いの仕方を分かるようになった。
- ・トイレや手洗い場で距離をおいて順番を待つことに慣れてきた。

## 5 課題

- ・マスクを着けて生活することには慣れているが、遊びに集中するとマスクが外れても気づかない時が多いため、重ねて声をかけて子どもたちが意識してマスクを直し、安全な園生活をするようにしていきたい。
- ・手洗い場やトイレでは距離をおくことができるが、遊びの中では中々難しいため、子どもたちが意識するように重ねて声をかけていきたい。

- ・幼稚園を消毒している様子



幼稚園玄関・  
砂場・子ども  
図書館・トイ  
レ・お部屋な  
ど隅々まで消  
毒している。

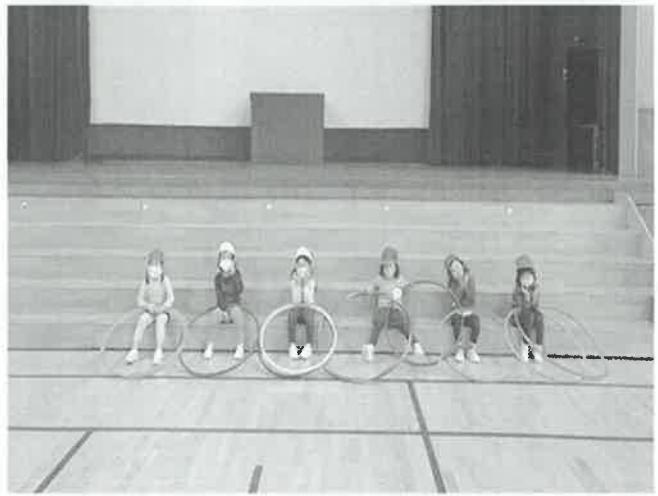


・園児たちが距離を置いて施設を使うようにいろいろと工夫をしている。



・園生活の様子（お部屋・体育館・お外）－マスクをして園生活を送っている子どもたち。





## 6. コロナ予防対策のための教師の働き

新型コロナ時代に入って安全に園生活をするため、教師たちは子どもたちが帰ってから椅子やテーブルだけではなくトイレや玄関を消毒水で徹底的に消毒している。また、自由遊びの時に読んでいる絵本だけではなく、毎週金曜日の絵本貸し出しで貸した絵本も返したら、徹底的に消毒して片付けるよう心がけている。

これからもコロナウイルスに負けないように子どもたちが安全な園生活を送れるよう、消毒など、いろいろと工夫しながら熱心に働いていきたい。

## ICT(ZOOM)を活用した授業を行って

今年度は、2020年1月より流行している新型コロナウィルスの為、子どもたちが幼稚園に登園することができず、ICT(ZOOM)を使った授業を行うことになった。

### ○活用期間

4月24日～6月12日 (第1回)

9月1日～9月18日 (第2回)

12月15日～ (第3回)

### ○対象人数

年少：12名

年中：19名

年長：22名

### ○活動内容

主に製作、工作、粘土、体操、運動遊び、歌、楽器遊び、絵本、英会話 等

※5月からの第1回 ICT(ZOOM)授業では、園にお道具箱が置いてある状態だったので、活動内容に制限があった。9月からの第2回 ICT(ZOOM)授業では、通園後のことだったので、事前に授業で必要な材料や道具を子どもたちに持たせることができた。

### 年少 たんぽぽ組



活動内容：折り紙



活動内容：絵描き歌

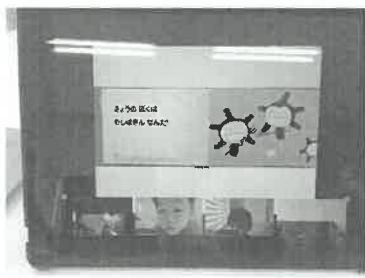


活動内容：食育指導

## 年中 さくら組



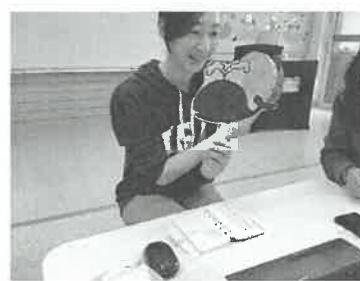
活動内容：手遊び



活動内容：絵本、歯磨き指導



活動内容：製作(はさみと紙コップを使ってたこ製作)



活動内容：歌、楽器あそび

### 年長 ひまわり組



活動内容：折り紙（腕時計）

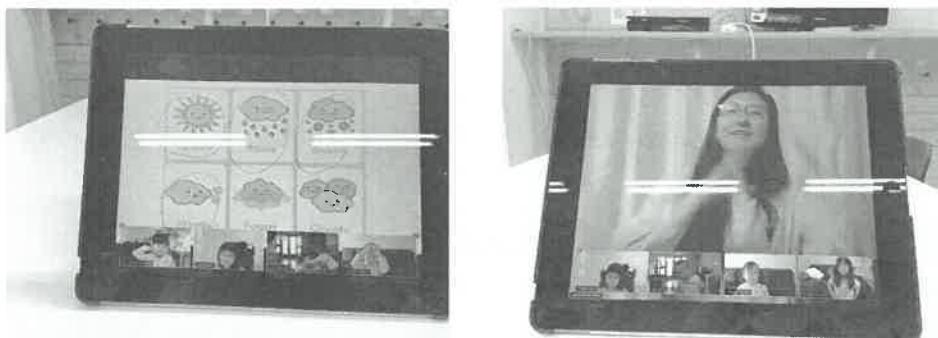


活動内容：野菜の観察（じゃがいも）※子どもも持ち帰ったルーべで一緒に観察



活動内容：韓国の歌、韓国と日本の標識の違いについて

## 全クラス



活動内容：英会話（年齢に合った歌や踊り、パワーポイントを使用した授業）



活動内容：体操、運動遊び

## 成果

- ・通常保育が始まる前にZOOMを利用することで、園児たちとやりとりを行うことができ園児の様子をつかむことができた。特に年少は初めて親と離れての集団生活となるため、登園前のこの2ヶ月という期間の影響は大きかった。
- ・普段の保育ではあまり使用することのないパワーポイントを利用することで、様々な資料を取り入れながら保育内容を考えることが出来た。
- ・畠での栽培を子どもたちと共にしたかったが、時期のものである為、職員で行った。実際に子どもたちが見ることは出来ないが、写真を取り入れることで子どもたちに伝えることが出来た。
- ・教員も子どもたちもオンラインに慣れておらず、慣れるまでは大変だったが、それほど問題なく切り替えることができた。
- ・毎日授業を始める前に体操を取り入れたが、身体を動かすことも出来てよかったです。
- ・第2回でのICT(ZOOM)では前回の経験を活かし、事前に活動内容を考え、活動に必要な材料等を子どもたちに持たせることができたことで、活動内容を豊かに出来た。

## 課題

- ・画面越しに子どもたちの反応を見るため、どうしても時間差が生じたり表情が読みづらかつたりする部分があった。特に歌や音を使う内容のものは時間差が大きく生じるため、感覚がつかみ取りにくかった。
- ・発言を促した際、恥ずかしがったり分からなかつたりする園児に対してのサポートが離れていると難しい面があった。また、園児が困った場合に援助が出来ず、保護者に頼るしかなかつた。
- ・第1回のICT(ZOOM)での取り組みは、比較的の家庭で準備してもらいやすいもので活動内容を考えたが、内容に限りが出てきた。粘土やカスタネット等は園に置いていたため、取り入れ事ができなかつた。  
一緒に出来る工作キッド等、家庭に送る案が出ていたが行わなかつた。
- ・授業を録画することが出来ず、決まった時間に入れない子どもに対しての対応が出来なかつた。
- ・自宅から授業に参加する為、周りに目を引くものが多く園児が集中できない状況も見られた。
- ・行動的な授業はどうしても行いにくい部分があつた。
- ・インターネットの環境が悪い場合は画面が止まってしまう為、整える必要がある。

## ICT(ZOOM)を活用した授業を振り返って

行う前は初めてのことと、ネットを通して子どもたちと上手くコミュニケーションが取れるかなど不安な点があつたが、いざ行ってみると子どもたちもすぐに使い方に慣れた様子であつた。年少児はミュートの操作や活動の援助が必要であった為、保護者が隣についていてもらわないと難しい面があつたが、年中・年長は自分で操作することが出来ていたように思う。

幼稚園は遊びの中から学ぶ場であり、また生活習慣を身につける場でもある為、実際に園に登園出来ず、ネットでの授業では難しい面がたくさんあると感じられたが、工夫をすれば製作や歌など制限はある中で様々な活動を取り入れることができた。そして、子どもたちも画面越しではあるが、友達の顔を見て一緒に一つの活動に参加することに喜びを感じている様子が窺われた。

また、韓国にいても日本にいてもネット環境が整っていればどこからでも参加できる点は大きなメリットであると感じた。

# 低学年ブロック

## 本年度の研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現」  
～世界に向か心を開く子どもの育成～

## ○今年度の取り組み

低学年部では

多面的とは…

友だちの様々な考え方を知り、認め合うことができる。

多角的とは…

「次は〇〇をがんばるぞ。」「あれもやってみよう」など新しい視点に気付きが生まれる。

とし、以下の視点をもとに研究を進めた。

### 視点1：多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫

手立て：様々な見方・考え方を触れる能够ないように、交流の場を設ける。

### 視点2：自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫

手立て：お互いのよさを認め合う能够のように、発表の場を設ける。

### 視点3：ICT活用の在り方

手立て：パワーポイントを用いて、活動の見通しをもたせる。

## ○成果と課題

子ども達の生活に身近な「市場」を取り入れることで、多面的・多角的な考えを深めることができた。特に子ども達が、お店側とお客様側の両方の役になったことで対話的な交流が多く行われた。どうすればお客様が多く来るか考えたり、話し合ったりする場面が多く見られた。静かな児童も自分のお店をコマーシャルすることで、より良く発表しようと追究する姿勢が見られた様に感じられる。

また、オンライン授業の時に市場にあるお店がどんな様子を紹介したことで、子ども達もイメージしやすく有効だった。班の活動人数に差があったが、人数が適切だったかどうかは、ねらいによっても違ってくるので難しい課題であると思われる。授業後にも家で市場ごっこをしたり、実際の市場を友だちや家族に紹介する児童もいて授業の内容が広がりを見せた。

普段生活している韓国文化のことを知り学習することで、自分達を見つめなおし、世界に向か心を開く子どもの育成を続けていきたい。

# 第1学年 生活科学習指導案

令和2年11月6日（金）2校時

1年松組 22名

指導者 小谷 美幸

1 主題名 市場ごっこをしよう

2 ねらい

市場の雰囲気を味わいながら、みんなが楽しめる遊びや遊びに使う物を工夫して作り市場ごっこをする活動を通して、自分が作ったものでみんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付くとともに、韓国の文化への理解を深めることができる。

3 教材名 みんなであそぼう

4 主題設定の理由

(1) 児童の実態

本学級は、男子11名、女子11名の計22名の児童がいる。6名の児童が日韓二重国籍を持ち、韓国を生活の基盤としている。韓国語が堪能で、韓国の生活や文化にも詳しい。他の子どもたちも韓国への興味は高く、言語や文化など、日常の学校生活においても慣れ親しみやすい環境にある。

普段、韓国の文化に触れる機会には恵まれている子どもたちだが、それを発信する子どもたちの話題に興味深く耳を傾けたり、自分の経験を返したりすることはできるが、生活の範囲内の知識にとどまり、そこから興味や理解を深めるには至っていない。

また、本学級には、韓国語を母国語とする児童もあり、韓国の文化に詳しいものの、思うようにそれを友だちに伝えることができないという実態もある。

(2) 教材について

本単元は、元来、秋の自然とかかわる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、身近な自然の様子の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりすることができるとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとすることをねらいとしている。

しかしながら、現在、コロナウイルスのため、公園に行って秋見つけをしたり秋の自然に触れたりする活動には規制がある。そのため、みんなで秋の自然を集める活動はできない。だが、ともに遊ぶという活動を通して、自分の生活をより楽しくしていこうとすることはできる。また、本校が海外校であるという特徴を教材に取り入れることで、自分の住む国への理解をより深め、自ら発信しようとする姿も期待できる。

(3) 指導について

二重国籍を持つ子どもたちが多くいること、また、子どもたちの韓国に対する興味が高いことから、韓国の日常にある市場を疑似体験する活動を取り入れ、活動全体を楽しませたい。そして、自分たちが作り出す遊びをより楽しいものにするために、子どもたち自身が韓国文化について調べ、それを遊びに生かしていくように支援を行いたい。

導入部では、子どもたちが韓国の市場に興味をもつとともに、その様子を共通理解できるように、パワーポイントによるスライドを視聴させた。市場の風景を前にした子どもたちの反応は様々であり、そこで売られているものについて説明する子、知っている市場の名前を挙げる子、スライドに写る食べ物を見て「知っている。」「知らない。」とこたえる子、また、市場に一度も行ったことがないという子どもも少なくなかった。スライドを見せた後、「みんなで遊べる市場ごっこをするのはどうか。」と投げかけた。当時、オンライン授業で3分の1登校が続いていたことも手伝ってか、子どもたちは喜んでいる様子を見せた。

展開部では、子どもたちそれぞれが作りたいものをいくつか試作し、自分がやりたいお店を選んでいった。ものを作る過程では、特徴や細かい部分は自分たちで調べたり教え合ったりしながら作らせ、自ら追究していく姿を大切にした。お店ができた後、まずは子どもたちが交代でお客と店員になり、市場ごっこを試させた。お客様がたくさん来て商品が売れる店もあれば、思ったほど商品が売れず残念がる店もあった。上手くいかなかった店の子どもたちは、「もっとお客様が来てくれるお店にするにはどうしたらいいか。」という課題をもち始めた。すると、他の子どもたちも同じ反応を示したため、これを全体の課題に位置付け、意見を出し合った。「招待状を出す。」「おいしい商品、かわいい商品を作る。」「お店をかっこよくする。」「コマーシャルをする。」「笑顔で売る。」の5つにまとめられ、それを具現化していくことにした。本時では、この中の「『コマーシャルをする。』（「笑顔で売る。」）を実践すれば、お客様がたくさん来てくれるか。」を課題に据える。（以下、本時案に記載。）

終末部では、市場ごっこ活動全体を通じた感想を話し合わせ、自分たちで遊びを作り出す面白さを実感させ、そのことでみんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付かせたい。また同時に、市場を疑似体験する活動を通して韓国文化への理解を深める姿も期待したい。

#### ○視点1：多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫

手だて…様々な見方・考え方触れることができるように、交流の場を設ける。

#### ○視点2：自他を尊重し、共に生きようとする態度を育てる工夫

手だて…互いのよさを認め合うことができるように、発表の場を設ける。

#### ○視点3：ICT活用の在り方

手だて…パワーポイントを用いて、活動の見通しをもたせる。

## 5 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分が遊びを作り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。	韓国の市場に関わる活動を通して、韓国の文化の特徴や違いを見付けたり、遊びや遊びに使うものを工夫して作ったりしている。	自分で調べたり、友だちと教え合ったりしながら、遊びをよりよいものにしていくこうとしている。 自分で遊びを作り出す面白さを実感し、これからも遊びを作り出そうとしている。

## 6 学習指導案 (9/11)

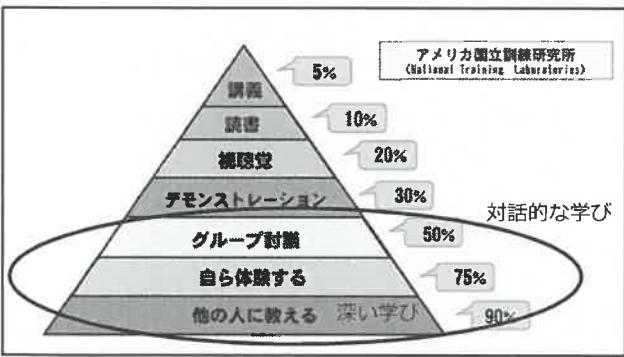
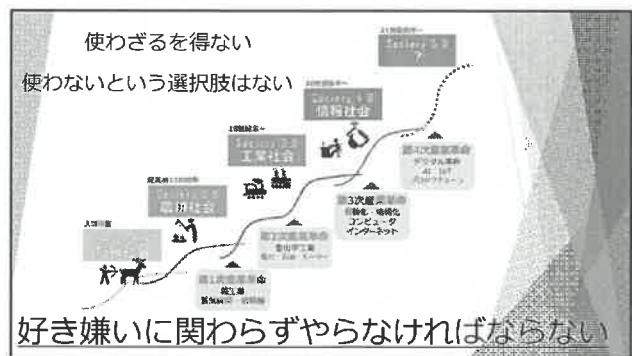
(1) 主題名 市場ごっこをしよう

(2) 本時のねらい

自分たちの市場の魅力を伝えることにより、お互いの市場のよさを知るとともに、遊びをより活気ある楽しいものにしようとすることができる。

(3) 展開

	○主な学習活動	◇指導上の留意点
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の流れをつかむ。</li> <li>・市場ごっこをより盛り上げるためのアイデアを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           &lt;めあて&gt; おきやくさんがいっぱいいてくれるじゅんにしよう         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           ようたいじょう            おいしいしょうひん、かわいいしょうひん            かっこいいおみせ            コマーシャルをする。            えがおでうる。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇前時までの流れをおさえ、本時のめあてを位置付ける。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お客様(先生)にコマーシャルを見せる。</li> <li>・グループ(お店)ごとに、事前に作ったコマーシャルを見せる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           &lt;課題&gt; コマーシャルをすると、 ようひんがたくさんうれるかな?         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           ・感想を出し合う。             ○市場ごっこをする。            ・店員になって、市場ごっこをする。         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇子どもたちが宣伝したもののよさを押さえてから感想を話し合わせ、課題を位置付ける。</li> </ul>
終末 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りをする。</li> <li>・活動を振り返り、感想を出し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇感想を板書にまとめることで、子どもの気づきを可視化する。</li> <li>◇「〇〇をやってみたい。」「〇〇を招待したい。」などの意見が出れば、これから遊びにつなげていくことを知らせる。</li> </ul>



プログラミング教育で育まれるもの  
「他者を思いやる心」は、考える力の原動力になる。

一連の動きなどを、「分解する力」を育む。  
「粘り強さ、調整する力」を育む。

自分が意図する一連の活動を実現するために、構成要素にアピールする



## プログラミング教育で育まれるもの

低学年 「原因 結果  
～したら、○○になったよ」

中学年 「☆☆するために、～したら、○○になった」

高学年 具体的な課題を解決するために、  
「～したら、○○になった」

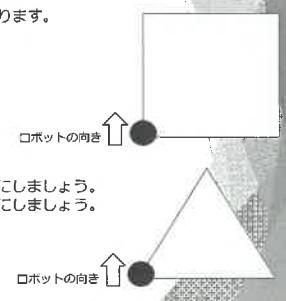
プログラミングは課題解決が目的になれば、教科に取扱われる。

## 実際にプログラミング的思考にふれてみましょう

このロボットには以下のコマンドがあります。

- A ペンをおろす
- B ペンをあげる
- C 全部消す
- D ○歩動かす
- E 右向きに○度回す
- F 左向きに○度回す
- G ○回繰り返す

問1 正四角形を描く手順を箇条書きにしましょう。  
問2 正三角形を描く手順を箇条書きにしましょう。

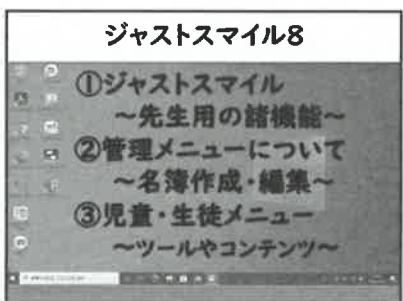


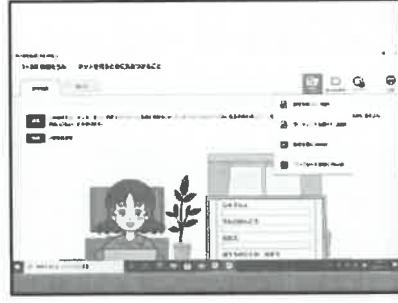
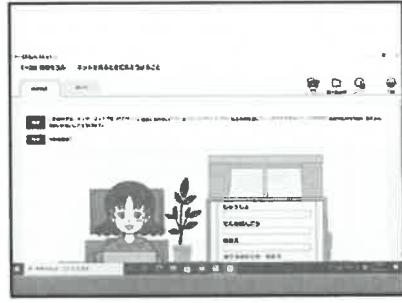
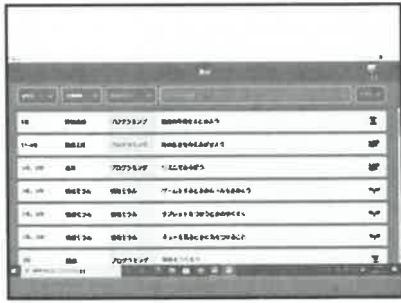
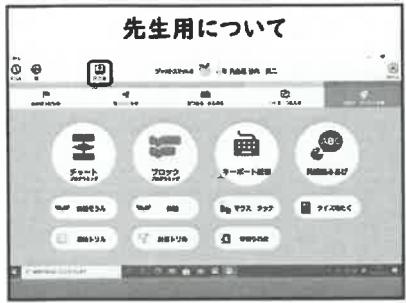
## プラグド(PCを使った)プログラミング教育

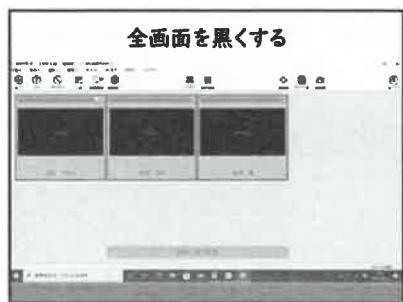
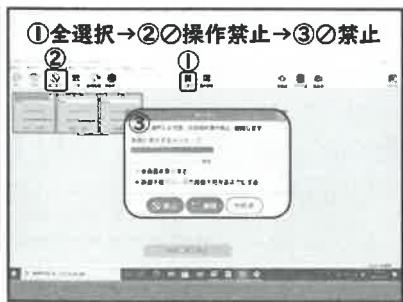
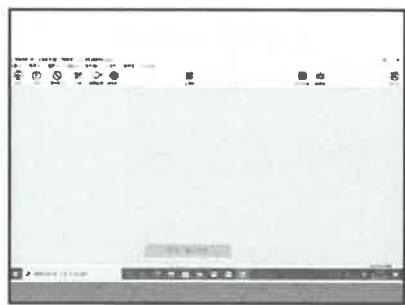
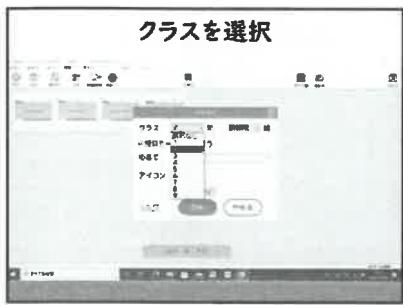
PCやタブレット上のみで行うプログラミング  
例) Viscuit(ビスケット)、ブログル、アルゴロジック、ホームページ作成などが可能

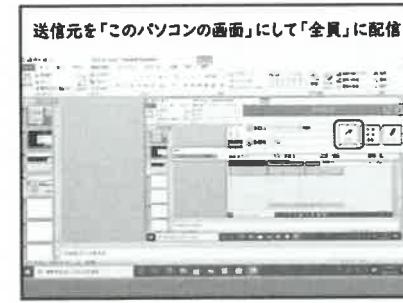
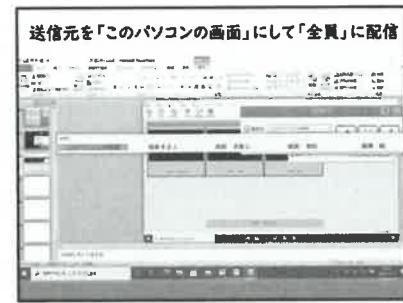
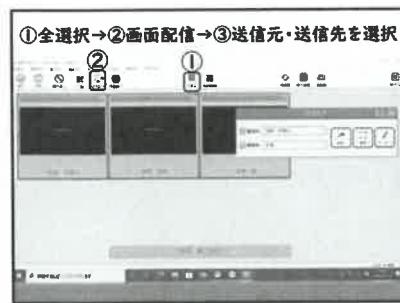
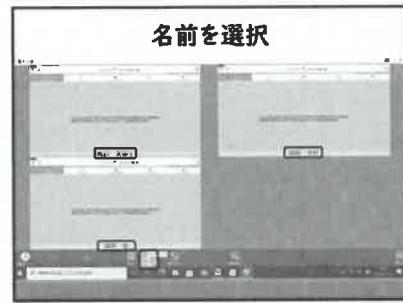
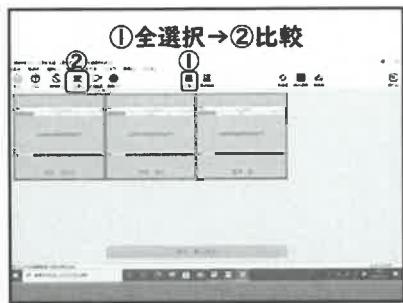
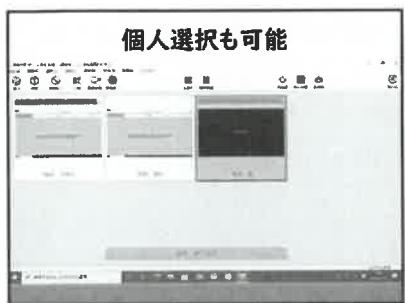
PCやタブレットとデバイスを使うプログラミング  
例) MESH、レゴWeDo、レゴMindstorm

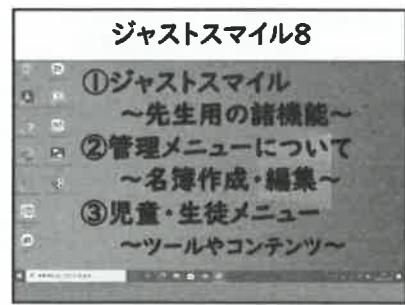
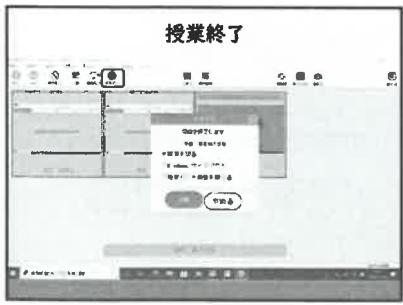
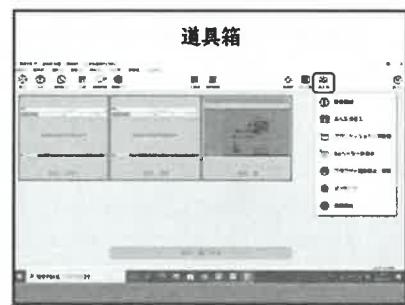
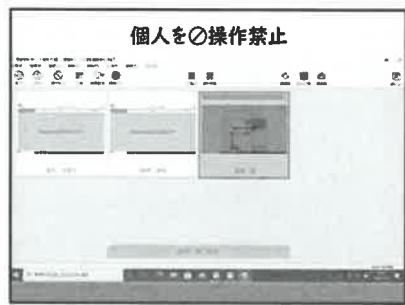
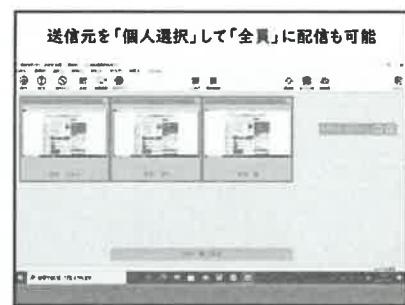
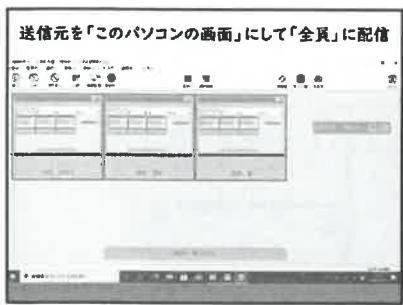


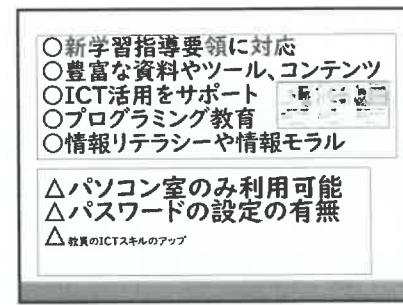
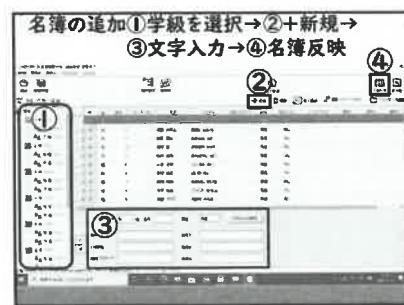
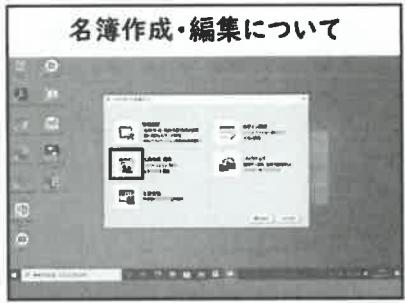












# 中学年ブロック

**本年度の研究主題**  
**「主体的・対話的で深い学びの実現」**  
**～世界に向か心を開く子どもの育成～**

## ○今年度の取り組み

### **視点 1：多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫**

→主体的に自分の考えを追究し、様々な考えが出るような課題の工夫。

### **視点 2：自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫**

→友達との対話を通して、様々な考えに触れ、自分の考えに生かせるようにするための工夫。

### **視点 3：ICT 活用の在り方**

→自分の考えを ICT の活用を通して表現するための工夫

## ○成果と課題

### 成果

- ・中学年部では、視点 1 を意識しながら授業を展開した。防犯カメラが交通安全（多面的）だけでなく、犯罪防止にも役立つ（多角的）ことを児童に考えさせられるようにした。課題の提示では、ICT を有効に活用し、児童の理解を促していく。交通安全という面から多くの意見が出され、そこから防犯の面という多角的な考えへと発展できたことは大きな成果と言えた。
- ・子どもの意見に対して、ネームプレートを貼ったところは、自他を尊重するいい取り組みとなった。
- ・総合的な学習における「魂ソウル」の学習を通して、韓国の伝統的行事や風習について知り、体を動かしながら親しむことができた。また、日本各地の祭りや古典音楽を体験的に知ることができ、日本の良さを改めて感じることができた。3、4 年生の交流としても大きな意味があり、自他の尊重という面で成果を上げた。
- ・韓国のガイドブック作りでは、インターネットや本で調べたり、家の人にインタビューしたりして、韓国の良さを調べた。多くの日本人が韓国のグルメや文化について好感を持っていることを知り、改めて自分たちが住んでいる韓国の良さに気付かされたという児童も多かった。（3 年生）
- ・日本をはじめ様々な国の中学校とオンライン交流会を開き、ソウルの良さや伝統、学校の様子などをコンピュータを利用して発信することができた。その過程で、ICT を活用し、ソウルについて詳しく調べ、自分たちが住む街について再発見したりより詳しく理解したりしながら、国際的な視野を広げることができた。日本、シンガポール、オーストラリアの特徴、情報を聞きながら世界各国へと興味、関心を広げた。（4 年生）

### 課題

- ・友達との対話では、ソーシャルディスタンスが叫ばれる中、教室にいながら、オンラインで行わなければならぬような状況が出た。どう友達との交流を図っていけばいいのかは、コロナ渦での課題となった。
- ・勤務時間内で終わらない研修がいくつかあった。ただ、せっかく公開授業をするのだから、指導案の検討や授業後の協議会は必ず時間がとれるようにし、校内研究の共有を図っていきたい。
- ・コロナ対策をしながら実のある研修になるような計画が必要。もしくは、コロナ渦での研修計画や授業計画が必要。今年度はなかなか子どもの様子、反応が見えにくかったことは大きな課題である。

## 第3学年社会科學習指導案

日時 令和2年 12月10日(木)4校時

場所 3年生教室

指導者 篠原 倫夫

### 1. 大单元名 「くらしを守る」

小单元名 「事故や事件からくらしを守る」

### 2. 小单元の目標と評価規準

目標：事故や事件から地域の安全を守る働きについて、関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、地域の人々と協力して事故の防止に努めていることを理解し、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
施設・設備などの配置、警察署による緊急時への備えや対応などについて調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報をを集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。	施設・設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、問い合わせを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え方表現している。	地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

### 3. 児童観

男子7名、女子10名の元気がよく、活発な児童が多いクラスである。様々な教科で多くの児童が活発に意見を言い合っている。休み時間は男女が一緒にドッジボールやサッカーなどを遊んでいる。比較的仲の良いクラスではあるが、悪気ないひとりよがりな行動によってトラブルが起こることもある。また、韓国籍の児童も数名在籍しており、韓国の文化や言葉を教えてくれている。しかし、韓国についてマイナスのイメージを持っている児童が多い。特に、本单元で取り扱う交通に関しては、「交通ルールを守っていない」、「横断歩道を渡る時に右折車とぶつかりそうになった」などの声もあり、良い印象をあまりもっていない。

### 4. 教材観

本時は、韓国の安全を守るしくみを取り上げる。速度表示のあるカラフルな道路や道路標識、速度防止帯、防犯カメラなど様々なしくみがある。特に、防犯カメラに着目させたい。防犯カメラが設置されている場所を考えることにより、事故だけでなく、事件の防止・解決にも役立っていることに気付かせたい。本時を通して、人々の安全を守るために、韓国の人々は様々な工夫をしていることに気付き、事故・事件から子どもたちを守ろうとしていることを知ってほしい。また、韓国の「監視社会」という側面に目を向けるきっかけとなることも期待する。

### 5. 指導観

本時の学習を通して、韓国には、事故や事件から人々の安全を守るしくみがあることに気付かせたい。そのため、3枚の写真を段階的に提示し、「事故から守る」という視点から「事件からも守る」という多角的な視点に向かわせる。また、写真はできるだけシンプルにし、焦点化しやすいように工夫する。普段、何気なく通り過ぎている道路や公園に様々な工夫がされていることに気付き、韓国の安全を守るしくみについて考えさせたい。そして、事故の後の自分の行動によっては、事件となってしまうという事実を知り、事故を起こした時は相手の身を一番に考える人になってほしい。本時の学習を、今後の友だちとの関わりにも生かしていくってほしい。

6. 小単元の指導計画及び評価計画（全10時間 本時 9/10）

時 時	主な学習内容	評価の観点			評価 主な評価規準（評価方法）
		知 技	思 考	態 度	
1	イラストを見ながら、身近な地域でどのような場所が危ないのかを発表し合い、安全なくらしを守るためにどのような仕組みがあるのかについての学習問題をつくる。	○	○		発言内容やノートの記述内容から、「事故や事件の数の変化やその背景などに着目し、問い合わせを見出しているか」を評価する。思・態
2	写真を見ながら、警察は安全なくらしを守るためにどのような仕事をしているのか調べる。	○			発言内容や「仕事さがしメモ」の記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、警察官の活動の様子について理解しているか」を評価する。知
3	事故が起きた時の連絡の流れについて、イラストから調べる。	○			発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、事故が起きた際の関係機関の連携について理解しているか」を評価する。知
4	子ども110番の家や道路標識など安全なまちづくりを行うための仕組みについて調べる。	○			発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、まちの安全を守る地域の人々の活動について理解しているか」を評価する。知
5	町会や商店街などの地域社会における安全を守る取り組みについて調べる。	○			発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、まちの安全を守る地域の人々の協力について理解しているか」を評価する。思
6	教科書のグラフを見て、事故と事件の数がどのように経年変化しているかを調べる。	○			発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、まちの安全を守る地域の人々の協力について理解しているか」を評価する。知
7	資料を見て、韓国と日本の事故、事件の件数を比較し、韓国はどんな特徴があるのかを知る。	○			発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、韓国の事故、事件の特徴について理解しているか」を評価する。知
8	韓国での生活を振り返りながら、身近な地域でどのような場所が危ないのかを発表し合う。	○			発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、事故や事件の背景などに着目し、危ない箇所について考えているか」を評価する。思
9 本 時	写真をもとに、韓国のおいしいまちづくりを行うための仕組みについて調べる。	○			発言内容やノートの記述内容から、「必要な情報を集め、読み取り、韓国のおいしいまちの安全を守るしくみはそれぞれどのような役割があるのかを考えている

				か」を評価する。思
10	わたしたちのくらしを守るために、自分たちにできることを考える。	○	○	作成した標語や発言内容から「学習したことでもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えようとしているか」を評価する。思・態

※太線：これまで学習したことを「いかす」場面（韓国を取り上げた学習内容）

## 7. 研究の視点

### 視点①：多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫

- ・多面的・多角的な見方を深めるため、それぞれの視点に応じた2つの発問をする。
- ・多面的・多角的な考えが出るように、資料の見せ方を工夫する。

### 視点②：自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫

- ・自分と違う意見を尊重しようとする態度を育てるため、事故と事件の2つの視点から考えさせる。
- ・自分の考えを明確に表現するために、自分の考えの所に自分の名札を貼る。

### 視点③：ICT活用の在り方

- ・iPadを使い、写真をズームすることにより、視覚的に課題把握をしやすくする。
- ・見つけた発見を、PCに電子ペンで書き込むことで、視覚的に分かりやすくする。

## 8. 本時の学習

### （1）目標

- ・韓国の中の安全を守るしくみについて調べ、それぞれどのような役割があるのかを考える。（社会的な思考・判断・表現）

### （2）展開

時間	主な学習活動と予想される児童の反応	○教師の支援 ☆評価	資料
つかむ （5）	1. 前時までの振り返りをする。 2. めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">韓国では、安全なくらしを守るためにどんな仕組みがあるのか調べよう。</div> 3. 写真を見る。	○本につなげるために、事故と事件の視点から危ない場所を考えたことを想起する。  ○速度表示のあるカラフルな道路、速度防止帯、防犯力	ワークシート 資料① ②

調べる (15)	<p>4. ワークシートに見つけたことを書く。</p> <p>5. ペアで意見を伝え合い、情報交換する。</p> <p>6. それぞれの写真ごとに見つけたことを発表する。</p> <p>7. それぞれ見つけたことを事故・事件どちらから守るためにあるのかを話し合う。</p>	<p>メラ（防犯カメラ）、道路標識に着目しやすい資料を提示する。</p> <p>☆写真から交通安全の仕組みを<u>多面的</u>に考えているか。（ワークシート、発言）</p> <p>○電子ペンで書き込ませることにより、視覚的に分かりやすくする。</p> <p>○見つけたことを一つずつ事故か事件かについて確認する。あまり時間をとらないように留意する。</p>	交差点の写真
	<p>8. 防犯カメラは事故・事件どちらから人々を守るために設置されていると思うのかについて、自分の名札を貼る。</p>	<p>○必要に応じて、多角的な視点をもたせるために、公園にもカメラが設置されている事実を知らせる。</p> <p>○対話的に話し合いやすくするため、事故か事件かという視点で自分の考えの所に名札を貼らせる。</p> <p>☆公園の防犯カメラはどんな目的で設置されているのかについて、事故や事件など<u>多角的</u>な視点で考えているか。（ワークシート・発言）</p>	資料③ 公園の写真
	<p>9. 考えを伝え合う。</p> <p>10. 決め直す。</p> <p>11. まとめる。</p>	<p>○理由の説明が不明確な場合は、教師が問い合わせる。</p> <p>○発表者の考えをより明確にするため、質問や意見をする時間を設定する。</p> <p>○ひき逃げについての記事を提示し、事故の後の行動によって事件になることを伝える。その時に防犯カメラが役立っていることをおさえる。</p>	自転車でのひき逃げ事件の記事
<p>韓国では、安全なくらしを守るためにさまざまな工夫がされている。特に防犯カメラは、事故だけでなく、事件を解決する役割もある。</p>			

### (3) 本時の評価基準

十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断させる児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
多角的な視点で、防犯カメラの役割について考えることができる。	多面的な視点で、安全を守る仕組みを考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路の色や数字に着目させる。</li> <li>・ 公園にもカメラが設置されている写真を取り上げ、事件とのつながりを考えさせる。</li> </ul>

# 韓国のすごいところミッケ！

名前 \_\_\_\_\_

めあて

◎韓国には人々の安全な暮らしを守るため、どんなしくみがあるのか調べよう。



◎見つけたことを深めよう！

はどんな目的で設置されているのだろう？

事故



事件

まとめ

## 第3学年 学級会活動學習指導案

日 時 令和2年6月1日(月)第2校時  
学 級 3年松・竹組 37名  
指導者 今村毅彦

### 1 主題名

いのちのつながり

### 2 ねらい

- ・奇跡的に生まれ奇跡的に出会った命のつながりを大切に思う気持ちを育てる。
- ・学年活動として歌をして自分たちの気持ちをつなげる活動を身につける。

### 3 教材名 いのちの歌 作詞 Miyabi 作曲

### 4 学習指導過程

	○主な學習活動	発問	・予想される児童の反応	◇指導上の留意点
導入 (5分)	○これからみなさんが外国で暮らし仲良く生活することを願い一つのすてきな詩を紹介します。 教師：朗読 教師の後に続いて児童一斉音読。			◇Zoomによる遠隔操作授業 ◇縦書きの詩を提示 詩を個々の児童に事前に配布する。 (ロイロノート利用)
展開 (12分)	○この詩には歌があります。映像を見ながら聴いてください。一緒に口ずさんでもいいですよ。 ・歌や映像を見て生き物に対するやさしさを感じる ◎さあ、たくさんの生き物が出てきました。どんな生き物が出てきましたか。 ・子供たちは印象の強い動物を生き物として捉える。(象・パンダ・ヤギや猫など) 鳥・虫・植物?  ○生き物は動物だけでしたか。 (魚、いちご、植物、木、タンポポなど) ・動物ばかりでなく生命は虫や植物など他の生き物もあることに気づく。  ◎みんなで一度この歌を歌ってみましょう。 音源に合わせpower pointによる歌詞の提示。 ・曲想と歌詞を感じながら歌唱する。			◇歌唱活動を通して子供たちの心をつないでいく素地づくり。  ◇つながりの第一段 動物の親と子の愛情のつながり。 ◇つながりの第二段 生物(動物)のつながり  ◇つながり第三段 生き物に対する概念の拡大と生物としてのつながり。 生き物は動物だけではなくすべての生物にいのちがありつながっていることに気づく。 ◇音楽や映像を通して、歌いながら詩の内容をさらに感じ、この詩を強く感じるものにする。
(18分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めぐり会えた奇跡とは何でしょうか。</li> <li>・いつかは誰でもこの星にさよならをする時が来るとはどんな事を言っているのでしょうか。</li> <li>・奇跡について考える。 友だちとの出会い。自分生まれetc</li> <li>・この星にさよならとは死ぬこと。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・すべてのいのちはつながっている。</p> <p>・植物も虫もつながっているの?</p> <p>※食物連鎖や地球環境から事象を考える。</p> </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・奇跡は当たり前と思っている中にあることに気づかせる。</p> <p>・命はいつか終わることがわかる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・すべての生物のいのちはつながっていることを理解する。</p> </div>
終末 (5分)	○授業の終わりにもう一度みんなで歌ってみよう。 教師指揮 ○歌でみんなの気持ちをつなげることができたでしょうか。いつか韓国語でも歌いましょう。			◇COVID-19により友達と一緒に活動することができない状況でも友だち同士心をつなぎあわせることができたか。 (共有ミュート操作の効果の確認)

### 5 評価(学習状況を把握するための指導の視点)

同じ場にいることのできない子供たちの個々の気持ちをつなぎ合わせる。

〈方法〉 Zoom等のネット環境を利用した新たな学習環境の構築。

私の教職生活においてかつて経験のない海外に暮らす子供たちへの初めてのオンライン授業研究でした。私の頭の中では TV でこれから授業の在り方として当たり前に行われている授業をすればと安易に考えていました。例えば教科書等を使い机上の学習から遠く離れた専門家の話や諸外国の様子などダイレクトに知るテレビ授業がそれに当たります。しかし実際にオンライン授業を行うと様々な弊害が見えてきました。発信者である私のネット環境、受講者である子供たちのネット環境は同じではありません。指導者の様子を捉える視聴覚機器やそれを伝えるネット環境などの構築が必須です。実際に授業の中で私が PTT や動画など提示した時に子供たちへの問い合わせや意見を聞きたくてもまったく子供たちの様子を見ることができませんでした。また TV 放映されている自宅待機する中、音楽を通じてみんなを結びつけようと行われている歌や楽器演奏などを真似してみても実際の授業では子供たちの様子が見られないどころか歌そのものも一緒にという Key-word には程遠いものでした。結局語り部のようにこちらから語り納得させることしかできなかったのが残念でなりません。

この授業は、会ったこともない子供たちも教師も一人一人違った場、環境にいる人間同士を学びで結びつけなければならず難しさを感じました。

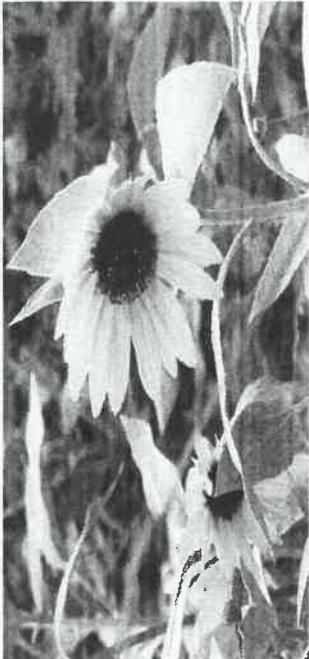
授業内容については、昨今「深い学び」「批判的思考」など様々な教育用語が飛び交っています。「深い学び」は将来子どもたちが生きていくときに役立てる学び。学習したことを特効薬のように今生かすためではなく、今後の学びと共に学びが枝分かれしそこにたくさんの枝葉がつき将来人生に役立つ学びと考えます。授業テーマのようにこの詩や歌を通して心をつなぐ学びやいのちのつながりについて思いはきっと生涯を通じてつながり響いていくものになると思います。また多面的多角的思考（共感的・批判的思考など）について、自分の考えや思ひが他者の意見と比較し様々な考え方ややり方を自分以外からも学ぶ「共同の学び」を得て世界を広げていくことができる。この授業ではすべての生き物には命がある。人間にとて必要のないと思う命もあるかもしれない。でも違った角度から考えてみるとそれが自分たちのいのちを育む大切なことになることを意味しています。

今はコロナウイルス感染により人間社会は大きく変わらなければなりません。人間の間引きが行われています。これを克服するには人間を増やしてはならない生き方をしなければなりません。人間同士が最低限の付き合いしかしない。今、発展途上国では動植物が生き生きと生きている様子が映し出されています。AI もこの時期にだからこそ生まれてきた人類の産物かも知れません。これから教育も大転換の時期だと感じます。

これまでカリキュラム学習において学習内容を決められた時間に教え完了することが学びの保証の時代を復興させることではなく新たな学校教育に目を向けなければなりません。学校で子供同士話をすること歌うことも肩を組んで歩くこともできません。言語を持つ人間らしい生活に規制がかかっています。このような中でも子供たちが自分を生かしどう生きていくのかの資質・能力を身に着けさせることが教育だと考えます。これを機会に教職員みんなで知恵を出し合い子供たちのためによりよい指導を目指していけたらと思います。

最後にこの研修にあたりソウル日本人学校のみなさんが真摯に向き合っていただいたことに感謝申し上げます。私は教員人生を終えた人間です。そんな私でも自分が培ってきた技能や経験を役立てることができるのはこの上のない喜びと感じます。私は前任校でも学校研修のメンバーでした。私に課せられた仕事は何だと思いますか。会議時の名札並べ係です。自分の指導性を生かすことも若手教員のみなさんに伝えていくこともできません。それゆえ、まだ短期間のバーチャル的付き合いしかできていないのにもかかわらずソウル日本人学校の先生方が温かく見守ってくれることに大変な喜びを感じております。

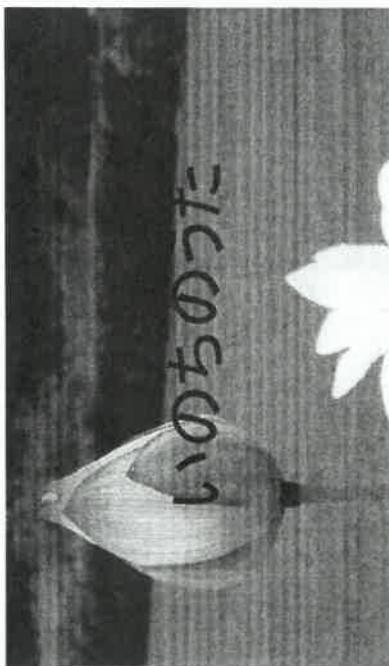
むねをよぎるいといしい ひとびとのあたたかさ



いきてゆくことのいみ といかけるそなびに



いのちのつた



泣きたい日もある ゼつぼうになげく日も



どんなほうせきよりも たいせつなからもの



この星のかたすみで めぐりあえたきせきは



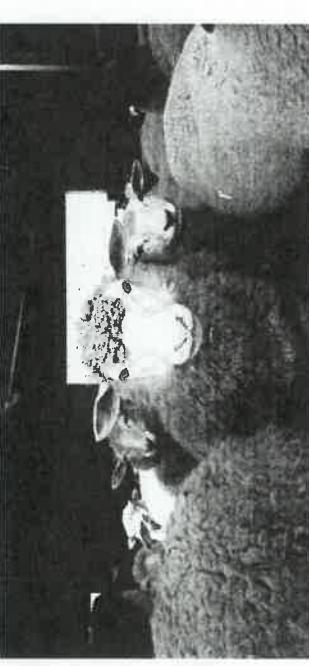
ふるさとのタヤケの やさしいあのぬくもり



ふたりでうたえれば なつかしくよみがえる



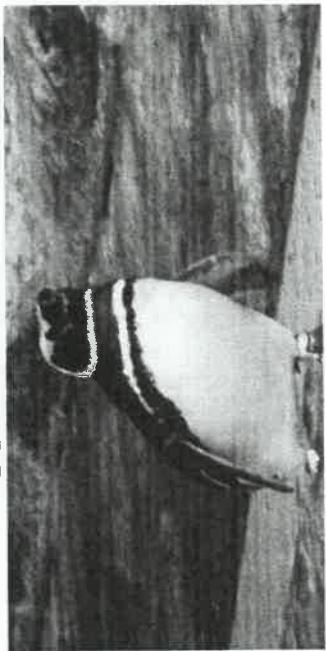
そんなときそばにいて よりそうちあなたのかげ



ほんとうにだいじなもののは かくれてみえない



ささやかすぎる ひびのなかに



かけがいのない よろこびがある



いつかはだれでも この星にさよならを



するときがくるけど いのちはつがれてゆく



うまれてきたこと そだてもらえたこと



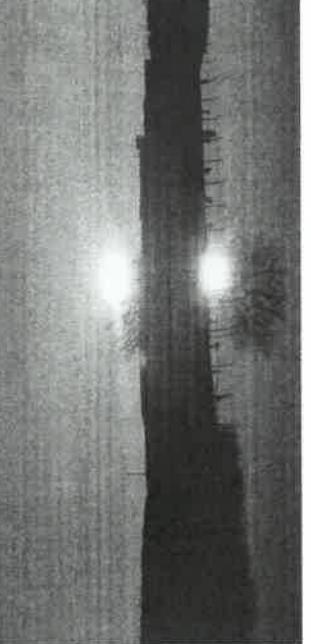
であったこと わらったこと



そのすべてにありがとう



このいのちにありがとう



# いのちの歌

Miyabii 作詞 村松崇継作曲

生きてゆくことの意味 聞いかける そのたびに  
胸をよぎる 愛いどしい人々のあたたかさ  
この星の片隅(かたすみ)で めぐり会えた奇跡(きせき)は  
どんな宝石よりも たのしきな宝物  
泣きたい日もある 絶望に嘆(なげ)く日も  
そんな時 そばにして 寄り添うあなたの影  
一人で歌えば 懐(なつか)かしくよみがえる  
かるさとの夕焼けの 優(やさ)しいあのぬくもり

本当にだいじなものは 隠(かくれ)て見えない  
ささやかすぎる日々の中に かけがえない喜びがある

いつかは誰(だれ)でも この星にさよならを  
する時が来るけれど 命は繰(くり)つながれてゆく  
生まれてきたこと 育ててもらえたこと  
出会ったこと 笑つたこと  
そのすべてにありがとう  
この命にありがとう

# 第4学年 総合科学習指導 略案

日 時: 令和3年1月8日(火) 第3校時  
4年 松・竹組 33名  
指導者: 櫻谷 幸代  
霜鳥 一幸  
田中 恵

## 1 単元名

かがやけ未来へ 4年生

## 2 ねらい

自分たちの学校や韓国での生活についてこれまで自分たちが調べ、まとめてきたことを伝えるとともに、交流を通じて、シンガポール日本人学校について知り、日本・韓国以外の国について関心を持つ。

## 3 学習指導過程

○主な学習活動	◇指導上の留意点
1. 本時の自分のめあてを考える。  自分たちの学校や生活について相手が分かるよう伝えよう。また、発表内容について質問したりし、相手の学校や友達について知ろう。	◇最後の交流になることを意識させ、自分のめあてを明確にして活動できるよう促す。
2. ロイロノートを使用し、自分たちの学校や生活について分かりやすく伝える。	◇相手に伝わりやすい方法を考え、友達と協力して発信できるようにする。
3. 交流相手の発表を聞く。	◇後の質問に備え、疑問や印象に残ったことをメモさせる。
4. 質問を受けたり、さらに知りたいことを質問したりする。	◇相手とやりとりを交わし、さらにお互いについて理解が深まるようにする。
5. 振り返りを行う。	◇これまでの自らの取り組みや交流学校の長所に目を向けさせる。

## 4 評価

- ・自分たちの学校や生活と交流学校との相違点に着目しながら、それぞれの良さを見つけることができたか。(振り返りカード)

# 高学年ブロック

## 本年度の研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現」  
～世界に向か心を開く子どもの育成～

## ○今年度の取り組み

### 視点1：多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫

- 手立て① 多様な見方を引き出し広げる工夫
- 手立て② それぞれの立場から多様な見方を見つめ直す場の工夫

### 視点2：自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫

- 手立て① 自他の考えの相違点に気付き、認識を深める学習の流れ

### 視点3：ICT活用の在り方の工夫

- 手立て① チャット機能を用いて多様な見方を引き出す
- 手立て② ブレークアウトセッションを用いて多様な見方を広げる

## ○成果と課題

個人的思考→集団的思考で、自分の考えと相手の考えの共通点や相違点を考えながら話し合う。  
⇒様々な考え方の相手と話し合うことで、捉え方は一つではないことを知ることができた。オンラインだからできるチャット機能を用いた授業展開や子どもたちだけの世界で話し合いができるブレークアウトセッションでの話し合いは有意義であった。また、考え方の違いは、良い悪いではなく、自分や相手の今までの生活やパーソナリティに関わることであり、共感的にとらえることが大切だという意識をもつことのできた児童は多かったように感じられる。また、交流会は実施できるかわからないが、国籍を超えた相互理解にもつながられると良いと思う。本時はお互いを尊重するということに重要な役割を担った。同態度が学習だけでなく、学校生活、社会生活においても生かされるように継続していく必要がある。



令和2年9月11日（金）

13:50～オンライン

6年生 28名

教諭 藤倉隆行

## 1 単元名

武士の世の中へ

(教科書：「東京書籍 小学社会 歴史」P／学習指導要領内容：内容（2）イ)

## 2 単元の目標

武士による政治が始まった経緯や鎌倉幕府の仕組みを調べ、武士の政治や暮らしについて理解する。

## 3 単元について（研修との関り）

大和朝廷によって日本の広い範囲が統一されてから、国を治めるための政治活動が展開されてきた。鎌倉時代は、初めて武士が政治の世界に進出し、御恩と奉公という日本独特の文化が生まれた。大陸から攻め入られる「元寇」をきっかけに、その関係にひずみが生じたものである。

その戦いにおいて、日本の武士と元軍の装備・戦術の違いや、主君のために「一所懸命」になる日本の武士と元に連れられ戦う兵士では心持ちの違いについて理解することができる。同時に、当時の日本の様子や大陸（特に朝鮮）の様子について思いを巡らせ、異文化への興味・理解につなげていきたい。

また、元との戦いやその後の様子について描いた資料が多数掲載されており、当時の様子について視覚的に推察することができる。教科書・資料集などの資料から読み取れること、想像できることから、戦いの様子や勝敗の原因を話し合うことによって、一つの見方によらない多面的・多角的な考え方を培っていきたい。

## 4 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 世の中の様子、人物の働きなどについて、地図や年表などの資料で調べ、源平の戦い、鎌倉幕府の初まり、元との戦いを理解している。</p> <p>② 調べたことを年表や文などにまとめ、武士による政治が始まったことを理解している。</p>	<p>① 世の中の様子、人物の働きなどに着目して、問い合わせを見出し、源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて考えている。</p> <p>② 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを関連付けたり総合したりして、このころの世の中の様子を考え、適切に表現している。</p>	<p>① 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追及し、理解しようとしている。</p>

## 6 本時について（第4時）

### (1) 本時のねらい

元との戦いの様子を調べて、御家人がどのように戦ったかをおさえ、戦った御家人の気持ちを考えることができるようとする。

### (2) 本時の展開

学習活動、予想される児童の反応 (・)	支援 (○) 評価 (☆)
<p>1 鎌倉時代の「御恩と奉公」の関係についてふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武士は領地をもらうために戦っていた。</li> <li>・幕府（頼朝）から受けた恩を返そうと思っていた。</li> </ul> <p>2 教科書P 52 資料①「元との戦い」資料 ④「モンゴルの広がり」を見て、元寇があったことや元の勢力を確認する。</p>	<p>○ 幕府と武士の関係が、領地を中心に成り立ったとともに、君主のために尽くす心持しがあったことをおさえる。</p> <p>○ 元との戦いにおける武士たちの活躍を、幕府との主従関係と関連して考えることができるようとする。</p>
<p>めあて</p> <p>「鎌倉幕府と元軍の戦い」と、その後どのようにになっていったのかを考えよう。</p>	
<p>3 元との戦いの様子について調べ、わかつたことを伝え合う。</p> <p>（ノート→グループ→全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よろいを着ていない。</li> <li>・武士が1人に対して人数が多い。</li> <li>・元軍はいろいろな国の人人がいる。</li> </ul>	<p>○ 装備や戦術の違いにだけにとどまることなく、気持ちや文化に言及できるように促す。</p> <p>○ 教科書資料に加え、元軍の構成や経路図を示すことで元軍がどのような状態であったのか想像できるようになる。</p> <p>☆元軍と武士との違いについてノートにまとめ、友だちに伝えることができている。</p>
<p>研修に関わる発問</p> <p>「武士と元軍のちがいは、どのようなところでしょう？」</p>	
<p>4 武士たちは幕府に対してどのようなことを考えるようになったかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命がけで戦ったのに幕府が領地をくれない。</li> <li>・このままでは生活ができない。</li> </ul> <p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武士が幕府に不満をもつようになった。</li> <li>・御恩と奉公で結びついていた幕府と武士の関係が崩れた。</li> </ul>	<p>○ 恩賞を手にすることことができなかつた武士が大勢いたことをわかるようにする。</p> <p>○ 鎌倉幕府が衰退した理由を元との戦いと関連付けて考え、元との戦いの後、御恩と奉公で結ぶついていた幕府と武士との信頼関係が崩れていったことについてまとめるができるようとする。</p>

## 韓国のお墓

本時のめあて  
韓国と日本のお墓事情  
の違いについて学ぼう。

韓国では、お墓は土饅頭(つちまんじゅう)と言われる丸い盛り上がった土の形をしているお墓が一般的だった。



土葬は禁止という法律は無かったため、郊外では土葬の風習がある地域が存在している。山に先祖代々より土葬の風習がある地域では、秋夕(チュソク)にお墓まいりをする。

雑草で覆われた広大なお墓を一族総出で草刈りをして、綺麗にして先祖にお参りをする。



## チュソクでは・・・

韓国の秋夕では茶礼(チャレ)という法事を行う。秋夕は名節と呼ばれ、旧正月と旧暦8月15日に墓参りをする。茶礼は、収穫した新米やお酒、果物をご先祖様にお供えしてお辞儀(チョル)と呼ばれるお参りを行う。

実際のお墓参りの様子を見てみましょう！！！



**①お墓を水で洗う。****②お花を取り換える**

造花でも長い間風雨にさらされると色あせて汚くなる。お墓参りのたびに新しい花を買って、古く色あせてしまった花と取り換える。抜き取った古い花はところどころに設置されているごみ箱に捨てる。

**③レジャーシートをひく**

日本のお墓参りではどっしりと腰を据えて座るなんてことはないが、韓國のお墓参りはのんびりゆったり過ごす。

**④お供え物を並べる**

故人が好きだったのでOK

**⑤敬拝をささげる**

お供え物を全て捧げたら、靴を脱いでレジャーシートの上に上がり、家族一列に並び、そしてみんなで合わせて故人に敬拝を捧げます。

**⑥お酒をかける×2~3回**

土にしみこんでお酒が飲めるように…ということらしい

## ⑦みんなで楽しくおしゃべりタイム



## しかし！！1990年代後半から火葬が増える

最近までは土葬が主流だった韓国のお墓の考え方も1990年代の後半から火葬が増えていった。

2000年には「葬事等に関する法律」が見直された事もあり、国や自治体も積極的に火葬や納骨を定着させるべく推奨されるようになった。

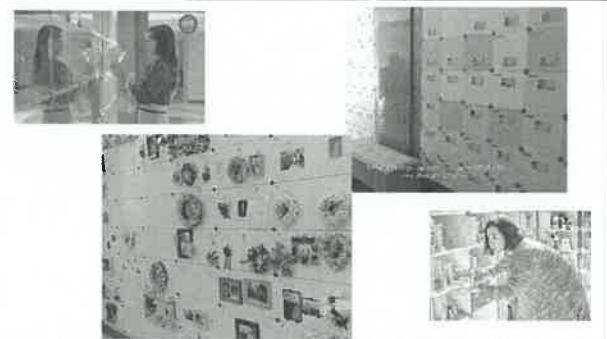
韓国では2000年以降から、火葬場や納骨堂の増加により自然が破壊されてしまうという事態になり、2009年に樹木葬などの自然葬制度を盛り込まれた法律が新たに改正された。

## その結果！！ ロッカー式納骨堂 or 自然葬 ？

ロッカー式納骨堂とは、  
ロッカールームのように扉がついた  
お壇が同じ大きさの扉がついて、並んだスタイルの納骨堂。

韓国の納骨堂は、日本とは違い扉の部分が透けて中が見える構造になっている。また仏壇ではない納骨堂が多いため、骨壺が収納スペースに置かれ故人の写真が飾られていることが一般的。

納骨堂の建物には家族がお参りができるスペースがあり、故人の写真をモニターに映してお参りをする。最初に合掌して、そして正座をして身をひれ伏す。腕を頭の上に伸ばして手のひらを上に向ける。この動作を数回と繰り返すお辞儀（チョル）を家族で行う。





本時  
のまとめ

# キムチの魅力を伝えよう

阪元 啓介

5年生総合的学習の時間では、キムチについて調べています。せっかくですので、私も調べてみました。

では、問題です。

- ①キムチはいつ頃できたのでしょうか？
- ②唐辛子は外国から伝えられました。どこからでしょうか？
- ③なぜ「キムチ」というのでしょうか？
- ④何種類あるのでしょうか。



①キムチはいつ頃できたのでしょうか？

## 1300年の歴史を持つキムチ

人類は農耕生活を始め穀物が主食になるにつれて、栄養のバランスのため、ビタミンとミネラルの豊富な野菜を食べるようになりました。そして、野菜の生産が難しかった寒い冬にも食べられるように塩漬けという貯蔵方法が自然発生的に開発されました。韓国ではすでに了世紀から塩漬けとして「キムチ」の歴史が始まっています。

②唐辛子は外国から伝えられました。どこからでしょうか？

## 唐辛子を使ったキムチの誕生

初期のキムチは単純に野菜の塩漬けに過ぎませんでしたが、12世紀頃からは、各種の香辛料類が加わって独特のキムチの味を出すようになり、16世紀に韓国に伝來した唐辛子伝わりました。1592年に朝鮮半島に出征した豊臣秀吉は、武士の足が冷えないように唐辛子を靴の中に突っ込んで持ち込んだ、または、目つぶしの武器として持ち込んだということです。唐辛子をはじめて朝鮮半島に持ち込んだのは、豊臣秀吉だったのです。つまり、唐辛子を使用するキムチは中国と日本の影響がなければ誕生しなかった食べ物なのです。

18世紀頃からはキムチ作りに本格的に使われるようになりました。特に、19世紀にはキムジャンキムチ(冬場のキムチ)作りに適した白菜の栽培が普及して、現在の典型的な韓国キムチの姿を整えるようになりました。

③なぜ「キムチ」というのでしょうか？

## キムチという言葉の由来は？

キムチという言葉の起源は、「野菜の塩漬け」を意味する「沈菜(チムチエ)」が長い年月が経つ内に、沈菜(チムチエ)→チムチエ→キムチエ→キムチの形に変わりながら、「キムチ」として定着したと言われています。

## なぜ韓国でキムチが発達したのでしょうか？

世界的にも野菜を利用する発酵食品の例はあまり多くありません。韓国でキムチとして発酵食品が発達したのは、農耕中心の昔の韓国人が、野菜を好んで食べていたことや、また水産物の塩漬技術にも優れていたので、それが薫味として幅広く用いられていたこと、特にキムチ作り用の白菜が広く栽培・普及されたようになったことなどが挙げられます。

## キムチの種類

④何種類あるのでしょうか。

○白菜キムチ



白菜を2~4等分し、塩漬けにした後、白菜の葉と葉の間に大根、ネギ、にんにく、生姜、塩辛、唐辛子粉等で作ったヤンニョム（＝薫味）を挟んで漬けます。

○カクテキ



角切りにした大根を塩漬けしたあと、薬味に漬けます。

○チョンガクキムチ



葉が付いたままのチョンガク大根（韓国特有の小ぶりの大根）を塩漬けし、唐辛子粉、塩辛、にんにく、生姜などの薬味を混ぜて漬けます。

○トンチミキムチ



トンチミは、さっぱりとした汁の味が魅力的な水キムチで、ねぎや青唐辛子、梨などを入れて漬けるとさっぱりであっさりとした味が楽しめます。韓国では昔からお餅を食べる時に欠かせないキムチです。

○白キムチ



白菜を若干塩漬けしてから、白菜の茎間ごとに大根の千切り、せり、松の実、梨、栗、糸唐辛子、にんにく、生姜などを入れ、その上に塩水を充填して漬けるもので、寒い北地方の代表キムチです。

○水キムチ



白菜と大根を広々と薄く切り、薬味を入れ、汁を充填して作ります。白菜の味とカクテキの味を同時に味わえるキムチで、汁がきれいで、味が淡白であるのが特長です。

○ボサムキムチ



白菜の葉で薬味を包んで漬けるボサムキムチは、朝鮮の開城地方の代表キムチです。薬味を食べやすい大きさに切って包むので食べやすく、一般に煮た豚肉と一緒に楽しめます。

#### ○ねぎキムチ



小ねぎをいわしの塩辛汁に漬けて作るねぎキムチは、ねぎの歯ごたえが良く、発汗作用により消化促進効果に優れているキムチです。

## キムチの栄養

韓国のスポーツ選手が遠征する際にはキムチが欠かせないといいます。

実際にキムチは栄養価が高く、優れた食材なのです。

#### ○乳酸菌

キムチ発酵の主役、乳酸菌。キムチに特に多く含まれるというラクトバシルスは代表的な善玉菌で整腸作用があり、腸をきれいにしてくれます。焼肉などは悪玉菌のえさになるので、一緒にキムチを食べることはまさに理にかなっています。

#### ○豊富なビタミン類

加熱せずに作るため、主材料の白菜や大根、きゅうりといった淡色野菜に含まれるビタミンCを壊さずに摂ることができます。また新鮮な野菜の液汁が発酵する過程でビタミンB1、B2、B12、ニコチン酸なども作られることがわかっています。

#### ○カブサイシン

薬味である粉とうがらしに含まれるカブサイシンという成分には、体の抵抗力を高め、風邪などから体を守る効果が期待できます。また代謝を高め、内臓脂肪を燃やしたり、血流をよくして体温を高める効果もあります。

#### ○タウリン

アミノ酸の一種で、キムチの材料となる塩辛などの魚介類に多く含まれています。血液中のコレステロールを減少させたり、肝臓の解毒能力を強化したり、視力を回復させたりといった体を正常にするはたらきをもっています。

○他にも、薬味に欠かせない「ニンニク」には中性脂肪を減らしたり、動脈硬化予防やスタミナアップの効果があることがわかっています。また、「ショウガ」の香りには脳を活性化させるはたらきがあることが知られています。

# 中学部ブロック

## 本年度の研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現」  
～世界に向か心を開く子どもの育成～

## ○今年度の取り組み

### 視点1：多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫

#### 「多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫」

- 手立て①世界の様々な場面を設定し、疑似体験を通して物事を多面的に捉えさせる工夫。
- 手立て②立場を変えて考える視点をもたせ、物事を多角的に捉えさせる工夫。

### 視点2：自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫

#### 「自他を尊重し、共に生きようとする態度を育てる工夫」

- 手立て① お互いに意見を伝えたり、聞きあつたりできる場面の工夫。
- 手立て② 世界の問題について自分事として捉え、共に協力して解決しようという意識を高めるための工夫。

### 視点3：ICT活用の在り方の工夫

#### ICT活用のあり方

- 手立て① ICT機器を積極的に使用し、分かりやすい資料提供をするための工夫。

## ○成果と課題

### 視点1：多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫

#### 「多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫」

##### 手立て① 世界の様々な場面を設定し、疑似体験を通して物事を多面的に捉えさせる工夫。

参加型のワークショップを行い、世界の様々な状況について疑似体験することで、多面的な思考を高められるよう工夫した。

⇒人工、食糧、言語など様々な面での問題点に触れ、考えさせることができた。また、複数の教員で各テーマを担当し、様々な視点や立場から話をすすめることができた。どういう意図をもって活動を行うかをより明確にするために、どの情報を与えるか、どんな問い合わせをするかについてはもっと議論する必要があった。

##### 手立て②立場を変えて考える視点をもたせ、物事を多角的に捉えさせる工夫。

役割カードでの役割を演じた後、現在の自分の立場に置き換えて考えさせることで、様々な視点を持ち、多角的な見方ができるような工夫。

⇒役割カードで貧しい思いをした後に、自分たちは裕福な人たちの中に入ると確認し、自分のことについて考える場面があり、多角的に考えることができた。日本はどうか、韓国はどうかと視点を変えた問いをすることで多角的に考えることができた。

### 視点2：自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫

#### 「自他を尊重し、共に生きようとする態度を育てる工夫」

##### 手立て① お互いに意見を伝えたり、聞きあつたりできる場面の工夫。

中学部全体で授業をすることで、学年を越えた意見交換のできる場面を工夫した。それぞれのテーマに沿った問い合わせを準備し、お互いの意見を伝えたり、聞きあつたりする場面を意識的に設けた。

⇒学年を越えて意見交換できたことは、様々な価値観に触れ、それぞれの考えをより深めるために有効だった。生徒同士の意見交換をもっと活発に行なうことができればより考えを深められたと思う。今後各テーマに沿った問題についてより深い学習をし、意見交換の時間を十分にとりながら考えを深めていける場面を作っていきたい。

#### 手立て② 世界の問題について自分事として捉え、共に協力して解決しようという意識を高めるための工夫。

ワークショップの中では世界の中でも日本や韓国はどうか、自分はどうか、という問い合わせを意識し、世界と自分のつながりを考え、問題を自分事として捉えられるようにした。また日本や現地校との交流に向けて、自分たちの学校、現在住んでいる韓国、また自分たちの故郷である日本について調べて発表することを通して自己理解や現地理解を深められるようにした。

⇒生徒の感想から、世界で起きている問題は思ったよりも深刻で、自分たちは恵まれている立場にいるということを実感した生徒が多かった。またそのために、食べ物を残さない、募金をするなど自分にできることを考えられる生徒もいた。

#### 視点3：ICT活用の在り方の工夫

##### ICT活用のあり方

#### 手立て① ICT機器を積極的に使用し、分かりやすい資料提供をするための工夫。

パワーポイントを使いながらワークショップを進め、生徒にとって次の動きがわかりやすいようにした。またグラフや図をたくさん使い、視覚的にわかりやすい資料を使うようにした。

⇒グラフや図をたくさん使ったことで、世界で起こっている問題を視覚的に捉えやすくなった。また具体的な数字で表すことで、問題の深刻さをより深く感じられる生徒もいた。ワークショップの最後の読み聞かせ動画は振り返りとしても有効であった。

#### 国際理解の観点に関して、現在の子どもたちの実態について

学年・クラス	児童の実態
1年	韓国での生活が長い生徒も多く、日本との文化の違いやそれを理解する力はあるように見える。しかし世界と自分とのつながりを感じ、世界の動きや問題に関して深く考えている生徒は少ない。まずは様々な文化や価値観に触れ、興味を持ったり、他者や多文化についてしていく必要があると感じた。
2年	韓国で学校に通っているという特殊な環境にあり、異文化に触れる機会が多く、理解はあるように見える。しかし実際の生徒たちの生活の中では様々な価値観に積極的に触れ、考えを深めようとしたり、自分ごととして捉えて行動に移したりすることが少ないと感じた。
3年	国際理解に関し、韓国での生活を通して日本との文化の違いを比べながら考えたり、今までの英語科や社会科等の教科での学びからつなげて考えたりすることができる。ただし世界で起きている問題に関して、自分ごととして捉えて行動に移したりしようとする意識は低いように見受けられる。



学年・クラス	児童の変容
1年	授業や交流会を通して自身の知らなかつたことが多いことに気づき、世界の国々についてもっと知りたいと興味をもつたり、世界の問題について関心を持ったりすることができた。世界にはどのような状況で暮らしている人々がいるか、それと比べて自分はどうやって生きているかと多角的な考え方ができる。
2年	世界の多様性について考えを深め、お互いが理解しあうことの大切さを考えることができた。また問題を自分事としてとらえられる生徒もあり、食べ物を残さないようにしようと、自分にできることを考えた生徒もいた。
3年	今まで学んだことや経験したことをふまえて、多面的・多角的に考えることができた。世界の状況と今の自分を比べ、世界的な問題を自分ごととして捉え、自分の生き方とつなげながら自分のすべきことを考えることができた。

## 中学部 総合的な学習指導案

日時：令和2年11月24日（火）6・7校時

場所：体育館

対象者：中学部55名

指導者：小林実季 TT(松岡英志・森山喜明・谷川貴美代・奥村健二)

1. 主題名 共に持続可能な未来の地球社会を築いていこう

2. ねらい

「世界が100人の村だったら」の参加型ワークショップを通して世界の現状や問題について理解を深め、世界や身の周りの問題を自分事として考え、行動しようとする心情を育む。

3. 教材名：「世界がもし100人の村だったら」ワークショップ

4. 主題設定の理由

(1) 生徒の実態

ソウル日本人学校の生徒達はそれぞれ出身地も違い、様々な環境で育ってきており、違った文化や価値観を持っていると思われる。そんな仲間が集まっているが、違いを互いに認め合い、受け入れるような雰囲気があり、多様性を認め合う力は高い。しかし、海外にいるにも関わらず日本社会で生活する機会が多く、情報も日本語を使って得ているため、自分たちが住んでいる場所についての知識や理解はさほど深くない。よって世界で起こっている問題への理解や、問題を「自分ごと」として捉える力も弱いように思える。夏休み以降はオンラインではあるが、他校との交流が始まり、実際にオンラインで自己紹介をしたり、韓国の文化やソウル日本人学校について調べ学習を進めたりしている。交流を進めるにつれて相手との同じ所や違う所を見つけ、興味をもったり、自分たちの住んでいる場所について理解をしたりし始めている。

(2) ねらいや指導内容について

現在海外で暮らしている生徒達には、今後世界で活躍するだろう人材としてグローバルな視点をもって学習できるよう支援していきたい。世界には解決しなければならない問題がたくさんあるが、コロナ禍により、さらに厳しい現実が待っていると予想される。そんな中でもたくましく生きぬく力につけるため、世界の現実をシミュレーションという形で体験し、問題を自分事として捉え、行動に移そうと考えができるよう支援をしていく。さらに今回学んだことや生まれた問いが今後の国際理解教育や普段の授業とつながるようにしていきたい。

また、今までの学習から3年生は比較的世界の問題への興味関心が高く、問題を自分事としてとらえることのできる生徒もいるため、学年関係なく活動し、意見を共有することで全体の意識が高まるよう支援をしていきたい。

(3) 教材について

国際理解学習を進めていくにあたり、導入として「世界がもし100人の村だったら」という絵本を元にした参加型のワークショップを活用する。世界にある様々な問題を簡潔に示しており、参加型という手法を使うことによって、楽しく学ぶことができる。また貧富の差などの疑似体験をすることにより、世界の問題をより身近に感じることができる。

指導者にとっても教材は簡単なものであり、手法も基本的にはカードに従うという単純なものであることから、参加型のワークショップの初心者にとってもあつかいやすい教材といえる。

#### (4) 指導について

##### 視点1 多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫

世界の様々な問題についての疑似体験をし、色々な立場に立ったり、自分の意見を共有する場面を設けたりすることで、多面的な思考を高める。また自分の立場に置き換えて考えられるような問い合わせをすることで、様々な視点を持ち、多角的な見方ができるよう支援する。

##### 視点2 自他を尊重し、共に生きようとする態度を育てる工夫

世界の中でも日本や韓国はどうか、自分はどうか、という問い合わせを意識し、自己理解や現地理解を深めたり、自分の考えを更新できたりするような工夫をする。

##### 視点3 ICT活用のあり方

ICT機器を積極的に使用し、視覚的に捉えることで分かりやすい資料提供をする。

### 5. 本時案

#### ①ねらい

ワークショップを通して世界の現状や問題に気づいた生徒たちが、他の人の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりすることを通して、世界の問題についての理解を深め、自分にできることは何かを考えることができる。

#### ②学習指導過程

(担当) 時間	○主な学習活動と発問	◇指導上の留意点
(小林) 5分	1. SDGsについての話をする。  2. 世界の人口についてのクイズをする。	◇SDGsを紹介し、世界の問題と、それを解決するためにできることを考えようと言える。  ◇この100年余りでの人口の爆発的な増加があることを伝える。
14分	<p><b>クイズ</b></p> <p>Q.世界の人口は、現在、何億人くらい？（77億人） Q.1970年の世界人口はどれくらいだったでしょう？ ①27億人 ②37億人 ③47億人 Q.2050年の世界人口はどれくらいでしょうか？ ①87億人 ②97億人 ③107億人</p> <p>・「人口が増えると起こる問題は？」</p> <p>4. 世界は今、高齢化？若年化？を考える。 ・役割カード「年齢」の指示に従う。</p> <p><b>大人：立つ 子ども：ひざ立ち お年寄り：しゃがむ</b></p> <p>「見渡してみて分かることは？」 ・役割カード「日本の場合の年齢」の指示に従う。 「世界との違いは？」「なぜ高齢化？」 「高齢化が進むと起こる問題は？」「韓国は？」</p>	◇日本も韓国も人口は減少しており、高齢化社会問題が深刻になってきていることに触れる。  ◇日本は世界と比べて子どもの割合は半分、お年寄りは約3倍あると示すことで日本の問題に気づかせる。  ◇なぜアフリカでは子どもの割合が高く、日本では大人の割合が高いのか考えさせ、貧困や児童労働について気づかせる。

(松岡) 14分	<p>5. 大陸ごとに分かれてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大陸で考えると日本や韓国はどの地域になるでしょうか。」</li> </ul> <div data-bbox="228 354 323 399" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クイズ</div> <p><b>Q</b> アジア人の人口は、世界人口の何%にあたるでしょうか？</p> <p>①40% ②60% ③80%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割カード「地域」の指示に従う。</li> <li>・各地域のおよその位置を示し、ひもを使って床に地域の形をつくる。</li> </ul> <p>面積比</p> <p>アジア : 23.5% アフリカ : 22.3% ヨーロッパ : 16.9%      南アメリカ : 16.5% 北アメリカ : 14.5% オセアニア : 6.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにひもで作った地域の中に入る。          「気づいたことはありますか？」          「人口密度が高いとどのような問題がありますか？」</li> </ul>	<p>◇日本や韓国からの視点を確認し、自分ごととして捉えられるようにする。</p> <p>◇社会的距離をとるため、体育館全体の比率から考える。</p> <p>◇世界の人口の大半（約8割）がアジアやアフリカなどの開発途上国を多く含む地域に暮らしていることを確認し、途上国での食糧や貧困の問題について気づかせる。</p>
(森山) 14分	<p>6. 世界の言葉について考える。</p> <div data-bbox="228 1078 323 1123" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クイズ</div> <p><b>Q</b> 次の言語を世界で最も多くの人が話している順番に並べてみましょう。</p> <p>①スペイン語 ②英語 ③ヒンディー語 ④中国語      (答え: ④→①→②→③)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割カードにある「あいさつ」に従ってグループに分かれる。</li> <li>・グループごとに何語でどこの国かを発表する。</li> </ul> <p>「中国語、英語、スペイン語、ヒンディー語はなぜ言語人口が多いのだろうか？」</p> <p>「少数者の言語が世界から消えていくとどうなるか？」</p>	<p>◇同じ言語でも話されている国や地域が異なることを確認する。</p> <p>◇世界で話されている言語は少数言語も含めると7000以上あると言われており、それらの言語の4割以上は地球上から消滅する危機にある。言語の消滅=文化の消滅という問題に気づかせる。</p>
(谷川) 14分	<p>7. 識字率について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>バスヌホス</b>と書いた紙を見せる。</li> </ul> <p>「役割カードを参考に、この文字が読める人はその言葉の通りに従ってください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>バスヌホス</b>が読める人は役割カードの指示に従って座る。          (文字が読める人は座るが、読めない人は立ったままである。)</li> <li>・カードの意味を説明する。</li> </ul> <p>「世界で文字が読めない人（成人）の割合はどのくらいでしょうか？」 → <b>14%</b>（識字率）</p>	<p>◇「識字率」について触れる。</p> <p>◇日本はほぼ100%だが、字が読めないとはどういうことか考えさせる。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字が読めなかつた人に前に出てくる。</li> <li>・3つの水を使い、文字が読めない不便さを体験する。</li> </ul> <p>「家族の中で子どもが病気にかかりました。薬局で薬だと思うものを選んで買ってきてください。」</p> <p>「文字が読めないとどんな不便さや問題があるか。」</p> <p>「どのような国や地域で識字率が低いか。またそれはなぜか。」</p>	<p>◇水を飲んだ人にどんな味か、なぜそれを選んだかなど問い合わせる。</p> <p>◇識字率が低いことと貧困のつながりに気づかせる。</p>
(奥村) 14分	<p>8. 世界の富の配分について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割カード右上のマーク (□、△、○、☆、♡) に従ってグループに分かれる。</li> </ul> <p>「どのような条件でグループに分かれたと思いますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富を多く持っている順であることを説明する。</li> </ul> <p>(多 △→□→☆→♡→○ 少)</p> <p>「それぞれのグループの富をビスケットの分量で表しました。これからそれを配ります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビスケットを渡す。</li> <li>・各グループのビスケットの量を比較する。</li> <li>・グループで相談し、好きなように分けてもらう。</li> </ul> <p>「どんな気持ちがしましたか？」</p> <p>「貧しいグループの人たちはどのような状況にあると思いますか？」</p> <p>「どうしてこのような不公平があると思いますか？」</p> <p>○栄養不足と肥満の問題について付け足す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割カードの「果物」の指示に従って割合を確認する。</li> </ul> <p>バナナ（栄養を取り過ぎな人） りんご（食糧の確保に不安のある人） ミカン（餓死しそうな人） いちご（栄養を取り過ぎでも、食糧の確保に不安もない人）</p> <p>「このような不公平に対して、私たちはどうしたらよいと思いますか？」「貧富の差をなくすにはどうしたらよいでしょうか。」</p>	<p>◇世界の富の大部分は人口の10%に集中していて、その割合は81.7%にも及ぶことを示し、世界の不平等さを確認する。</p> <p>◇食糧など多くのものを輸入に頼っているので、自分たちの生活は途上国のおかげで成り立っている。一方で大量のフードロスを出している日本のような国もあり、不均衡が起きていることに気づかせる。</p> <p>◇自分の役割での位置と、自分自身の位置を比較することで、多角的に考えさせる。</p> <p>◇世界の問題を自分の問題として捉え、自分にできることを考えさせる。</p>
(小林) 10分  5分	<p>9. ふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界がもし100人の村だったら」の動画を見る。</li> <li>・感想を発表する。</li> <li>・教室で振り返りを書く。</li> </ul>	<p>◇世界の問題に対して「私たちにできること」を考えさせる。</p> <p>◇問題を自分事として捉えることで、今後の国際理解学習につなげていく。</p>

### 評価

- ・自分の意見を伝えたり、他の人の意見を聞いたりすることを通して自分の考えを更新することができたか。
- ・世界の問題を自己ごととして捉え、考えを深め、自分にできることを考えたか。

## 6. 授業の様子



## 7. 授業の実際と考察

### (1) 視点1について

- ・参加型の授業だったので、意欲的に学習ができていた。ビスケット等の実物もあり、疑似体験をすることでより実感を持って授業を受けることができた。
- ・様々な課題について 100 人として考えたことで、理解しやすく、主体的に取り組む姿が見られた。
- ・「どうしてこのような不公平があると思いますか？」という発問に対して、教育の必要性や環境の違いが格差を生んでいることを多角的に考えることができた。
- ・「貧富の差をなくすにはどうしたらよいと思うか。」という発問に対して考えることは時間がなかった。
- ・複数の教員で授業を進めることで、それぞれの色が表れ、多面的な見方がよりできるように工夫されていた。

### (2) 視点2について

- ・今回の内容を自己課題化させるのは難しいが、世界について「知る」きっかけにはなったと思う。自己理解や現地理解を深めるのには良い教材だった。
- ・生徒同士の意見交換をする時間をもっと確保したい。
- ・役割カードを使うことで意図的に様々なグループ構成がなされていた。そのため様々な立場の考えを聞き出せた。
- ・すべての課題を数値化し、具体物を使って現在の自分たちと比べたことで世界の現状に対し、

### (3) 視点3について

- ・画像や音声があってより分かりやすい授業になった。最後の読み聞かせ CD は効果的だった。
- ・グラフを使うことで、全体に対する割合が視覚的に捉えやすかった。

#### (4) その他

- ・世界に目を向ける授業は日本人学校の生徒にとって必要だと感じた。小学部でも内容を変えて行ってみても良いかもしれない。来年度もこういった国際理解学習は続けていきたい。
- ・中学部全職員でリレー形式で協力して授業を行うことができてよかったです。

### 8. 生徒の感想より

- ・自分はめぐまれていると改めて思った。あまり贅沢を言わずに過ごしていきたい。色々な国のことについて知りたいと思った。
- ・世界では富が十分にいきわたっている地域とそうでない地域との差が大きかった。学習を通して、私も貧しい地域や貧しい人々の役にたつようなことをやりたいと思った。
- ・世界中には色々な人がいて、その色々な人を理解することが一番重要だと思った。
- ・自分たちが最も裕福な層にいることは意外だった。日本にいると気づきにくいが、途上国人からすると好きなものを食べられることは幸福なこと。そういうことを想像することが大切だと思った。
- ・学習を通して、今まで少ししか考えたことのなかった問題をより深く考えることができた。食糧問題に関しては自分自身のフードロスを減らせば問題の解決につながる。このことに関しては家族にも話したい。
- ・今まで自分の身の回りのことしか見たことがなくて、日本や韓国の反対側の国の人間をあまり知らなかった。みな同じ地球人なのにこんなに差があったことに驚いた。この差を少しでも小さくするために自分できることを探し、実践していきたい。
- ・世界には貧しい人がたくさんいることは知っていたけど少し自分とは関係ないと背を向けていた気がする。また地球を守るために、これからはもっと水の節約をしたり、食べ物を残したりしないようにしようと思った。
- ・自分が今のようにたくさんご飯を食べられて、環境の良い場所に住み、たくさん友達がいて、幸せであることや今のあたりまえなことに感謝し、貧しい人や厳しい環境にある人に分け与えられる人になりたい。
- ・自分ができることはとても小さいことかもしれないけど、人が集まれば大きな力になると思うので、これからはご飯を残さないようにしたり、節水をしたりしていきたい。
- ・今日の話を聞いて、自分はまだまだ世界のことを知らないと思った。関心を持ったので、もっと深く考えたい。
- ・自分が知らないことを知り、そこで自分がどう考えるかがとても大切だと思った。また互いを理解し合うことも大切だと思った。
- ・世界中にいる人は皆異なる特徴があり、全く同じ人は決していない。そして世界中の皆がお互いを尊重し合うことがとても大切だと感じた。また今自分たちがどんな立場にあって、他の人にどんなことをするべきなのか、より身近に感じることができた。これからは世界について知りたいと思った。
- ・今まで考える機会がなかったけど、今日学んで、もっと人の役に立ちたいと思いました。そのためにはまずは食べ物を残さない、募金をしていきたいと思います。
- ・私は今回の学習で、自分はすごく恵まれているのであって、世界には安全な水や食糧が確保できなくて苦しんでいる人がたくさんいるということを知った。だから私はその人たちのために食べ物は残さ

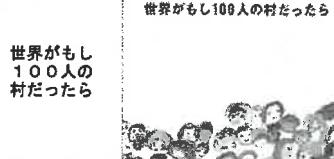
ない、食べられる分しか買わないということを心がける。そして残った食糧を困っている人たちの国に分けることができるよう協力していきたい。

- ・世界の様々の人々と触れあう機会が増えていくこの世の中で、相手を理解し、受け入れることを常に頭の片隅において過ごしていきたい。
- ・人口の話しあは国語で学習したことや社会で学習したこととつながっていておもしろかった。自分がきれいな水を飲めたり、ご飯を食べられたりすることが豊かで幸せなのだと実感し、今の日々を大切にしようと思った。
- ・人間は自分の欲望のままに生きている人が多いなと思う。このままでは平等に生きたり、同じ生活をしたりすることは絶対にできないと思った。1人が意識したところで、これは世界の問題だからどうにもならないけれど、1人は救われるかもしれない、それぞれが意識するのが大切だと思った。
- ・これからは自分がおかれている状況がどれだけ恵まれているかを知り、少しでも使えそうならばそのまま使うなど、自分のものの使い方を見直し、大切に使って行きたいと思う。
- ・多すぎて有り余っている人らが少なくて困っている人に分け与えることができるよう、1人1人の意識を変えていかないといけないと感じた。そして今ある7000以上の言語を少しでも次世代の人に伝えて伝統文化を守らねばならないと思った。
- ・裕福な人々はさらに裕福であろうとするのが現実だ。今自分がいかに恵まれているのかということを実感することが求められていると思いました。ましてや韓国に住んでいる私たちは外から日本を一度見直すべきだと思った。
- ・私は海外での生活を経験しているので、たくさんの文化、考え方には違いがあることを知っている。もっとたくさんの言語とふれあい、自分の周りを見るだけでなく、世界的に視野を広げ、当たり前にできたら幸せなことが、できない厳しい状況にいる人が恵まれるようにする取り組みをしたいと思う。
- ・この学習を通して、ただ聞くだけではなく目で見たり、体感したりしてよりいっそう深く学ぶことができた。逆になぜこんなにも貧富の差が生まれてしまったのだろうという疑問がうまれた。自分はこういった問題に直接的に取り組める人になりたい。
- ・人口が爆発的に増え続けているのに、なぜその「人」によって育まれる言語や文化などが消滅しかかっているのかということに疑問を持った。
- ・世界の人々が皆平等で平和に暮らせるようにするために自分に何ができるか考えてみると、「あの人は～人だから」といった差別をするような心を持たないことが今の自分にできることだと思った。自分も将来は言語を少しでも多く話せるよう勉強して、世界の様々な人たちと関わって、SDGsを達成しようとする人の一人として働くようになりたいと思った。

# 資料

## 世界がもし 100人の村だったら

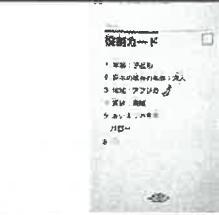
～持続可能な社会をめざして～



## SDGs（持続可能な開発目標）



- ・世界の現状を知る、考える
- ・問題→解決
- ・自分にできることは？



## 世界の人口

クイズ

- ・世界の人口は、現在、  
何億人くらいでしょうか？

答え：

**77億人**

Q. 1970年の世界人口はどれくらいだった  
でしょう？

- ① 27億人
- ② 37億人
- ③ 47億人

答え

**② 37億人**

Q: 2050年の世界人口はどれくらいでしょうか？

- ① 8 7億人
- ② 9 7億人
- ③ 10 7億人

答え

② 9 7億人

考えてみよう！

・人口が増えると  
起こる問題は？

世界は高齢化？ 若年化？

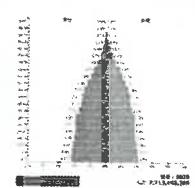
★役割カード 1.「年齢」

大人：立つ

子ども：ひざ立ち

お年寄り：しゃがむ（体育座り）

世界では  
子ども 26%  
大人 65%  
お年寄り 9%



日本の場合は？

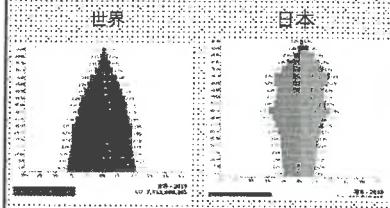
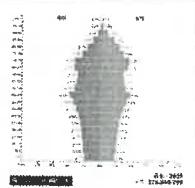
★役割カード 2.「日本の場合の年齢」

大人：立つ

子ども：ひざ立ち

お年寄り：しゃがむ（体育座り）

日本では  
子ども 13%  
大人 59%  
お年寄り 28%



考えてみよう！

- 高齢化が進むと  
起こる問題は？

世界の人口について考えてみよう！

クイズ

Qアジア人の人口は、  
世界人口の何%にあたるでしょうか？

- ①40%    ②60%    ③80%

②60%



大陸ごとに分かれてみよう！

★役割カード 3.「地域」

- ・アジア      ④アフリカ
- ・ヨーロッパ    ⑤南アメリカ
- ・北アメリカ   (・オセアニア)



考えてみよう！

- ・人口密度が高いと  
どんな問題がありますか？

世界の言葉で「こんにちは」

クイズ

Q次の言語を世界で最も多くの人が  
話している順番に並べてみましょう。

- ①スペイン語 ②英語 ③ヒンディー語 ④中国語

答え

- ④中国語  
①スペイン語  
②英語  
③ヒンディー語

同じ言葉を話す仲間はどこにいる？

★役割カード 5.「あいさつ」

言語	人数	場所
中国語	10	1
スペイン語	5	2
英語	4	2
ヒンディー語	4	4
アラビア語	3	3
ペルシヤ語	2	6
ホーリー語	1	7
日本語	2	1
韓国語	6	1
経口・頭脳語	1	15
フランス語	5	18
ドイツ語	6	17
イギリス語	7	22
エングリッシュ	6	28
		...
		172

考えてみよう!

・同じ言語でも違う地域で  
話されているのはなぜ?

考えてみよう!

「なぜ 中国語、スペイン語、英  
語、ヒンディー語 を話す人が多  
いのでしょうか?」

考えてみよう!

- 世界で話されている言語は少数言語も含めると7000以上
- それらの言語の4割は地球上から消滅する危機にある…
- 言語が消えるということは?

文字が読めないということ

一度立ちましょう。

★役割カード 6.「言語」

・役割カードを参考に、  
次の文字が読める人はその言  
葉の通りに従ってください。

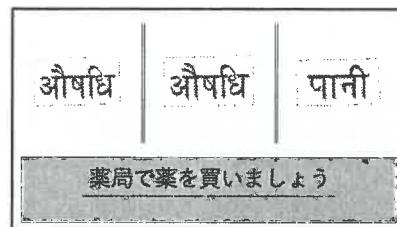
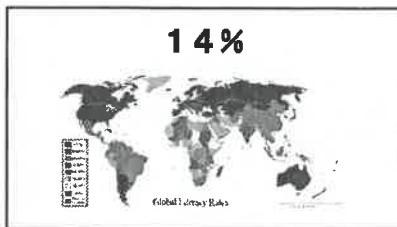
बस्नुहोस

बस्नुहोस

これはネパール語で  
「座ってください」  
という意味です。

クイズ

「世界で自分の国の文字が読  
めない人（成人）の割合はど  
のくらいでしょうか？」



考えてみよう!

- 「文字が読めないと不便なことはどんなこと?」
- 「どのような国や地域で識字率が低いか。またそれはなぜか。」

**富を持っているのは誰?**

- 役札カード左上マークの指示に従って分かれて並んでみよう  
△ □ ☆ ♥ ○

どんな条件で5つに分かれていると思いますか?

**富を多く持っている順です**

- △
- 
- ☆
- ♥
- 

**ピスケットを分けよう**

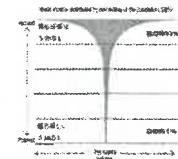
- 各グループに世界の富の分配の割合に従ってピスケットを配ります。皆でそれを分けてみましょう。

考えてみよう!

**「どんな気持ちがしましたか?」**

**世界の富の分配状況**

自分はどこかな?



考えてみよう!

**「なぜこのような富の不公平があるのでしょうか?」**

★役割カード 3. 「地域」の果物マーク

- ・バナナ（栄養をとりすぎの人）31%
- ・りんご（食糧の確保に不安のある人）17%
- ・みかん（餓死しそうな人）9%
- ・いちご（どれでもない人）43%

・日本は食糧の輸入が多いが大量のフードロスを出している

考えてみよう!

「貧富の差をなくすにはどうしたらよいでしょうか？」

世界がもし  
100人の  
村だったら



ふり返り

- ・思ったこと
- ・感じたこと
- ・もっと知りたいこと

- ・世界の現状を知る、考える
- ・問題→解決
- ・自分にできることは？

# ワーキングニアガ版 「世界がもし100人の子供だったら」

No.1

## 役割カード



### 役割カードの見方

本カードは、「第1部 ワークショップ編」の「2. シミュレーション」([4])  
大陸でつくられているものは？」以外)で使用するものです。

- 参加者の人数に合わせて、通し番号順にカードを増減することができます。  
但し、参加者が15人以下の場合には、主要言語を網羅できない、比率が不正確になる、などの理由で、使うことができませんのでご了承下さい。  
→参加人数が少ない場合は、こんな工夫もできます
  - ・紙で作った人形などを人に見立てて、世界地図の上に置いていく。
  - ・その場にあるモノを利用して、人に見立てて動かしていく。

- カードは50番まであります。参加者が51人以上の場合には、さらにNo.1から順に足していくことができます(100人の場合には、同じカードを2セット使用します)。
- 参加者24名の場合は、No.1～No.24のカードを使用
  - ・参加者70名の場合は、No.1～No.50までの1セットに加え、No.1～No.20を1枚ずつ使用
- 役割カードの1.～6.はテーマごとの役割であり、一定の傾向はあります  
が必ずしも一貫性があるものではありません。



No.2

## 役割カード



1. 年齢：大人
2. 日本の場合の年齢：大人
3. 地域：アジア
4. 言語：中国語
5. あいさつの言葉：ニーハオ
6. バスホース (バスヌホス)

この表記は「座ってください」という意味です。  
これを見せられたらそのままの通りにしてください。  
このことは他の人は言わないでください。



No.4

## 役割カード



1. 年齢：子ども
2. 日本の場合の年齢：大人
3. 地域：アフリカ
4. 言語：英語
5. あいさつの言葉：ハロー
6. ○

この表記は「座ってください」という意味です。  
これを見せられたらそのままの通りにしてください。  
このことは他の人は言わないでください。



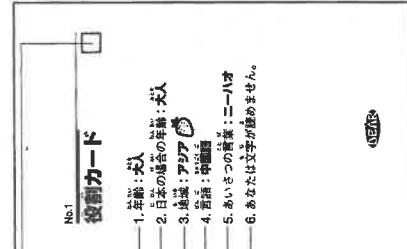
No.3

## 役割カード



1. 年齢：大人
2. 日本の場合の年齢：大人
3. 地域：ヨーロッパ
4. 言語：スペイン語
5. あいさつの言葉：オラ
6. バスホース (バスヌホス)

この表記は「座ってください」という意味です。  
これを見せられたらそのままの通りにしてください。  
このことは他の人は言わないでください。



富の分配「富を多く持っているのは誰?」  
(P22～25)

①年齢「世界は今、高齢化? 若年化?」(P11)

②日本の場合の年齢  
「世界は今、高齢化? 若年化?」(P11)  
「世界は今、高齢化? 若年化?」(P12～13)、「大陸でつくられているものは?」(P14～17)

③地域と栄養状況「大陸ごとに分かれみてよう!」  
(P12～13)、「大陸でつくられているものは?」(P14～17)

④言語「世界の言葉で「こんにちは」」(P18～19)

⑤あいさつの言葉「世界の言葉で「こんにちは」」  
(P18～19)

⑥識字「文字が読めないということ」(P20～21)



## 韓国文化の理解発表会

# 歴史教科書に見る韓国

1. 期日 令和2年12月11日(金)※20分程度
2. 目的 中学生が使用する教科書に出てくる韓国に関する記述や資料、地図などを紹介することにより、韓国に対する関心を高め理解を深める。
3. 内容 PowerPointで教科書に掲載されている資料や地図を映し出し、日本とのかかわりを解説する。教科書に出てくる記述は、文書に打ち仕出し配布した。
4. 発表者 松岡英志

### 【配布資料の一部】

#### 国別教科書登場数

国名	韓国・朝鮮など	中国	アメリカ	イギリス
登場数	41	65	38	40

## 近世の日本

### 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一

#### 5 兵農分離と朝鮮侵略

⑥P109 [海外貿易と朝鮮侵略] 「1592（文禄元）年には、明の征服を目指して、諸大名に命じ、15万人の大軍を朝鮮に派遣しました（文禄の役）。日本の軍勢は、首都漢城（ソウル）を占領して朝鮮北部に進みますが、救援に来た明軍におしもどされました。また、各地で民衆による義兵が抵抗運動を起こし、朝鮮南部では、李舜臣（イソンシン）の水軍が日本の水軍を破りました。

そこで、明との間で講和交渉が始まり、明の使節が来日しました。しかし、講和は成立せず、秀吉は1597（慶長2）年から再び戦いを始めました（慶長の役）。日本の軍勢は苦戦し、1598年に秀吉が病死したのを機に、全軍が引き上げました。7年にわたる戦いで、戦場になった朝鮮は荒廃し、日本に連行される者もいました。日本の武士や農民も重い負担に苦しめられ、大名の間の対立をもたらして、豊臣氏が没落する原因となりました。」

⑦P109 [歴史にアクセス 有田焼のルーツ] 有田焼は、江戸時代にヨーロッパに輸出され、日本を代表する焼き物となりました。その有田焼を始めたのは、朝鮮に兵を出した大名が連れ帰った陶工たちでした。かれらによって、優れた技術が伝えられ、有田以外にも、後に各地で名産となる磁器や陶器が生まれました。佐賀県有田町には『陶祖李（イ）参平（サムヒョン）』をたたえる石碑が建てられています。

### 3節 日清・日露戦争と近代産業

◆ 美術と中国

景福宮



光化門

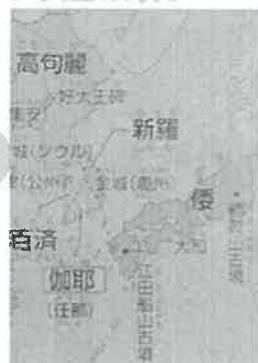
67

朝鮮總督府  
(左の白い建物)  
と  
朝鮮國時代の王宮

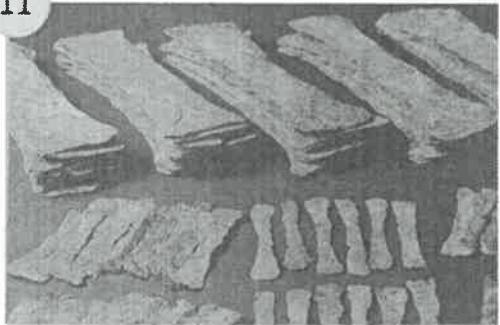
### 2節 日本列島の誕生と大陸との交流

◆ 女王の時代

11



11



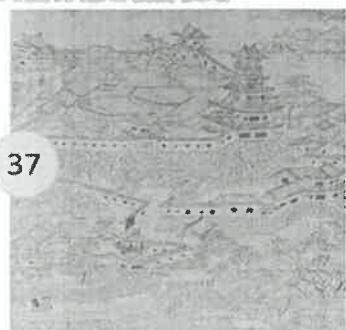
日本の古墳から出土した鉄の板

5世紀の東アジア

### 1節 ヨーロッパとの出会いと全国統一

◆ 長慶分断と朝鮮侵略

41



37

豊臣秀吉の  
朝鮮侵略と  
朝鮮から連  
れて来られ  
た陶工が始  
めた焼き物



### III 研究のまとめ





# 全体の成果と課題

令和2年度テーマ

## 主体的・対話的で深い学びの実現 ～世界に向か心を開く子どもの育成～

### 研究の視点

- ・多面的・多角的な見方・考え方を深める指導の工夫
- ・自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫
- ・ICT活用の在り方

### ○主題・副題・視点から見た研究の成果

幼稚部	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ感染症の広がりで、クラスの中でもマスク着用、友だちとの間隔をあけて座る、並ぶことなど、子ども自身で気を付けたりお互いに声を掛け合ったりできるようになった。マスク着用、手洗いの履行など新生活様式にしたがった約束を守っていた。</li></ul>
小学部	<ul style="list-style-type: none"><li>・研究の視点3のICTの活用については、オンライン授業が続いたこともあり、どの学年も工夫をした取り組みにより教師も子どもも技能が向上した。児童アンケート9番が<u>昨年度3.3→今年度3.6</u>から見ても分かるように、オンライン授業の中で大いに成果が見られた。</li><li>・研究授業については、コロナ禍で全員が集まることが難しい中、低学年部、中学年部が対面授業で高学年部ではオンライン授業で実施することができた。授業後は感想箋を使って、先生方の考えを共有することができた他、中学年部の授業では、協議会を開いて研究の視点について意見交換をすることができた。</li><li>・低学年部生活科の授業では、友だち同士でお店屋さんを開店させ、協力しながら店員を経験していた。商品を売るための工夫を自分たちで考え、実践する様子に視点2、自他を尊重する態度の向上も見られる実践だった。楽しみながら経験をする授業展開が、児童アンケート7番の結果（<u>昨年度3.3→今年度3.8</u>）につながったと分析できた。</li><li>・中学年部の授業では、視点1を意識しながら授業を展開した。防犯カメラが交通安全（多面的）だけでなく、犯罪防止にも役立つ（多角的）ことを児童に考えさせられるようにした。教材の提示では、ICTを有効に活用し、児童の理解を促していた。交通安全という面から多くの意見が出され、そこから防犯の面という多角的な考え方へと展開できたことは大きな成果と言えた。</li><li>・6年生の歴史の授業では、オンラインの良い面を生かし工夫しながら、子どもたちにじっくりと考えさせた。ZOOMのセッションの機能を使い、話し合いを取り入れるなど対面授業とほとんど変わらない流れで、友だちの考えを尊重しながら話し合いを進める様子が見られた。</li></ul> <p>※少ない実践の中でも、先生方が研究の視点に沿って授業を進め、成果を出すことができた。</p>
中学部	<ul style="list-style-type: none"><li>・ICT機器を最大限に活用でき、更なる活用方法を考えるきっかけとなった。ICTについては様々な実践から研修が高まった。</li><li>・コロナにもかかわらず、保護者の校内評価（「楽しくわかりやすい授業」）は高かった。これは、先生方が普段から「主体的・対話的で深い学びの実現」を意識し、色々な授業において実行しているからだと思う。成果はあったと思う。</li><li>・中学部全教師で実施した総合の授業では、「世界がもし100人の村だったら」ワークショップを実施し、生徒が主体的にこれからの世界的問題について考えることができた。クイズ形式にしたり、疑似体験をしたりして多面的思考を高めることができた。自分の考えを共有する場面をもうけることで友だちの考えを受け入れながら多角的な見方もできるようになった。</li></ul>

→コロナ禍でも子どもたちの国際理解の意識は高まったといえる。

ICTを活用する力がオンライン授業を通して培われたと同時に、子どもたちも教師自身も物事を多面的、多角的にとらえる力がついてきた。

## ○主題・副題・視点から見た研究の課題

幼稚部	・正しいマスクの着用ができない幼児がいたため、重ねて声をかけていきたい。幼児ということもあり、深い対話まではいかず、教師がまずどういうことか、気を付けるかを伝えることで、子どもたちの意識が変わっていた。
小学部	・勤務時間内でできる研修計画を立てる。 ・「何を どうしていくのか」の考え方の統一をすることが必要だと思う。 ・コロナ対策をしながら実のある研修になるような計画が必要。もしくは、コロナ渦での研修計画や授業計画が必要。なかなか子どもの様子、反応が見えにくかった。 ・コロナ渦でのオンライン授業が続くようなら、iPad をどの場面で使うと有効的なのかが見分けられるようなことも重要。(高音、画質などの問題)
中学部	・I C Tをどのように利用するか、授業のどんな場面で使用するかが課題。 ・学部会において年間スケジュールの確認を徹底しておくべきだったと思う。
→オンライン授業の特徴として、コンピュータを使わざるを得ないことから、I C Tに関する活用能力は全体的に向上した。しかしコロナのため、研修としては全体で集まることが難しく、主題を深く追求することができなかつた。	

## ○子どもたちの変容

幼稚部	・食事前、韓国語であいさつをする姿が見られるようになった。あいさつ、数、天気なども韓国語や英語で言える。英語の単語を生活の中で使う姿が見られるようになった。 ・韓国語の歌を取り入れたことによって、親しみをもつようになった。英会話の授業を楽しむ姿が見られるようになった。 ・普段の生活の中で自然に警備員やバス担当にあいさつしたり、韓国語、日本語、英語の数字を使ったりすることで、英語や韓国語のあいさつや数え方を親しみをもって行っている。
小学部 (低学年)	・生活の授業で市場ごっこをしたことで保護者が市場に連れて行ってくれたり、行ったときに子供が市場案内をしてくれたりする子供がいた。授業が終わった後に作った物を持って帰った時、家族で市場ごっこをしていたようで、授業の内容が広がっていったので良かった。 ・オンラインの授業で市場を子供たちに見せた時から興味深々だった。授業で作るときに、韓国の市場に売っているものを調べてきたり、辛い食べ物、甘い食べ物など子供たちで話し合えたのは良かった。 ・発達段階が比較するまで達していないと思っていたが、そうではなく、今住んでいる所の韓国が子供たちにとっての生活の場所なので韓国も日本も自分的一部になっているように感じた。音楽の授業で韓国語を歌ったり道徳の授業で国際理解を学んだり、韓国語の授業で文化を学んだり、年齢を重ねるごとに興味関心が広がっている。 ・自分で文化や人、国に対して多角的に興味を持ちはじめているようになった。また、保護者が「せっかく海外にいるのだから…」と進んで異文化体験をして下さっている。
小学部 (中学年)	・魂ソウルの学習を通して、韓国の伝統的行事や風習について知り、体を動かしながら親しむことができた。また、日本各地の祭りや古典音楽を体験的に知ることができ、日本の良さを改めて感じることができた。 ・韓国のガイドブック作りでは、インターネットや本で調べたり、お家の人にインタビューしたりして、韓国の良さを調べた。多くの日本人が韓国のグルメや文化について好感を持っていることを知り、改めて自分たちが住んでいる韓国の良さに気付かされたという児童も多かった。 ・日本をはじめ様々な国の学校と交流会を開き、ソウルの良さや伝統、学校の様子などを発信することができた。その過程で、ソウルについて詳しく調べ、自分たちが住むソウルについて再発見したり、より詳しく理解したりしながら、国際的な視野を広げることができた。日本、シンガポール、オーストラリアの特徴、情報を聞きながら世界各国へと興味、関心を持つことができた。

小学部 (高学年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キムチのことを調べる中で、キムチの良さを知り、それが韓国の良さを知ることになったと思う。日韓ハーフの児童が学力が厳しい傾向にあるが、ソウルタイムでは、韓国語を日本語に訳したり、自分の経験から発表、表現したりと活躍する場が多く、自己有能感を養うことができた。</li> <li>・ZOOMで世界とつながれるにもかかわらず、世界に目を向ける意識はあまり高くない。世界に目を向けるよりは、身近な仲間に目が向いている。韓国・日本に対する優劣などの意識はあまり無く、どちらの良い面や悪い面も認めている。ソウルと日本を行き来していることの特別感をあまり感じず、自然なこととして受け止められているともとれる。ただ、変容はあまり感じられない。</li> </ul>
中学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や交流会を通して自身の知らなかつたことが多いことに気づき、世界の国々についてもっと知りたいと興味をもったり、世界の問題について関心を持ったりすることができた。世界にはどのような状況で暮らしている人々がいるか、またそれと比べて自分はどうやって生きているかと多角的な考え方できた。ご飯を残さないようにしたいなどと自分にできることを考えられる生徒もいた。</li> <li>・世界の多様性について考えを深め、お互いが理解しあうことの大切さを考えることができた。また問題を自分事としてとらえられる生徒もあり、食べ物を残さないようにしようと、自分にできることを考えた生徒もいた。</li> <li>・今まで学んだことや経験したことをふまえて、多面的・多角的に考えることができた。世界の状況と今の自分を比べ、世界的な問題を自分ごととして捉え、自分の生き方とつなげながら自分のすべきことを考えることができた。</li> </ul>
→コロナ渦でも、オンライン授業で主体的・対話的で深い学びを意識したことから、子どもたちの学校評価は、「楽しくわかりやすい授業」「コンピュータを活用した授業」の内容が向上した。	

## ○研究の内容・進め方について

- ・I C Tを取り入れた研究・研修（コロナの状態を考えるとタイムリー）
- ・授業研修以外に I C T研修や、現地採用の先生にも韓国文化の紹介をしてほしい。
- ・退勤時間までには必ず終了できる研修にしてほしい。
- ・研究は日々の保育でとても大切だが、小学部、中学部と同じ研修内容の参加の仕方は改善してほしい。
- ・勤務時間内に研修もビデオ参観もできるようにしてほしい。
- ・コロナ渦で、時間を確保するのが難しかったが、指導案の検討を今後も必ず確保する。
- ・子どもたちの変容は、事前事後でアンケートを取り、数値化した方が分かりやすいのではないか。
- ・研修の方向性や考えの統一が難しければ、各先生方の得意分野の実践、技能・知識などを発表するのもおもしろいと思う。
- ・新派遣全員が集まった段階で、研修についてしっかりと確認や話し合いができなかつたため（新派遣来韓が7月だった）学部として深まりが感じられなかつた。初めに研究主題、内容や方向を共通理解を必ず図る。
- ・7月来韓だった為に今までの流れが分からなく、多面的、多角的が分かりにくかつた。韓国に全員で集まつたら初めに再確認をする。

→毎年つながりのある研修と、来年もコロナの影響が続くなら、それに合わせた研修の計画を。  
研修内容の縮小と研究の方向の共通理解を行っていく。

# 来年度に向けて

## ☆来年度の研究の方向性について

- ・今年度の内容を継続しながら、コロナの状況に合わせた研修を進める。
- ・せっかく韓国に学校があるので、「国際理解」を来年度も入れた研究をしたほうがよい。
- ・研究の主題、内容、計画（スケジュール）を年度初めに共通理解しておく。
- ・時間の確保が難しいが、今年と同じように指導案の検討や授業後の協議会を必ず入れる。
- ・研究授業と並行して職員研修も計画的に入れていく。
- ・国際理解教育 + ICT 機器を活用して
- ・学部1本ずつの研究授業をお願いしたい。
- ・学校全体で一つを取り組んだ方がよいと思うが、今年度のようにどんな教科でもいいとなると、各部で専門ではない先生方では共通の研修が難しい。「道徳」「総合」「生活科」などで「国際理解」をテーマにした授業でもよいのではないか。
- ・小学校でプログラミング教育が入ってきたり、ロイロノートが導入されたりしているので、ICTと絡めて研究をしても良いのではないか。
- ・全体での研究授業は1本にして、他は各学年部、学部間で1～2本くらいにして、子どもたちの変容を見ていき、研修主題の検証を進める。
- ・授業研究の時期を早めにする。（公開授業の時期を早くするなど）

→研究授業の回数、時期を考える必要がある。

→来年度は、共通理解をしてから、国際理解をテーマにさらに研究を進める。

→ICTやプログラミング教育、各先生方の得意分野などの研修を並行して行う。

## ☆その他（研究の進め方・教養研修・幼小中連携 等）

- ・現状通りでよい。
- ・韓国のことについて学べたのはよかったです。
- ・コロナの状況に応じて、年間行事予定に含まれている幼小中交流を進める。
- ・学習指導要領が変わり評価の観点が変わったので、その研修をしたり学部で話し合ったりする時間がほしい。

→現地理解を教職員もより深められるようにしていく。

## IV 他

- ・コロナ対策の為の今年度の資料
- ・ICT を活用した教育体制構築に関する  
実証事業報告書





## 〇年生オリエンテーション

### <オリエンテーションの次第>

- ① オンライン授業の約束
- ② オンライン授業の進め方について
- ③ 時間割について
- ④ 宿題について
- ⑤ オンライン期間中の過ごし方について

### <オンライン授業での約束>

- ① 話すとき以外、マイクは「オフ（ミュート）」にしておいてください。
- ② パソコンのビデオは「オン（開始）」にしておいてください。
- ③ 画面の共有ボタンやチャット機能は、指示があるまで使わないでください。
- ④ 5分前には、机に座り、筆記用具・教科書・ノートを準備しましょう。
- ⑤ 学校と同じように、真剣に取り組みましょう。  
(姿勢に気を付け、立ち歩きはしない)
- ⑥ ネットマナーを守りましょう。
  - ・ネット上にデータを公開しない。
  - ・許可なしに他人のデータを使わない。
- マナーを守って、全員が気持ちよく学習できるように協力しましょう。
- ⑦ ロイロノートにアップする授業の録画は次の日の12時までにアップします。

### <オンライン授業の進め方について>

国語、算数、理科、社会は学年で行います。

専科の授業は学級で行います。専科の授業の関係で、国語や算数であっても学級での授業になることがあります。

教科担当は、国語→井越先生、算数、社会→藤倉先生、理科→原田先生

専科の授業は今まで通り、音楽→太田先生、英会話→野々口先生、李先生

家庭科→池上先生、韓国語→吳先生、陳先生、田先生

### <時間割について>

1日を5時間で考えています。オンラインで先生が行う時間は1日3時間ですが、授業の間の時間は課題（自主学習）を行ってください。

毎日の生活が、学校に通っているときと同じように、規則正しく過ごしましょう。

### <課題（自主学習）について>

毎日学校から課題を配信します。行う時間を指定しますので、決まった時間に行い、決まった時間内にロイロノートに提出してください。次の授業の時に確認をします。わからないところなども、その時に聞いてください。

### <オンライン期間、冬休み中の過ごし方>

韓国国内は、コロナウィルスの警戒を高めています。みなさんも、

- ① 外出時のマスクの着用 ②外で遊ぶ時にも、大人数で集まらない を守りましょう。

このような形でオリエンテーションを行いたいと思います。学年で形を変えてご利用ください。  
このほかに共有事項等あれば、教えてください！よろしくお願ひします。

# 「ZOOM」と「ロイロノート」活用した授業について (TV 授業)

訂正版

## 1、ねらい

- ・子どもたちとのコミュニケーションを通して、子どもたちの不安を軽減させる。
- ・学習指導要領に沿って、学習を進めることによって子どもたちの学習定着を図る。
- ・授業を定期的に行うことによって、子どもたちが規則正しい生活ができるようにする。

## 2、期日

4月23日（月）～5月7日（木）

※8日以降は要検討

## 3、使用ツール

### ZOOM

ZOOMは、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングにオンラインで参加できるアプリ。パソコン、iPadやiPhoneの画面共有（相手と一緒にみること）できます。※アプリがなくても参加できる。

### ロイロノート

ロイロノートのクラウド機能を使い動画や教材の配布、提出箱や「送る」の機能をつかった教師と子どもたちのやり取りなどで活用する。

## 4、使用に向けて　※検討事項

☆ZOOMに職員の登録（個人登録）をする。（今週中にお願いします。→原田まで）

個人登録をして各クラス（担当）のミーティングのリンク先を保護者に知らせる。

（パスワードを含む。）

→HPに掲載する。（パスワードが設定されている画面。）

※ 配布初日（13日）には掲載しておく。

そのため今週中に原田までIDとパスワードを教えてください。

☆保護者に、機器の準備や環境整備をお願いするため23日からインターネット（ZOOMやロイロノートを使って授業をする旨を早めに伝える。（HPと連絡網）→連絡済み

☆授業を開始するにあたり教科書や「ZOOM」への接続方法、授業を受ける上の約束や保護者の方へのお願いと一緒に配布する。（昨年度の通知表も含む）

○学校での受け取り時間（自力通学）

4月13日（月）13時～14時→新1, 2年

4月14日（火）11時～12時→新3, 4年

13時～14時→新5, 6年

4月16日（木）11時～12時→ 中学部

13時～14時→ 中学部

→玄関のオープンスペースに配布場所を設置（金曜日には二村組を含め全員分準備完了）  
配布場所・曜日・時間ごとにまとめておく

○二村地区（バス通学）

パークタワー

パンガラム

4月13日（月）新1・2年 13時～13時20分

13時30分～13時50分

→タクシーで移動・配布

4月14日（火）新3～6年 13時～13時20分

13時30分～13時50分

→鈴木さんの会社の車を利用

4月16日（木）中学部 13時～13時20分

13時30分～13時50分

→トラックを手配

保護者の皆様

ソウル日本人学校  
校長 小山 一成

## オンライン授業についてのお知らせ

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

また、臨時休校に伴う様々な日程変更や教育活動の中止につきましても保護者の皆様のご理解、ご協力いただき重ねてお礼申し上げます。

さて、ソウル特別市教育厅の指示と大使館及び学校運営委員会のご指導・助言に基づき、新学期の授業を以下の通り「オンライン」にて行いますのでご協力をお願いします。

また、幼稚部、小学部につきましては保護者によるアシストが不可欠です。ご多用とは存じますが、パソコンの操作などご協力いただけたるとありがたいです。どうぞよろしくお願いします。

## 1、ねらい

- ・子どもたちとのコミュニケーションを通して、子どもたちの不安を軽減させる。
- ・学習指導要領に沿って、学習を進めることによって子どもたちの学習定着を図る。
- ・授業を定期的に行うことによって、子どもたちが規則正しい生活ができるようにする。

## 2、期日

4月23日（木）～5月7日（木）

※8日以降の実施については、5月に改めてお知らせします。

## 3、使用ツール

## 「ZOOM」

ZOOMは、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングにオンラインで参加できるアプリ。パソコン、iPad や iPhone の画面共有（相手と一緒にみること）できます。※アプリがなくても参加できます。使い方は別紙をご覧ください。

## 「ロイロノート」

ロイロノートのクラウド機能を使い動画や教材の配布、提出箱や「送る」の機能をつかった教師と子どもたちのやり取りなどで活用します。ロイロノートの使用の仕方は昨年同様です。新入生や転入生は別紙をご覧ください。

## 4、各クラスのミーティングIDと接続テスト（クラス発表）【取り扱いに注意してください】

各クラスのミーティングIDとパスワードは、学校ホームページの「その他のお知らせ」の中の全体に掲載します。パスワードが必要となります。パスワードは、「sjsz20」です。このパスワードはセキュリティー都合上、口外しないでください。

※20日（月）に、接続テストをお願いします。時程は下記のとおりです。

この時間帯に小学部の新学年の学級編成名簿を画面でお知らせします。

9：00～ 9：15 中学部+幼稚部 各学年この時間帯に接続してください。

9：50～10：05 小学部低学年（1～3年）

13：50～14：05 小学部高学年（4～6年）

# 登校後の子どもたちの防疫対策

学校としての大まかな防疫対策です。下記のことは、学校全体で、統一でお願いします。また、学部によってさらに細かいところが必要になってくると思いますが、その部分に関しましては下記の共通事項をもとに進めていただければと思います。よろしくお願いします。



## ●日常生活で気を付けること

- 必ずマスクを着用する。(各教室に予備を配布予定) 例

※必ず記名する。予備を数枚持参する。(記名場所は、見やすい場所に記名する。)

- 一日に2回検温をする。【朝登校時(自宅)、帰りのバス乗車時。】

- 休み時間ごとに、手洗いうがいを徹底させる。

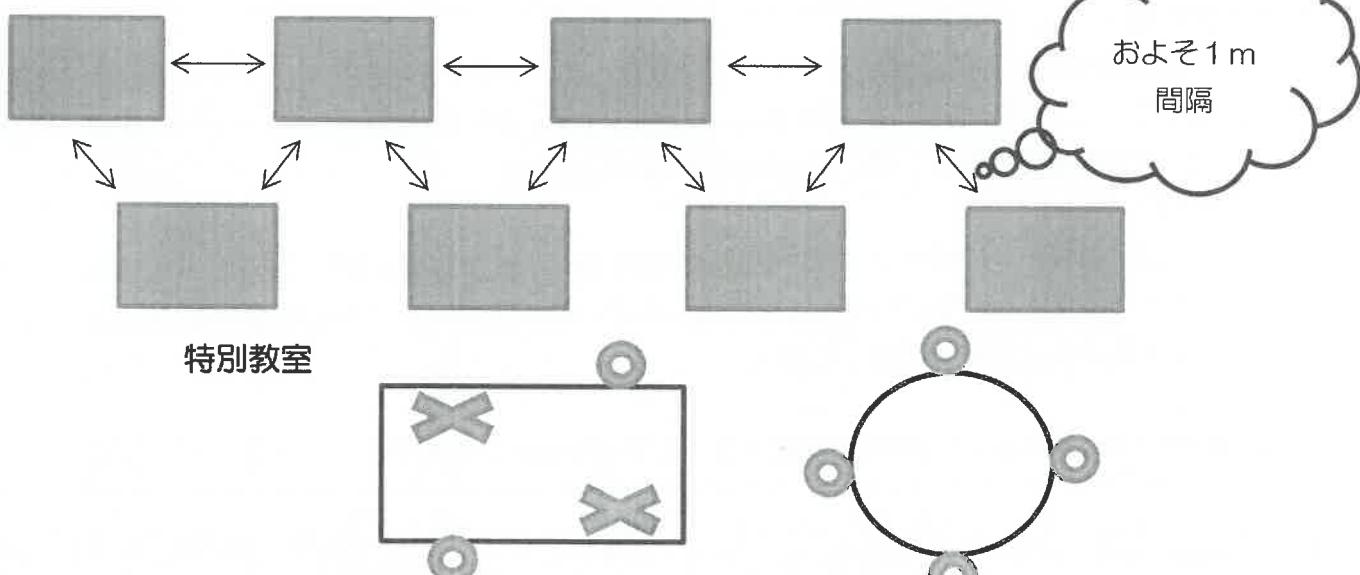
※必ず行う場面

- ①登校してすぐに
- ②運動や休み時間の後
- ③食事する前
- ④トイレ利用の後
- ⑤掃除の後
- ⑥家に帰ってすぐ
- ⑦マスク着用の前後

- 朝休み・中休み・昼休み・お弁当の前に、アルコールで手を消毒する。

- 友達にあまり近づきすぎないようにする。(難しいかもしれません。。。)

- 座席は、およそ1m間隔にする。(机の配置は、下記の形に限らない)



- お弁当は、前を向いて食べる。
- ハンカチ(数枚)・携帯ティッシュを必ず持ってきてもらう。(貸し借りは絶対にしない。) 忘れた児童には、ペーパータオルを渡す。
- 子どもたちがいる場所の換気ができるだけ確保する。さらに、換気扇+エアコンは常にON  
※ミセモンジが、3以上の場合は窓を閉め、換気扇+エアコンのみで対応する。
- 教室や特別教室の入り口のドアは、基本開けておく。

## ●日々の消毒について

- ・6月3日（水）午前9：00～ 全校消毒 ※机上整理をお願いします。  
学校が始まって2カ月目→再度全校消毒を行います。
- ・子どもたちが来る前や下校後、各クラスの消毒を一日一回以上お願いします。  
→アルコールスプレーを使って行う。机、椅子、子どもたちが触る場所。  
※特にドアノブ+蛇口（各学年&トイレ）は、こまめに消毒をお願いします。

## ●登校時について

バス	自力
<ul style="list-style-type: none"><li>○自宅で検温 → 「健康チェックカード」に記入。 ※必ずマスクを着用し登校</li><li>○バスに乗る前に、バス当番に 「健康チェックカード」に提示する。 <b>全員、再度検温。37.5以下→バス乗車</b> カードを忘れてしまった児童は、その場で検温。 +健康観察（咳、痰、鼻水、だるさ、息苦しさ） →忘れた子ども用の観察表に記入 37. 5℃以上の場合は帰宅させる。</li><li>○バス乗車<ul style="list-style-type: none"><li>・バスの中では「おしゃべりゼロ」</li></ul></li><li>○バス下車 体育館横の階段を通り校舎内へ→靴の履き替え →アルコールで消毒→教室へ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○自宅で検温 → 健康チェックカードに記入。 ※必ずマスクを着用し登校</li><li>○昇降口で外当番の先生に 「健康チェックカード」に提示する。 カードを忘れてしまった児童は、その場で検温。 +健康観察（咳、痰、鼻水、だるさ、息苦しさ） →忘れた子ども用の観察表に記入</li><li>○サーモグラフィー (異常がある場合は、さらに検温。熱が37. 5以上の場合は外で待機。(雨天時は、昇降口のベンチで待機) 自宅に連絡して迎えに来てもらう。</li><li>○靴を履き替える→アルコールで消毒→教室へ</li></ul>

※相談室は、熱がある児童（コロナの疑いのある子）の部屋にします。使用後は必ず消毒します。保健室に行く場合は、まず奥田先生に連絡してから対応する。

## ●健康カードについて

- ・学校登校後、担任に提出→記載の確認後、担任の印やチェック→すぐに子どもたちに返却
  - ・健康チェックカードを忘れた子どもは、「忘れた子用のチェックカード」に記入する。  
熱はないが、健康チェックカードの症状欄にチェックがついている場合は要観察していく。  
→少しでも調子が悪そうな場合は、すぐに保健室へ行かせる。
- ※7月以降の健康チャックカードには家族の健康の様子も記入できるようにする。

## ●休み時間について

- ・休み時間ですが、教科の関係で全体をずらすことは難しいです。そのため、場所を細かく分けます。よろしくお願いします。
- ・遊び方は、様々ですので各学年に応じて対応をお願いします。  
ちなみに、ドッジボール、ドロケイなどは終わったとの手洗いうがいを徹底すればOK。
- ・マスクは、必ず着用。苦しくなった場合は、呼吸を整える。その後着用する。
- ・下記以外の10分休みは、基本クラスで座って過ごします。  
次の授業の準備や読書、座ってできることをして静かに過ごす。トイレや水飲みは適宜行う。  
※中学部に関しては、トイレの混雑が予想されるため授業時間内に各学年時間をずらして、トイレタイムをとる方法もある。

## ○朝の時間

下記以外の時は、教室で過ごす。

	月	火	水	木	金
校庭	4, 5, 6年	1, 2, 3年	中学部	4, 5, 6年	1, 2, 3年
図書室	中学部	5, 6年	3, 4年	1, 2年	中学部

## ○中休み

下記以外の時は、教室で過ごす。

	月	火	水	木	金
校庭	4, 5, 6年	1, 2, 3年	中学部	4, 5, 6年	1, 2, 3年
図書室	中学部	5, 6年	3, 4年	1, 2年	中学部
体育館	1, 3年	中学部	2, 6年	中学部	4, 5年

## ○昼休み

下記以外の時は、教室で過ごす。

	月	火	水	木	金
校庭	4, 5, 6年	1, 2, 3年	中学部	4, 5, 6年	1, 2, 3年
図書室	中学部	5, 6年	3, 4年	1, 2年	中学部
体育館	1, 3年	中学部	2, 6年	中学部	4, 5年

## ○放課後

下記以外の時は、教室で過ごす。

	月	火	水	木	金
校庭	4, 5, 6年	1, 2, 3年	中学部	4, 5, 6年	1, 2, 3年
図書室	中学部	5, 6年	3, 4年	1, 2年	中学部
体育館	1, 3年	中学部	2, 6年	中学部	4, 5年

### ●授業について

- ・持ち物の貸し借りはしない。(筆記用具を含む)
- ・長時間のグループ活動は避ける。
- ・音楽科における狭い空間や密閉状態で歌唱指導や身体の接触する活動はしない。  
→歌を歌う場合は、体育館前の広いスペースで行う。
- ・家庭科の調理実習は行わない。
- ・体育では、子どもたちが密集する運動や組み合ったり接触したりするものはなるべく避ける。  
→活動を工夫して行う。バスケットなどのボール運動をサッカーに変更するなど、

運動の領域で接触の少ないものに変更する。

→体育館の使用の際は、入り口をすべて開ける。窓をすべて開けることの徹底をお願いします。  
→体育の際は、マスクを外して行う。その際、間隔を十分に確保する。

※体育の着替えの際密集することが予想される。

→空き教室などを活用して広いスペースで着替えるようにする。

- ・専科の授業の際は、なるべく教室・オープンスペースを使うようにする。

→どうしても場所が見つからない場合は、一番広い語学室を使用する。

## ●トイレ・水道の使用について

- ・トイレはすべて使用可能。しかし、待機線を作り、トイレ内で並ばないようにする。
- ・水道の間隔が狭いため、一つ置きに使う。水道もトイレ同様に待機線を作成し並ぶようにする。



## ●お弁当について

- ・グループでは食べずに、全員前を向いて食べる。唾液の飛散防止のためおしゃべりはしない。
- ・食事をする際は、手洗い・うがい→アルコール消毒（手）を必ず行う。  
教員は、できる限り机の上を、アルコールを使って消毒する。
- ・歯磨きをする際は、自分の席で行ってから順番に水道に行くようとする。（学年に応じて行う。）
- ・水筒を必ず持参する。（ペットボトル不可）水筒に給水機から水を入れる場合は、必ず飲み口を外して行う。

## ●下校に関して

- ・下校前に、教室に集合し時間差でバスに乗るようにする。
- ・下校の際の導線（下駄箱から下記の場所を通ってバスに向かう。）

幼稚部→通常通り 小1・小4・中1→スロープ 小2・小5・中2→体育館横階段 小3・小6・中3→運動場階段

- ・下校時刻の20分前から低学年 → 中学年 → 高学年 → 中学部  
☆1週目

11:25→低学年 11:30→幼稚部＋中学年 11:35→高学年・中学部  
※バスに乗る前にバスの先生に検温（デジタル体温計）をお願いする。

OK→バス乗車 NG→迎えの連絡（相談室で待機）

☆2週目

11:30→低学年 11:35→幼稚部＋中学年

月・水・金 15:45→小6 16:10→中1 16:15→中2 16:20→中3  
火・木 16:10→中1 16:15→中2・小6 16:20→中3

※バスに乗る前にバスの先生に検温（デジタル体温計）をお願いする。

OK→バス乗車 NG→迎えの連絡（相談室で待機）

☆3週目以降につきましては時程が確定次第お知らせします。

## ●子どもたちの心のサポートについて

- ・登校初日の1時間目は、学級活動の時間を設定する。防疫対策の説明  
+子どもたちを安心させるような内容の話をする。（生徒指導部会で計画中）

- ・もしコロナウィルスにかかってしまった児童が出た場合に備えて指導を行っておく。

（かかってしまった子の人権を守る！！）

- ・子どもたちの前でも、あえて教室などをこまめに消毒する姿を見せる。

（消毒している姿を見せてることで学校は安全だよということを示す。）

# 4月①②③職員会議でのビデオ会議実施について

## 1、ねらい

4月の始業式・入学式などの行事、教育活動を円滑に進めるために情報交換。

## 2、期日

4月①職員会議・・・4月 6日 9:00～ (自宅待機の教職員全員 ※新派遣は除く)

4月②職員会議・・・4月 10日 9:00～ (自宅待機の教職員全員)

4月③職員会議・・・4月 14日 9:00～ (自宅待機の教職員全員)

## 3、使用ツール

### ZOOM

ZOOM は、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングにオンラインで参加できるアプリ。パソコン、iPad や iPhone の画面共有（相手と一緒にみること）できます。※アプリがなくても参加できる。

#### 良い点

- ・オンラインでミーティングするとき、面倒な登録なしで、1クリックで話せる。Zoom は相手にメールで URL を送るだけで WEB ミーティングが始まる。
- ・Word (ワード)、Excel (エクセル)、PowerPoint (パワーポイント)、マインドマップを見ながら話せる。
- ・SJC や JAL でも使用していて、セキュリティーも安全。

#### 難点

- ・無料版では、制限がある。
  - ・時間は、40分まで。人数は、100人まで。※40分で一度切れるが再度接続可能。

ちなみに有料版もある。（SKYPEとの比較）

	Skype	Zoom
接続安定性	△	○
参加人数制限	最大 25 名 *回線が不安定になるので接続環境次第では最大人数は難しい。	最大 100 名 *3人以上の連続通話は40分まで。
アカウント	個人アカウントの作成が必要	参加するためのアカウント作成は不要
事前準備	Skype をインストールし相手を ID で探して呼びかける。	主催者からの URL 通知をクリックすると、自動的に Zoom が起動し会議に参加。
モバイルアプリ	○	○

※昨年度4年生が使っていた TEAMS は、人数制限はないが SKYPE と同じように登録が必要。

#### 4、使用に向けて

- ・新派遣の方や現在日本に一時帰国している教職員に、アプリをダウンロードしていただき、試しに繋いでみる。
  - ・新派遣の方への連絡 → 藤倉（一斉メールにて）
  - ・現在一時帰国している教職員への連絡 → 原田

試験接続日 → トピック：ソウル日本人学校のZoomミーティング

時間：2020年3月31日10:00AMソウル

Zoomミーティングに参加する アドレス↓

<https://zoom.us/j/102981699?pwd=NFBQUE1yV3pweEFRa1JqbVZWVWFzUT09>

ミーティングID: 102 981 699

パスワード: 1127

→無事完了しました！

今後、授業や会議などでも活用が可能かと思われます。会議の開き方は、2通りあります。

- ① 学校IDで会議を開く。（いつも同じ会議室（アドレス）で行われる。）パスワード設定可能。
- ② 毎回違うIDで会議を開く。（毎回会議室が違う。）パスワード設定可能。

ZOOM 学校ID: [gakko@sjs.or.kr](mailto:gakko@sjs.or.kr)  
パスワード：タブレットと同じ

① ミーティングID: 459 857 5794  
パスワード: 0000



#### 5、その他

- ・入学式や着任式でも活用できる。

→テレビ中継が可能

※教室のパソコンから会議に参加可能！

※体育館を中継できる！！（体育館ではPADを活用。）

- ・それぞれの担任がインターネット授業も可能。（無料版は40分制限）

=子供たちの登録は必要なく、インターネット環境があれば参加可能。

=行事の際（人が多く集まる行事の際活用できる。）

サインアップは無料	今すぐ購入	今すぐ購入	営業部にお問い合わせ
100人の参加者までホスト可能	全ての基本機能+	全てのプロ機能+	全てのビジネス機能+
無制限の1対1ミーティング	100人の参加者を含みます	300名の参加者を含む	エンタープライズには500の参加者があります
グループミーティングは40分まで	参加者がさらに多い場合	参加者がさらに多い場合	エンタープライズプラスには1,000の参加者が含まれています
ミーティング数の制限なし	ミーティングの時間は24時間に制限されています	専用電話サポート(英語のみ)	無制限のクラウド保存
オンラインサポート	ユーザー管理	管理用ダッシュボード	専用のカスタマーサクセスマネージャー
+ ビデオ会議機能	管理者機能コントロール	パニティURL	エグゼクティブ事業レビュー
+ ウェブ会議機能	レポートティング	業務用導入のオプション	ウェビナーとズームルームの割引バンドル
+ グループコラボレーション機能	カスタムバーソナルミーティングID	管理されたドメイン	
+ セキュリティ	スケジューラーの指定	シングルサインオン	
	1GBのMP4/M4Aクラウド記録	会社のブランディング	
		カスタムメール	

## 令和2年度 着任式・始業式について

教務

## 31年度申し送り事項

着任式・始業式・入学式・入園式をあわせて、入学式のところに記入済み。そちらを要確認。

## 1 はじめに

- (1) 「ZOOM」を使い、各担任がクラスのミーティング ID をつかって行う。(VTR を流す。)
- (2) 始業式 VTR をそれぞれのパソコンにダウンロードしておく。

## 2 日 程

※22日に試験的に会議を開く。(クラスのミーティング ID を使用。特に何も話さず画面に「試験配信 ご家庭のほうで接続を確認できましたら(この画面が見えていれば)完了です。ご協力ありがとうございました。また、明日よろしくお願ひします。」を映しておく。)

9:00～ 中学部+幼年長+幼年中 9:50～ 小学部低学年(1～3年) 13:50～ 小学部高学年(4～6年)

4月23日(木)

&lt;幼・小・中学部&gt;

8:10～ 8:10	職員朝会・学部打ち合わせ (TV ミーティング ID : 459 857 5794)
8:10～ 8:50	各クラス、または自宅で配信の準備。
* 右記旧担任で対応。	1年(小谷) 2年(山本) 3年(井橋) 4年(櫻谷) 5年(藤倉) フリー(原田) ※学年を学習室に集めて行う。 中2(谷川) 中3(松岡) *その他の教員は体育館準備
8:25～ 8:35	体育館に移動(お手洗い・体育館シユーズ)
8:40～ 9:30	着任式 転入生紹介 始業式
9:30～ 9:40	教室へ移動  *「小6, 中2・3」は体育館に残って10:25まで入学式場設営 (別紙計画による)
9:40～10:25	学級活動 *小6・中学部は入学式場設営
10:25～10:40	休憩
10:25～	入学式代表児童・生徒言葉の指導・・・担当: 原田 松岡 (新小2: ( ) ( ) ( ) → 新中3: 加我 天楽太(かが あらた))
10:40～11:15	学級活動と清掃(主に教室)
11:15～11:30	放送の指示(原田)で、順次、体育館に椅子を運ぶ
11:30～	帰りの会
11:45	一斉下校

記録: 中・森山 小・小谷  
ドア係: 金へヨン

本年度に限り2年生の挨拶はなし、中学部が学校代表としえ挨拶をする。来年度は新思も実施予定

事前にいすの印(横だけ)をつけて  
おくとスムーズ  
縦は中学生に合わせていく

&lt;年中・長&gt;

～ 9:40	登園
10:30～11:00	幼稚部始業式(プレイルーム 校長・教頭)
11:00～11:20	学級活動
11:45	一斉下校

記録: 原田(体育館準備が終わり次第)

&lt;園児・児童・生徒下校後の予定&gt;

13:00～	入園、入学式準備 会場設営(必要があれば) 終了後、職員室にて最終確認、打ち合わせ 以後、学級業務
--------	--

「新着任教員用（舞台とフロア8ずつ）の椅子の準備：教務 小学部主任

3 着任式次第（進行：教務）

- (1) 開式の言葉（教頭）
- (2) 新着任教員の紹介（校長）
- (3) 新着任教員挨拶（お一人ずつ）
- (4) 歓迎の言葉 生徒会（新中3： 藤田 和樹 【ふじた かずき】）
- (5) 閉式の言葉（教頭）

→※続いて「転入生の紹介」（児童会、生徒会）

→小学部は本年度に限って旧児童会

小学部 前田 凜【まえだ りん】

中学部 春本 彩羽【はるもと あやは】

着任式（細案）

8:35 （児童・生徒が揃う。）

「児童・生徒のみなさんは立ちましょう。」

「これから、新しく来られた先生方が入場されます。拍手で迎えましょう。」

1 開式の言葉（教頭） 「ただ今から新しく来られた先生方の着任式を行います。」

「礼。」「その場に静かに座りましょう。」

「新しく来られた先生方、舞台にお上がりください。（校長先導のもと、舞台へ）」

「校長先生より、新しく来られた先生方を紹介していただきます。」

2 新派遣教員の紹介（校長） \*校長より一人一人の紹介

阪元 啓介【さかもと けいすけ】→谷内 真二【たにうち しんじ】→井越 基子【いこし もとこ】

→今村 毅彦【いまむら たけひこ】→市原 綾馬【いちはら りょうま】

→霜鳥 一幸【しもとり かずゆき】→小林 実季【こばやし みき】→篠原 倫夫【しのはら みちお】

（順番北（年齢順）から） 「続いて、着任された先生方からご挨拶をいただきます。」

3 新派遣教員挨拶（お一人ずつ）

※お一人ずつ、演台の前にて挨拶をする。挨拶の前後に「礼」を入れる。一人2分程度。

※挨拶後、そのままステージの椅子に座る。

4 歓迎の言葉 \*生徒会副会長

「新しく来られた先生に、歓迎の言葉を贈ります。」

代表 （中学部3年：藤田 和樹 【ふじた かずき】）

※返事をして、登壇。

※マイクの向きは自分で変える。 舞台上にスタンド付マイクを準備しておく（山本）

5 閉式の言葉（教頭） 「以上で着任式を終わります。」

「礼。」

「新しく来られた先生は降壇してください。」

※（舞台上の椅子を片付ける）（山本・森山）

※担当の生徒会役員は転入生横へ、司会する者は前に移動。

☆ 転入生紹介

「続いて、新しく転入して来たお友達を紹介します。小学部 前田 凜【まえだ りん】さん、

中学部 春本 彩羽【はるもと あやは】お願いします。」

（生徒会から紹介） 転入生紹介終了（中学生→小学生の順）

\*簡単なあいさつ（生徒会役員・児童会委員より）

「続いて「感謝」を歌います。」（パソコン、プロジェクター…1年小谷 市原）  
(ピアノ…尹 智惟【ゆん じゅ】 指揮…西川 ゆい【にしかわ ゆい】）  
「転入してきたお友達は、もとの場所に戻ってください。」

「続いて始業式を行います。」

4 <b>始業式次第</b> （小・中／進行：教務）	（幼／進行：教頭）
（1）開式の言葉（教頭 檀上にて）	（1）開式の言葉（教頭）
（2）校長先生のお話	（2）園長先生のお話
（3）教員（担任）紹介（校長）	（3）教員紹介（園長）
（4）校歌斎唱（ピアノ…小野沙友莉 指揮…西川ゆい）	（4）校長先生のお話
（5）閉式の言葉（教頭 檀上にて）	（5）校歌（1番のみ）
	（6）閉式の言葉（教頭）

#### **始業式（細案）**

##### 1 開式の言葉（教頭）

（ただいまより令和2年度 ソウル日本人学校1学期 始業式を始めます。）「礼」

##### 2 校長先生のお話

「校長先生より、お話を頂きます。」

（校長登壇後 礼の後）「その場に静かに座りましょう。」

\*話が終わったら、「全員起立」

「引き続き校長先生より、担任の先生を紹介していただきます。」

##### 3 教員（担任）紹介（校長）

教務：「小学部2年生から紹介していただきます。名前を呼ばれた先生は、学級の前にお立ちください。」

小学部2年生は立ったままで、3年生以上は座りましょう。では、校長先生お願ひいたします。」

\*名前の呼び上げ

教務：「担任の先生によろしくお願いしますという気持ちを込めて礼をしましょう。気をつけ。礼。着席。 続いて、小学部3年生、起立。…」以下中3まで続く。

「以上で、担任紹介を終わります。」

##### 4 校歌斎唱（ピアノ…小野沙友莉【おの さゆり 指揮…にしかわ ゆい】）

「一同、起立。」

##### 5 閉式の言葉（教頭）

（以上で令和2年度 ソウル日本人学校 1学期 始業式を終わります。）「礼」

「転入生を担任の先生は迎えに行ってください。」

「この後、小学部6年生、中学部の皆さんには入学式の準備のため、この場に残ります。小6、中学部の皆さんはその場に座りましょう。それ以外の学年の人は、教室へ戻ります。」

\*小6と中2・中3の担任は、転入生にカバンを置く場所を指示する。

\*小6と中2・中3の転入生も一緒に準備をする。その後、一緒に教室へ行く。

# 第49回入園・入学式

訂正版

## 1. ねらい

- ・ 入学式参加者が共に入学・入園の喜びを味わわせる。
- ・ 新しい仲間と先生との出会いを通して、学校生活への期待をふくらませる。
- ・ 幼稚園児・小学生・中学生としての自覚と頑張ろうという気持ちをもたせる。
- ・ 在校生として、新しい仲間の入学・入園を祝い、ともに過ごす仲間としての意識をもたせる。

## 2. 期日

令和2年6月8日(月)

## 3. 時刻

### 【入園式】 【入学式】

幼稚部	9:00 ~ 9:30	(受付8:20~8:40)
小学部	10:00 ~ 10:30	(受付9:30~9:40)
中学部	11:15 ~ 11:45	(受付10:45~10:55)

## 4. 式次第

### 【幼稚部 入学式】進行 朴

参加場所：新入生→体育館  
・在園児→自宅

1. 開式のことば
2. 校歌 静聴(1番のみ)
3. 担任紹介
4. 入園児呼名
5. 園長式辞
6. 閉式のことば

### 【小学部 入学式】進行 原田

参加場所：新入生→体育館  
・在校生→自宅

1. 開式のことば(教頭)
2. 日本国国歌・大韓民国愛國歌 静聴
3. 担任紹介
4. 入学児童呼名
5. 学校長式辞
6. 入学児童誓いの言葉
7. 校歌 静聴
8. 閉式のことば(教頭)

### 【中学部 入学式】進行 森山

参加場所：新入生→体育館  
・在校生→自宅

1. 開式のことば(教頭)
2. 日本国国歌・大韓民国愛國歌静聴
3. 担任紹介
4. 入学生徒呼名
5. 学校長式辞
6. 生徒代表歓迎の言葉
7. 入学児童誓いの言葉
8. 校歌 静聴
9. 閉式のことば(教頭)

## 5. 入園・入学式役割分担

### (1) 前日までの役割 (各自終わり次第、終わっていない場所へ補助)

総務		教頭・教務・学部主任
庶務	案内状発送、諸表示作成	教頭・園長
式場設営	会場計画・準備	教務部 中学部主任 小学部主任 園長・幼稚部 ※全教職員で準備
新教室準備		年少・小1・中1 担任(+全教職員)
新入学児童・生徒誓いの言葉指導	幼稚部・小学部・中学部 5日 14:00~中学部 14:30~小学部	教務主任・園長・小学部主任・中学部主任
受付準備	警備室横(幼・小・中)	富家・田・幼稚部
放送	入退場曲・BGM	森山・山本
案内板 導線表示	各種案内板表示 靴置き場はなし(袋の予備準備) →靴入れを持参してもらう	教頭・谷川・井橋
式次第・国旗・垂れ幕準備・掲示		松岡・山本・趙
生花・写真		朴愛・禹
入学のしおり作成・印刷	しおり作成・印刷	小学部主任(新小・中1年担任・新年少担任→名前確認)
呼名簿作成	入学生名簿作成	新小・中1年担任・新年少担任
昇降口・立て看板・(祝詞飾り作成・掲示)	左記への飾りつけ作業	櫻谷・吳・安賢・奥田
記念写真撮影計画	椅子の並べ方 誘導の導線確認	松岡・藤倉・朴
サーモグラフィー・検温計画	導線確認	教頭・富家・安(警備)

(2) 当日の役割

	入園式	入学式
総務		教頭 教務
進行	朴	教務（原田・森山）
放送	森山・山本	山本（森山・原田）
記録写真・ビデオ →ロイロのアップできるように保存	小谷・奥村	松岡・（小谷・奥村）
受付（学部別表示をつける） ※靴は座席に持参する旨を伝える	富家・田 ※受付終了後職員室待機	富家・田 ※受付終了後職員室待機
誘導（新入生を教室へ案内） 保護者の誘導など	安(賢)・吳・朴愛・禹・井橋	幼稚部・井橋
記念写真・準備・誘導	松岡・藤倉・朴・幼稚部担任	松岡・藤倉・朴・1年生担任
式中支援 救護	奥田・朴愛・禹	奥田・安(賢)・吳
ドアの開閉	安(賢)・吳	朴愛・禹
椅子の入れ替え	全教職員（入学性担任・新入生補助以外）	
サーモグラフィー・検温	教頭・富家・安（警備）（原田・森山）	

○前日準備 9:00～ 準備開始（全職員）

- （6月5日）
- ※自分の担当場所が終わったら終わっていないところのお手伝いをお願いします。
  - 11:30～ 打ち合わせ（最終確認）→打ち合わせ後、管理職+新入生担任の導線を確認（体育館）
  - 13:00～ 各教室準備
  - 子どもたちの机の配置や掲示物、名札の確認など
  - 14:00～ 中学部代表児童挨拶練習（事前に要連絡：担任）  
新入生代表：やまぐちさん 在校生代表：かがさん
  - 14:30～ 小学部代表児童挨拶練習（事前に要連絡：担任）  
新入生代表：さかたさん、はらださん

## 6. 当日の流れ

※当日クラス分けの名簿を貼り出す。（出席番号を必ずつける。）

8:00～8:05 職員打ち合わせ

8:10～ 準備開始

8:20～8:40 新入園児受付（警備室横）

新入生 教室へ（検温：幼稚部）教室へ誘導+教室補助（朴愛・禹）

保護者 スロープから体育館へ（検温チェック：警備）

※靴は、持参した袋に入れ自分の座席に持参する。

8:55 園児入場

9:00～ 9:30	①開式のことば ②校歌静聴（1番のみ） ③担任紹介 ④新入園児呼名 ⑤園長長式辞 ⑥閉式のことば	(1分) (3分) (3分) (3分) (3分) (1分)	約17分
<b>※退場はなし</b>			

終了後 写真撮影（保護者を含む）

9:35～

写真撮影後 児童→教室へ

保護者は、体育館横階段を通ってスロープへ

※保護者は教室×。

エントランスで待機も×。

**感染予防のため、事前にお知らせを徹底しておく**

☆写真撮影を行いながら、小学部の入学式準備（椅子の並び替え）+消毒→全職員

☆幼稚部教員と担任補助（朴愛・禹）は、子どもを教室に連れていきすぐに下校。

スロープで保護者に引き渡し。

9:30～ 9:40

入学式前に、担任の先生から事前に話をしておいてください。  
式中の「立ちましょう」「座りましょう」

小学1年生受付（警備室横）

新入生 入り口で検温→教室へ 教室へ誘導+補助（松：安(賢) 竹：吳)  
保護者 スロープへ→検温

※保護者は、写真撮影が完了するまで体育館入り口で待機  
※靴は、持参の袋に入れて座席に持参する。

9:55～

新入生入場

10:00～10:30

入学式開始

計33分

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| ①開式のことば（教頭）           | (2分) |
| ②日本国国歌・大韓民国愛国歌 静聴     | (8分) |
| ③担任紹介                 | (3分) |
| ④新入児童呼名               | (6分) |
| ⑤校長式辞                 | (3分) |
| ⑥入学児童・生徒誓いの言葉         | (5分) |
| 【小1 さかた みう ・ はらだ あおと】 |      |
| ⑦校歌静聴                 | (4分) |
| ⑧閉式のことば（教頭）           | (2分) |

※退場はなし

終了後 写真撮影（保護者を含む）10:35～

写真撮影後 児童→教室へ

保護者は、体育館横の階段を通ってスロープへ

※保護者は教室×。

エントランスで待機も×。

感染予防のため、事前にお知らせを徹底しておく

☆写真撮影を行いながら、中学部の入学式準備（椅子の並び替え）+消毒→全職員

☆年少担当、補助（安(賢)・吳）は、子どもたちを教室へ すぐに下校。スロープで保護者に引き渡し。

☆1年担任は、子どもたちを教室へ すぐに下校。スロープで保護者に引き渡し。

10:45～10:55

中学1年生受付（警備室横）

新入生 入り口で検温→教室へ

保護者 スロープへ→入り口で検温後、体育館入り口へ

※保護者は、写真撮影が完了するまで待機

※靴は、持参の袋に入れて座席に持参する。

11:10～

11:15～11:45

新入生入場

入学式開始

約33分

- |                              |      |
|------------------------------|------|
| ①開式のことば（教頭）                  | (2分) |
| ②日本国国歌・大韓民国愛国歌 静聴            | (8分) |
| ③担任紹介                        | (3分) |
| ④新入児童呼名                      | (3分) |
| ⑤校長式辞                        | (3分) |
| ⑥生徒代表歓迎の言葉 【かが あらた】          | (4分) |
| ⑦入学児童・生徒誓いの言葉<br>【やまぐち ともあき】 | (4分) |
| ⑧校歌静聴                        | (4分) |
| ⑨閉式のことば（教頭）                  | (2分) |

※退場はなし

終了後 写真撮影（保護者を含む）11:50～

写真撮影後 児童→教室へ

保護者は、体育館横の階段を通ってスロープへ

※保護者は教室×。

エントランスで待機も×。

感染予防のため、事前にお知らせを徹底しておく

13:30～

手の空いている職員で体育館片付け + 担当係場所の片付け

<入学・入園式細案>呼名簿おいてあるか、李先生・小谷先生、奥村先生 確認

時 刻	事 項	動 き
8:20~	幼稚部受付開始 保護者入場完了 司会（朴）	BGMを流す（森山・山本） 新入生 教室へ（検温：幼稚部）教室補助（朴愛・禹） 保護者 スロープから体育館へ（検温チェック：警備） ※靴は、持参した袋に入れ自分の座席に持参する。
~8:57		BGMを止める（森山・山本） 『保護者の皆様にご案内いたします。間もなく入学式が始まりますので、式場にお入り下さい。』（朴） 『保護者の皆様にご連絡します。まもなく入園式が始まります。恐れ入りますが、携帯電話などの電源をお切りになるかマナーモードにされますよう、ご協力をお願いいたします。』 演台マイクON（山本）
9:00	開式の言葉	『一同ご起立下さい。』 『ただ今よりソウル日本人学校第49回入園式を行います。』『礼。』
9:01	入園児入場	『ただ今から、新入園児が入場いたします。皆さん拍手でお迎え下さい。』 入場曲…山本・森山
9:04	担任紹介	園長
9:07	新入園児呼名	『新入園児呼名。』 『これから皆さんの名前を呼びますから、自分の名前を呼ばれたら大きな声で返事をしましょう。』 『幼稚部たんぽぽ組○△……』 以上 8名』
9:10	園長式辞	『園長先生のお祝いの言葉』 「礼」。終わりも同じ。
9:13	校歌静聴	『校歌静聴』今日は、静かに聞きます。 心の中で歌いましょう。『一同ご起立下さい。』 1番まで（歌入りCD）（森山・山本）
9:16	閉式の言葉	『一同ご起立下さい。』『礼』 『以上をもちまして、ソウル日本人学校第49回入園式を終わります。』 『礼。』『ご着席下さい。』
9:30	記念写真	BGMを流す（森山・山本）演台マイクOFF（山本） ステージで写真撮影（指示：朴）  写真撮影終了後（園長） 「新入園児の皆さん、先生と教室に戻ります。 保護者の皆様は、荷物をもって体育館横の階段からスロープへ出てください。 スロープにて、お子さんをお待ちください。よろしくお願いします。」
9:30~	小学部受付開始 保護者体育館入場	新入生 入り口で検温→教室へ 教室補助（松：安（賢） 竹：吳） 保護者 スロープへ→検温 ※保護者は、写真撮影が完了するまで体育館入り口で待機 ※靴は、持参の袋に入れて座席に持参する。
9:45頃	保護者体育館入場	BGMを流す（森山・山本）
9:52	保護者入場完了 司会（原田）	BGMを止める（森山・山本） 『保護者の皆様にご案内いたします。間もなく入学式が始まりますので、式場にお入り下さい。』（原田） 『保護者の皆様にご連絡します。まもなく、入学式が始まります。恐れ入りますが、携帯電話などの電源をお切りになるかマナーモードにされますよう、ご協力をお願いいたします。』 演台マイクON（山本）
9:55	入学児童・生徒 入場	『入学児童入場』『皆様、拍手でお迎え下さい。』 ※ドア、合図確認…原田 入場曲…放送担当 *担任は入場後、会場へ礼 ※会場内での小1補助…安（1松）、吳（1竹） ☆小1各クラス児童席後ろにどちらか1人座る
10:00	開式の言葉 (教頭)	『開式の言葉』『一同ご起立下さい。』 『ただ今よりソウル日本人学校第49回入学式を挙行いたします。』 『礼。』

10:02	国歌静聴	『国歌静聴』 国家を静かに聞きましょう。 静聴後 『大韓民国愛國歌吹奏』 『ご着席ください』
10:10	担任紹介	『担任紹介』 担任が学年の前に着いた後、校長より紹介 『1年の皆さん立ちましょう。』 担任紹介後、担任は「よろしくおねがいします。（礼）」 『1年生のみなさん、座りましょう。』
10:13	新入児童呼名	『入学児童・生徒呼名』 各担任 『これから皆さんの名前を呼びますから、自分の名前が呼ばれたら大きな声で返事をして立ちましょう。』 『令和2年度 小学部 1年松組〇〇△△……（松組に続いて竹組） 以上 小学部、計39名。小学部 1年生のみなさんは座りましょう。』
10:19	校長式辞	『校長式辞』 『新入生、起立』『礼』『着席』 式辞が終わったら『新入生、起立』『礼』『着席』
10:22	入学児童 誓いの言葉	『入学児童誓いの言葉』 『小学部 1年生の皆さん立ちはどう。』 『児童代表、さかたみうさん「はい」 はらだなみとさん「はい」 児童2名はステージへ 児童用台、挨拶用マイク位置調整…山本 児童用台戻す…山本 代表児童が席に戻ったら 『小学部 1年生のみなさん、座りましょう。』
10:27	校歌静聴	『校歌静聴』 今日は、静かに聞きます。 心の中で歌いましょう。『一同ご起立下さい。』 3番まで（歌入り CD）（山本）
10:31	閉式の言葉 (教頭)	『閉式の言葉』 『以上をもちまして ソウル日本人学校 第49回入学式を終わります。』 『礼。』『ご着席下さい。』
10:35	記念写真	BGMを流す（森山・山本） 演題のマイク OFF（山本） ステージで写真撮影（指示：藤倉）  写真撮影終了後（原田） 「新入生の皆さん、先生と教室に戻ります。 担任の先生のところに並びましょう。 保護者の皆様は、荷物をもって体育館横の階段からスロープへ出てください。 スロープにて、お子さんをお待ちください。よろしくお願いします。」
10:45	小学部受付開始	新入生 入り口で検温→教室へ 教室補助（松：安(賢) 竹：吳） 保護者 スロープへ→検温 ※保護者は、写真撮影が完了するまで体育館入り口で待機 ※靴は、持参の袋に入れて座席に持参する。
10:45頃	保護者体育館入場	BGMを流す（山本）
11:05	保護者入場完了 司会（森山）	BGMを止める（原田・山本） 『保護者の皆様にご案内いたします。間もなく入学式が始まりますので、式場にお入り下さい。』（森山） 『保護者の皆様にご連絡します。まもなく、入学式が始まります。恐れ入りますが、携帯電話などの電源をお切りになるかマナーモードにされますよう、ご協力をお願いいたします。』 演題マイク ON（山本）
11:10	入学児童・生徒 入場	『入学生徒入場』『皆様、拍手でお迎え下さい。』 ※ドア、合図確認…森山 入場曲…放送担当 *担任は入場後、会場へ礼
11:15	閉式の言葉 (教頭)	『閉式の言葉』『一同ご起立下さい。』 『ただ今よりソウル日本人学校第49回入学式を挙行いたします。』 『礼。』

11:17	国歌静聴	『国歌静聴』国家を静かに聞きましょう。 静聴後『大韓民国愛国歌吹奏』 『ご着席ください』
11:25	担任紹介	『担任紹介』 担任が学年の前に着いた後、校長より紹介 『新入生 起立。』 担任紹介後、担任は「よろしくおねがいします。（礼）」 『新入生 着席。』
11:28	新入児童呼名	『入学生徒呼名』 担任 『これから皆さんの名前を呼びますから、自分の名前が呼ばれたら大きな声で返事をして立ちましょう。』 『令和2年度 中学部1年〇〇△△……』 以上 中学部、計20名。 新入生着席。』
11:31	学校長式辞	『学校長式辞』『新入生、起立』『礼』『着席』 式辞が終わったら『新入生、起立』『礼』『着席』
11:35	生徒代表 歓迎の言葉	『生徒代表、歓迎の言葉』 『生徒代表、かが あらた』『はい』 (マイクの高さは自分で調整する。)
11:39	入学生徒 誓いの言葉	『生徒誓いの言葉』 『新入生、起立』 『生徒代表、やまぐち ともあき さん 「はい」』 (マイクの高さは自分で調整。) 代表生徒が席に戻ったら 『着席』 ※代表は壇上で言う。
11:43	校歌静聴	『校歌静聴』今日は、静かに聞きます。 心の中で歌いましょう。 『一同ご起立下さい。』 3番まで(歌入りCD)
11:45	閉式の言葉 (教頭)	『閉式の言葉』 『以上をもちまして ソウル日本人学校 第49回入学式を終わります。』 『礼。』『ご着席下さい。』
11:50	記念写真	BGMを流す(原田・山本) ステージで写真撮影(指示:松岡)  写真撮影終了後(森山) 「新入生の皆さんには、先生と教室に戻ります。 担任の先生のところに並びましょう。 保護者の皆様は、荷物をもって体育館横の階段からスロープへ出てください。 スロープにて、お子さんをお待ちください。よろしくお願いします。」

令和2年8月20日

保護者の皆様

ソウル日本人学校  
校長 小山 一成

## 新型コロナウイルス「COVID-19」の感染者数増加に伴う 「社会的距離確保第2段階」における学校の対応について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今週から学校が始まりましたが、新型コロナウイルス「COVID-19」の大韓民国国内感染者数の増加に伴い文部科学省、ソウル特別市教育庁、さらに大使館及び学校運営委員会のご指導・助言に基づき、以下の通りに対応します。「園児・児童・生徒の安全」を最優先すべきと考えております。ご理解ご協力のほどお願いいたします。

記

### ① 授業時間の短縮について

期日：8月24日（月）～9月11日（金）

5時間目終了後 14:40一斉下校になります。

※登校時刻につきましては通常通りになります。

※中学部は、期末テスト期間中11:45下校になります。

### ② 防疫対策の徹底について

- ・学校での防疫対策をさらに徹底し、感染予防に努めます。
- ・学校の防疫対策につきましては、6月に配布しましたプリントをご参照ください。
- ・登校時、お子様の健康観察、検温を引き続きお願いします。体調のすぐれない時は、無理せず休養させてあげてください。
- ・バス通学時の「おしゃべりゼロ」は、感染予防のため継続します。ご家庭でもバス乗車について声をかけてください。

### ③ 学校・学年行事の延期・中止について

9月 1日 下学年遠足 → 延期

9月 7日 緊急下校訓練 → 延期

9月 10日 幼稚部園外保育 → 延期

※修学旅行、宿泊体験学習、授業参観、運動会につきましては

今月中に実施の可否について判断し、お知らせします。

ご不明な点やご心配な点がありましたら、学校までご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

# 芸術鑑賞教室（案）

教務

## 1 ねらい

- ・韓国の伝統文化に触れ、豊かな情操を養う。
- ・韓国の文化（音楽・芸術等）を知り、日本と韓国の両国とのよさに目を向ける機会とする。

## 2 日時

令和2年12月4日（金）【フリー参観日】

## 3 対象・日程

- ① 1～4時間目（体育館で行うものをZOOM中継のものを各教室で参観する。）

中継 ZOOM アカウント

ミーティング ID: 459 857 5794 PW: いつも通り

※上記のミーティング IDは保護者には教えないでください。

9:50～ 10:20 小学部低学年・幼稚部 30分

10:20～ 11:30 休憩（子どもたちの入れ替え）

10:30～ 11:15 小学部（高学年） 45分

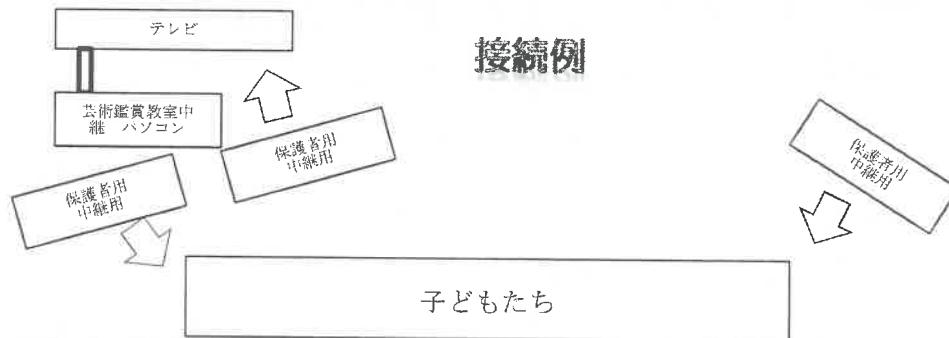
11:15～ 11:30 休憩（子どもたちの入れ替え）

11:30～ 12:15 中学部 45分

### 芸術鑑賞教室をフリー参観にて中継する場合

- ① IPAD、または教室用パソコンにて「459 857 5794」に接続し、プロジェクターまたは、大型テレビに映す。
- ② ①以外の端末を用意し、各クラスのミーティング IDでフリー参観用に、子どもたちの様子やテレビ画面の様子を保護者に配信する。

接続例



## 4 場所

体育館で行われる鑑賞教室をZOOMを通して各教室で参観する。

## 5 来校者

韓国芸術総合学校（卒業生のチーム）10人  
\*伝統楽器演奏・舞踊・体験可

## 6 役割分担

- ・連絡、日程調整・・・教務・安・音楽主任
- ・当日司会・・・教務
- ・記録・・・各担任

## 7 その他

予算330万₩

- ・内容・・・訪問者11人

※学校の予算と要望に合わせて実施

（予算内で時間とも変更できる。原案の30分×1、45×2）

## オンライン授業をより、スムーズに行うために

先日は、回線調査にご協力いただきありがとうございます。先生方から「学校の環境を！！」と要望がありました。オンライン授業は、通常の授業とは異なり教材研究や準備など非常に大変ですよね。1時間の授業の準備に何時間も時間をかけてくださったり、授業時間だけでなく空き時間や自宅で課題の作成や確認など多くの方が行ってくださったりしています。学校のインターネット環境が良くないので、様々なことをご自宅でやってくださっている方も多くいらっしゃると思います。

そこで、学校としても事務部の先生方を中心に業者に問い合わせくださったり、よりスムーズにいく方法はないか調べてくださったりしています。

しかし、すぐに学校の LAN の整備、ICT 機器の整備などは難しいのが現状です。(準備は進めてくださっています。) 先生方の協力も必要不可欠となってきます。

そこで、今できる学校としてできること・先生方個人でできることをまとめてみたので参考にしていただければと思います。

オンライン授業にて、ZOOM 接続やロイロノート接続が悪い

原因として考えられること

①インターネットの問題

(学校の回線の状況やルーターの性能の問題)

②パソコンの問題

(CPU やメモリが少ないと問題が起こりやすい)

### 今、学校としてできること

#### ○学校の回線状況を整理する。

- ・授業時間を調整する。
- ・幼稚部のみ校内 LAN  
ほかの学部は WiFi ルーター

#### ○モバイルルーターを複数手配

- ・各学年 2 台ずつ配当できるよう手配中  
↓  
1 つのモバイルルーターにつき 1 台の  
パソコン（タブレット）がベスト。  
多くても 2 台→保証はできません。。

#### ○校内 LAN の拡充・機器の更新

- ・業者と連絡を取って進行中

#### ○授業のサポート

- ・接続が悪い時など、田中先生・原田を  
はじめ 7 学年がサポートします。

#### ○業者と連絡を取り合い、よいよい方法の 情報提供（右記のようなもの）

### 個人としてできること

#### ○教材の動画や資料の画質（容量）を落とす。

例えば youtube の動画  
HD → 動きが確実に悪くなる。  
480p 以下がおすすめ！！  
ほかの動画も同じです。画質が良ければ  
よいほど、上記の①、②に影響を及ぼす。  
パワポの画質や動画も同様

#### ○子どもたちをミュートにする。

一斉にしゃべらせることで、ZOOM の機能  
上スピーカービューの切り替えがその都  
度行われるため、画面や映像が遅くなるこ  
とがある。なので、話す人以外はミュート  
がおすすめ。

#### ○ZOOM に接続する人数を減らす。

オンライン授業の良いところとして何人でも授業  
を一斉に受けられることがある。しかし一方でそ  
れだけパソコンやネット環境に負担がかかってく  
る。クラスごとや少人数で授業を行うことでパソ  
コンやネットの負担を軽減できる。

#### ○職員室の有線 LAN を活用する。

児童用と教員用でネットワークが違う。職員室の  
有線 LAN のほうが早いので、動画のアップや提出  
物の確認などは職員室をおすすめ。

など

先生方へ

7日(月)実施

いつもオンライン授業ありがとうございます。

オンライン授業中、どういった状況で途切れてしまうのか?何が原因で途切れるのかを調査したいと思います。

調査して、機器の整備や調整に生かしていこうと思います。

そのため、月曜日は下記に接続してオンライン授業をお願いします。

幼稚部・・・・学校有線 LAN 小学部・・・・モバイル Wi-Fi 中学部・・・・モバイル Wi-Fi

上記で接続できない場合はご相談ください。

下記に調査票に状態を記入していただき、原田のほうまで提出をお願いします。

きりとり

### 回線調査

担当学年 年

授業場所

名前

接続方法

授業や宿題チェックなど作業中 ↓どちらかに○をつけてください。

(

異常あり

・

異常なし

)



異常なしの場合はここで終了です。

下の表に具体的に記入をお願いします。

異常発生時間	異常の内容	異常時の作業内容
例 9:20	ZOOMで画面が固まってしまった。	ZOOMで、動画を共有していた。など

**下校の際の分散にご協力をお願いします。**

○一斉下校：14時40分の場合（教室を出る時間）

教室を出る時間	幼稚部	小学部	中学部
14時20分	年中	中学年	2年
14時25分	年長	高学年	3年
14時30分	年少	低学年	1年

○一斉下校以外の場合（教室を出る時間）

教室を出る時間	幼稚部	小学部	中学部
バス出発20分前	年中	中学年	2年
バス出発15分前	年長	高学年	3年
バス出発10分前	年少	低学年	1年

**下校の際の分散にご協力をお願いします。**

○一斉下校：14時40分の場合（教室を出る時間）

教室を出る時間	幼稚部	小学部	中学部
14時20分	年中	中学年	2年
14時25分	年長	高学年	3年
14時30分	年少	低学年	1年

○一斉下校以外の場合（教室を出る時間）

教室を出る時間	幼稚部	小学部	中学部
バス出発20分前	年中	中学年	2年
バス出発15分前	年長	高学年	3年
バス出発10分前	年少	低学年	1年

## 学校への保護者の出入りについての目安

区分 教育部基準	1段階 解除	1段階 登校・遠隔授業 密集度2/3原則 地域学校状況により調整可能 ただし、過大過密学校は2/3維持	2段階 登校・遠隔授業 密集度1/3原則（高2/3） 弾力的学事運営などで 最大2/3内で運営可能	3段階 遠隔授業又は休業 遠隔授業転換
	1段階 登校・遠隔授業 密集度2/3原則 地域学校状況により調整可能 ただし、過大過密学校は2/3維持	2段階 登校・遠隔授業 密集度1/3原則（高2/3） 弾力的学事運営などで 最大2/3内で運営可能	3段階 遠隔授業又は休業 遠隔授業転換	

特に規制なし  
保護者の教室への  
出入り自由

基本、授業などを  
みにきてもOK

- ・代議員会やバス委員会、PTA  
などへの会議室・ランチルームでの使用貸  
し出しOK（少人数・要防疫対策）
- ・昇降口・会議室・  
ランチルームなどの立ち入りOK
- ・教室内への立ち入り禁止  
卒園・卒業アルバム委員は除く
- ・学校に用がある場合は、  
まず職員室へ

- 基本、学校への保護者の方の立ち入り禁止

※PTA役員・アルバム委員を除く

- 学校に用がある場合は、職員室にて対応可能
- 子ども送迎の際は、昇降口（入り口）まで校舎内には入らない

- 子どももオンライン → **保護者全員立ち入り禁止**

校舎外で保護者対応

令和2年9月17日

保護者の皆様

ソウル日本人学校  
校長 小山 一成

## 新型コロナウイルス「COVID-19」感染防止措置による学校の対応について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

先日、ソウル市から発表されました新型コロナウイルス「COVID-19」の防疫体制2段階への移行に伴い文部科学省、ソウル特別市教育局、さらに大使館及び学校運営委員会のご指導・助言に基づき、以下の通りに対応します。今後の学校運営についても「園児・児童・生徒の安全」を最優先すべきと考えております。ご理解ご協力のほどお願いいたします。

記

### ◎9月21日（月）から登校を開始します。

①期日 9月21日（月）～10月8日（木）

※11日以降につきましては、後日改めてお知らせします。

#### ②登校方法

- 「社会的距離確保2段階」が維持されているため、現在登校人数が1/3に制限されています。  
(60人以下の小規模学校は含まれません。)  
そのため、小学部につきましては、分散登校とオンライン授業を並行します。
- 幼稚部・中学部に関しましては、60人以下の小規模のため毎日登校とします。
- この期間、全校14:40一斉下校とします。

#### ③日程（小学部）

	9月							10月			
	21日(月)	22日(火)	23日(水)	24日(木)	25日(金)	28日(月)	29日(火)	5日(月)	6日(火)	7日(水)	8日(木)
登校学年	3,6年	2,5年	1,4年	3,6年	2,5年	1,4年	3,6年	2,5年	1,4年	3,6年	2,5年

※時間割につきましては、各学年より配布される学年だよりをご覧ください。

#### ④防疫対策の徹底について

- 学校での防疫対策をさらに徹底し、感染予防に努めます。
- 学校の防疫対策につきましては、6月に配布しましたプリントをご参照ください。
- 登校時、お子様の健康観察、検温を引き続きお願いします。37.5℃以上の発熱時は、登校できません。また、体調のすぐれない時は、無理せず休養させてあげてください。
- バス通学時の「おしゃべりゼロ」は、感染予防のため継続します。ご家庭でもバス乗車について声をかけてください。

ご不明な点やご心配な点がありましたら、学校までご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和2年10月8日

保護者の皆様

ソウル日本人学校

校長 小山 一成

## 新型コロナウイルス「COVID-19」感染防止措置による学校の対応について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

ソウル市教育庁から出されている学校の防疫対策の基準として「60人より多い学校に対して登校人数を1/3に制限すること」の指導が解除されておりません。そのため、来週以降も学校では下記の通り対応してまいります。

今後も子どもたちの安全を第一に考え子どもたちを支えていきます。本校の子どもたちはもちろん、保護者の皆様にも変更に次ぐ変更でご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

記

①期日 10月12日（月）～未定

※対応に変更がある場合につきましては改めて連絡させていただきます。

②登校方法

- ・「社会的距離確保2段階」が維持されているため、現在登校人数が1/3に制限されています。（60人以下の小規模学校は含まれません。）
- そのため、小学部につきましては、分散登校とオンライン授業を並行します。
- ・幼稚部・中学部につきましては、60人以下の小規模のため毎日登校とします。
- ・この期間、全校14:40一斉下校とします。

③日程（小学部）

	月	火	水	木	金
	12日	13日	14日	15日	16日
登校学年	1, 4年	3, 6年	2, 5年	1, 4年	3, 6年
	19日	20日	21日	22日	23日
	2, 5年	1, 4年	3, 6年	2, 5年	1, 4年
	26日	27日	28日	29日	30日
	3, 6年	2, 5年	1, 4年	3, 6年	2, 5年

※10月以降も続く場合や詳しい時間割につきましては、各学年より配布される学年だよりをご覧ください。

④防疫対策の徹底について

- ・学校での防疫対策をさらに徹底し、感染予防に努めます。
- ・学校の防疫対策につきましては、6月に配布しましたプリントをご参照ください。
- ・登校時、お子様の健康観察、検温を引き続きお願いします。37.5℃以上の発熱時は、登校できません。また、体調のすぐれない時は、無理せず休養させてあげてください。
- ・バス通学時の「おしゃべりゼロ」は、感染予防のため継続します。ご家庭でもバス乗車について声をかけてください。

ご不明な点やご心配な点がありましたら、学校までご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 【コロナ対応 保護者感染者発生バージョン】

### 今回の対応について

- ・9月30日に報告を受ける。
- ・10月14日12時まで隔離期間がある。

### ○学校としての対応

- ・今回保護者の陽性反応、日本人学校に通っている子どもに関しては陰性と出ているのであえて学校から、お知らせなどは出さない。  
しかし、日本人学校に通っている子どもに陽性反応が出た場合は、休校措置・校内消毒を行い、早急に保護者にお知らせをする。また、ソウル市教育庁の指示に従う。(現在は2週間オンラインに移行するとされています。)  
→教師は各自、自宅からオンライン授業を行うことになる可能性が強い。

- ・今回のように隔離期間に入る子どもたちには、しっかり学習を保証する。  
隔日登校の際のオンライン授業には参加。登校している学年に関しては、主要教科を中心に授業を配信する。

→日本にいる子どもたちや転入してくる児童と同じ扱い。

※田中先生に授業に入ってもらい接続などを行っていただく

- ・保護者から連絡があった場合(聞かれた場合)は、教頭につなぐ。
    - \*保護者の方に陽性反応者が出了こと。
    - \*保護者(父親のみ)以外は、家族は陰性だった。しかし、韓国政府の指示のもと2週間隔離に入っていること。
  - ・クラスの子どもたちに聞かれた場合も事実のみ伝える。  
※事前に保護者の了解を得ることを忘れずに。
    - \*〇〇さんの保護者の方が陽性反応になったが、〇〇さんは陰性だったこと。
    - \*大事をとって2週間隔離生活すること。
    - \*オンライン授業にて授業に参加すること。
- \*本人の気持ちを大事にし、いじめや差別につながらないように

## フリー参観中のオンライン不具合の時の対処法

- ① クラス内で、授業で使うタブレットやパソコンは「SJS-AP」に接続。  
それ以外の使っていない機器（個人の携帯電話を含む）は、必ず wifi を OFF。

「SJS-AP」に接続した機器のうちの1台で、ZOOM をホストとして開く。  
その他の機器は、ホストとしてではなく参加者として入室。  
ホスト機のみミュートを解除、そのほかは「オーディオを OFF」

そのまま授業を続ける。



**職員室に連絡する。** →原田・田中・富家に連絡する。

**モバイルルーターにつなぐ。** 空いている職員が届けます

そのまま授業を続ける。



**タブレットにて、授業風景を録画する。**

※原田・田中・富家がセットしに行きます。

&さらに原田・田中・富家が、学級委員さんに連絡します  
「〇年〇組のインターネットの調子がよくないので、本日の授業の様子はロイロノートに後日アップします。」

**録画したものを、なるべくその日のうちにロイロノートにアップする。**

(担当：原田、田中)

※授業中、児童の名前以外で入室があった場合や不審者が入ってきた場合

→職員室に連絡いただければ、原田・田中・富家が教室に行き、その人を待機室に送ります。

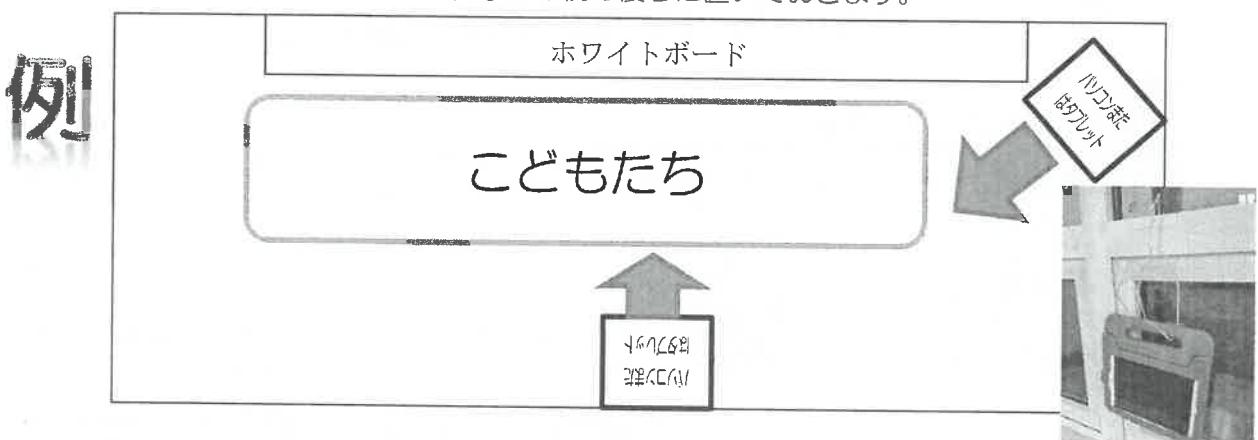
# 専科の先生方へ

フリー参観どうぞよろしくお願ひします。多分今までやったことがないオンライン授業参観になります。教職員一同手探り状態でやっております。専科の先生方にもやっていただけるということで非常にありがとうございます。どうぞよろしくお願ひします。授業を行っていて困ったことがあれば、すぐに職員室に連絡ください。「原田・田中・富家」のほうで対応します。もし3人ともいない場合は、職員室にいるものが駆け付けますので、ご安心ください。フリー参観のやり方についてお知らせします。

- ① 授業を行うクラスでパソコンまたはタブレットをセットする。(2~3台)

※ルーター各教室1台準備

タブレット&パソコン、ルーターは、原田の机の後ろに置いておきます。



上記のように子供たちが見えるようにセットする。タブレットは「ハンガー」をつかうとセットしやすいです。

- ② タブレットまたはパソコン一台で、ホストとしてログイン&ZOOMで中継を開始する。

※待機室の無効化の確認をお願いします。

- ③ もう一台のタブレットまたはパソコンで、ゲストとして②でログインしたのミーティングに参加する。

以上で、中継準備完了となります。 時間が40分で切れるクラスもあります。開始時間は、なるべくぎりぎりにお願いします。

ご不明な点、心配な点がありましたら何でもご相談ください。よろしくお願ひします。

## 教材配布について

### 1、教材の配布場所・時間 ※雨天決行

日	時間	学年	自力(学校)	バス(お山公園) 公園またはハンガラム前歩道	バス(パーク) パーク前の広場またはバスの乗車場所
			担当者	担当者	担当者
13日	10:00~	中学部	校長・富家 ○松岡・中学部1名	○原田・中学部1名	○教頭・中学部1名
	10:30~	小学部 5, 6年	校長・富家 ○藤倉 低学年2名 中学年2名 高学年1名	○原田 低学年1名 中学年1名 高学年1名	○教頭 低学年1名 中学年1名 高学年1名
	10:45~	小学部 3, 4年	校長・富家 ○藤倉 低学年2名 中学年2名 高学年1名	○原田 低学年1名 中学年1名 高学年1名	○教頭 低学年1名 中学年1名 高学年1名
	11:00~	小学部 1, 2年	校長・富家 ○園長 幼稚部2名	○原田 幼稚部1名	○教頭 幼稚部1名
	11:15~	幼稚部	校長・富家 ○園長 幼稚部2名	○原田 幼稚部1名	○教頭 幼稚部1名

※中学部・小学部・幼稚部、または同学部内に兄弟姉妹がいる場合は、初めに取り際に兄弟姉妹分をすべて渡す。

※上記の同じ場所メンバーで、ほかの学部の際も手伝いを行う。

※○のついている方は、園児・児童・生徒名簿を必ず持参し、確認を行う。

#### ○運送方法

荷物はトラック（当日現金にて払う。）

職員は、タクシーで向かう（代金は立て替え払い。後日事務部より支給）

※予算関係・トラックの手配は、事務部で分担（兼命令も含む）

#### 3、配布するもの

○各学年で必要な教材・教具

○ダモア（1月分）

○健康観察カード（2月分）

など



一つの封筒にまとめ、わかりやすいように封筒上部に記名しておく。  
(一つの封筒に入らない場合は複数でも可。ゴムなどで一つにまとめる。)

※バスは、パークのみ別。  
そのほかは、お山公園

小3 原田 克巳 パーク

#### 4、教材の置き場所

体育館入り口前		
年少 パーク	年少 お山公園	年少 自力
年中 パーク	年中 お山公園	年中 自力
年長 パーク	年長 お山公園	年長 自力
小1 パーク	小1 お山公園	小1 自力
小2 パーク	小2 お山公園	小2 自力
小3 パーク	小3 お山公園	小3 自力
小4 パーク	小4 お山公園	小4 自力
小5 パーク	小5 お山公園	小5 自力
小6 パーク	小6 お山公園	小6 自力
中1 パーク	中1 お山公園	中1 自力
中2 パーク	中2 お山公園	中2 自力
中3 パーク	中3 お山公園	中3 自力

**12日(火) 14:40~**  
**最終確認&兄弟関係で荷物を**  
**まとめる作業を行います。**  
**手の空いている先生方はお手**  
**伝いをお願いします。**

保護者の皆様

令和3年1月8日

ソウル日本人学校  
校長 小山 一成  
園長 林 宣伶

### 学年末の授業参観（小・中）・懇談会開催のご案内

寒さの厳しい日が続いておりますが、皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日ごろより本校の教育活動に対するご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、1年間のお子様の学習や保育の様子、成長を見ていただきたく、授業参観及び懇談会を下記の通り実施いたします。ぜひ出席くださいますようご案内申し上げます。

#### 記

#### 1 学級懇談日程

月 日		参観時間	懇談会
幼稚部	2月 8日(月)	年少	11:10~11:40 オンライン
	2月 9日(火)	年中	
	2月10日(水)	年長	
小学部	2月19日(金)	1年	11:25~12:05 オンライン
	2月17日(水)	2年	10:30~11:00
	2月15日(月)	3年	4.5.6年
	2月19日(金)	4年	13:00~13:30
	2月17日(水)	5年	オンライン
	2月15日(月)	6年	
中学部	2月23日(火) 中1, 2		10:15~11:15(中2立志式) 11:25~12:15(中1) オンライン
			授業内容、ミーティング IDは各クラスの学年・学級 だよりをご覧ください。 学級懇談会 9:20~10:10(中1) 13:00~13:50(中2) 学部懇談会 14:00~14:50(学部)

#### 2 懇談内容

- (1) 1年間の成長とこれからの課題
- (2) 春休みの過ごし方
- (3) 新学年に向けて（進学・進級について）等

#### 3 その他

- ・今回のオンライン授業参観はZOOMを使用して行います。
- ・在籍する園児・児童・生徒一人ひとりに対して1つの機器でアクセスをお願いします。皆さんが複数の機器で接続してしまいますと、ほかの保護者の方がアクセスできなくなってしまう恐れがあります。
- ・授業や個人面談の際はお子さんの氏名（フルネーム）でアクセスをお願いします。それ以外の名前で接続された場合、個人情報の関係上こちらから強制退出させていただく場合もございます。ご理解ご協力をお願いします。
- ・今回の授業参観は、ライブ配信のみとなります。また、録画や写真撮影はご遠慮ください。
- ・学校から授業の様子を2~3台の端末で配信します。ギャラリービューにてお子さんの様子が見やすい画面にて、右上の「...」をクリックしていただき「ピン」で留めていただくことで大きな画面でお子さんの様子を参観することができます。※機器によって操作が異なる場合があります。

## ○転入学してくる児童

願書受付済み → 希望があれば、隔離期間のオンライン授業（主要教科） ○

※希望がない場合はオンラインを行わない

願書受付前 → 隔離期間を含めオンライン授業 ×

## ○在籍している子どもたち（日本に一時帰国している子どもたち）

韓国から日本へ → 希望があれば隔離期間のオンライン授業 ○

※隔離期間が終了した時点で日本への体験入学を進める

隔離期間終了後のオンライン授業は終了。

日本から韓国へ → 希望があれば隔離期間のオンライン授業 ○

## ○退学していく子どもたち

韓国から日本へ → 退学後、ソウル日本人学校がオンライン授業期間中の場合

隔離期間中のオンライン授業 ○

※ソウル日本人学校が通常登校の場合や分散登校日など

オンライン授業を行わない日の場合 ×

韓国から外国へ → 退学後、ソウル日本人学校がオンライン授業期間中の場合

隔離期間中のオンライン授業 ○

※ソウル日本人学校が通常登校の場合や分散登校日など

オンライン授業を行わない日の場合 ×

※それ以前に保護者から相談されていて、管理職からの許可をもらってものについては、要相談。

# オンライン授業を行うにあたって

オンライン授業と一言で言っても様々な形態のものある。課題のみを行うもの、一方的にビデオを視聴するもの・・・。本校では、オンライン授業のねらいを「子どもたちとのコミュニケーションを通して、子どもたちの不安を軽減させる。」「学習指導要領に沿って、学習を進めることによって子どもたちの学習定着を図る」「授業を定期的に行うことによって、子どもたちが規則正しい生活ができるようとする。」の3つに設定しオンライン授業の形態が様々ある中、子どもたちと教員との双方向で行うこととした。具体的な方法としてはZOOMを活用しての授業の展開そしてロイロノートを通しての教材の配布・回収を行った。

## 「ZOOM」

ZOOMは、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングにオンラインで参加できるアプリ。パソコン、iPadやiPhoneの画面共有（相手と一緒にみること）できる。※アプリがなくても参加できる。

## 「ロイロノート」

ロイロノートのクラウド機能を使い動画や教材の配布、提出箱や「送る」の機能をつかった教師と子どもたちのやり取りなどで活用できる。

※双方向のソフトとして様々なものを検討した。マイクロソフトのTEAMSやグループのクラスルームやMEETの中から、汎用性があるものとしてZOOMを活用することに決めた。また、ZOOMには画面を共有できたり、ブレークアウトセッションのようにグループ活動もできたりすることが選んだ大きな理由である。また、ロイロノートは昨年度より本校は、プレゼンテーションソフトの一つとして利用していた。ロイロノートは、クラウド上で作業をするため、学校内はもちろん家庭でも簡単にアクセスすることができる。また、配布機能もあるので各家庭へのお知らせにも活用できるという利点もある。

## 以下、参考資料

## 4月オンライン授業を始めるにあたって（教職員版）

# 「ZOOM」と「ロイロノート」活用した授業について (TV 授業)

### 1、ねらい

- ・子どもたちとのコミュニケーションを通して、子どもたちの不安を軽減させる。
- ・学習指導要領に沿って、学習を進めることによって子どもたちの学習定着を図る。
- ・授業を定期的に行うことによって、子どもたちが規則正しい生活ができるようにする。

### 2、期日

4月23日（月）～5月頃

### 3、使用ツール

#### ZOOM

ZOOMは、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングにオンラインで参加できるアプリ。パソコン、iPadやiPhoneの画面共有（相手と一緒にみること）できます。※アプリがなくても参加できる。

#### ロイロノート

ロイロノートのクラウド機能を使い動画や教材の配布、提出箱や「送る」の機能をつかった教師と子どもたちのやり取りなどで活用する。

### 4、使用に向けて　※検討事項

#### ☆ZOOMに職員の登録（個人登録）をする。

個人登録をして各クラス（担任）のミーティングのリンク先を保護者に知らせる。

（パスワードを含む。）

→保護者から担任に保護者のメールアドレスを送ってもらう。（へん）

※来たメールに対して返信の形でリンク先やパスワードなどを送る。

☆保護者に、機器の準備や環境整備をお願いするため23日からインターネット（ZOOMやロイロノートを使って授業をする旨を早めに伝える。（HPと連絡網）

☆授業を開始するにあたり教科書や「ZOOM」への接続方法、授業を受ける上の約束や保護者の方へのお願いと一緒に配布する。（昨年度の通知表も含む）

4月13日（月）11時～12時→幼稚部 13時～14時→新1, 2年

4月14日（火）11時～12時→新3, 4年 13時～14時→新5, 6年

4月16日（木）11時～12時→中学部 13時～14時→中学部

※長子のいる学年で取りに来る。（玄関にて配布）

#### ☆時間割表を作成+教材を作成

40分（1コマとして授業を行う。）時間に関しては、学年に応じて短くすることも可。

中学部→1日3コマ 中学部→1日3コマ 幼稚部→1日1コマ（要検討）

1時間目： 9:00～ 中学部+幼年少+幼年中

5時間目： 13:00～ 小学部低学年（1～3年）

2時間目： 9:50～ 小学部低学年（1～3年）

6時間目： 13:50～ 小学部高学年（4～6年） 中学部

3時間目： 10:40～ 小学部高学年（4～6年）

7時間目： 14:40～ 小学部低学年（1～3年）

4時間目： 11:30～ 中学部+幼稚部中

8時間目： 15:30～ 小学部高学年（4～6年）

※授業を受講できなかった子供たちのために授業の様子を録画して、ロイロノートにアップする。

☆23日の前に試験的につないでみる。（22日）

9:00～ 中学部+幼年長+幼年中 9:50～ 小学部低学年（1～3年） 13:50～ 小学部高学年（4～6年）

## 4月オンライン授業を始めるにあたって（教職員版）

23日（木）始業式の予定

※オリ・・・・オリエンテーション

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
1時間目：9:00～ 担当教師	始業式											
2時間目：9:50～ 担当教師												
3時間目：10:40～ 担当教師	オリ									オリ		
4時間目：11:30～ 担当教師		オリ									オリ	
5時間目：13:00～ 担当教師			オリ									オリ
6時間目：13:50～ 担当教師				オリ	オリ							
7時間目：14:40～ 担当教師						オリ	オリ					
8時間目：15:30～ 担当教師								オリ	オリ			

オリエンテーションで伝えること

- 話すとき以外、マイクはオフ（ミュート）にしておくこと。
- カメラがそれぞれのパソコンについている場合は常にオンにしておく。
- 画面の共有ボタンやチャット機能は先生の指示があるまでは使用しない。
- 5分前には、机に座り準備をする。時間になったらすぐにアクセスをする。
- TV授業だが、学校と同じ授業態度で臨む。（姿勢、飲食、立ち歩きなど注意）
- 情報モラル（学年に応じて）

など

24日（金）以降の時間割

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
1時間目：9:00～ 担当教師		学級担任								授業担任	授業担任	授業担任
2時間目：9:50～ 担当教師				授業担任	授業担任	授業担任						
3時間目：10:40～ 担当教師	学級担任						授業担任	授業担任	授業担任			
4時間目：11:30～ 担当教師		学級担任								授業	授業	授業
5時間目：13:00～ 担当教師				授業担任	授業担任	授業担任						
6時間目：13:50～ 担当教師							授業担任	授業担任	授業担任	授業	授業	授業
7時間目：14:40～ 担当教師				授業担任	授業担任	授業担任						
8時間目：15:30～ 担当教師							授業担任	授業担任	授業担任			

※授業を受講できなかった子供たちは、ロイロノートにアップされた動画を視聴する。

- 学年を合同で行う。
- 専科については調整中。
- 「ZOOM」とロイロノートを組み合わせて使うと有効的。
- NHKのデジタルコンテンツや「子供の学び応援サイト」の活用も有効的。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/gakusyushien/index\\_00001.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm)

- 授業の形態ややり方は、それぞれの学部や学年、ブロックで相談して決める。

和2年4月

保護者の皆様

ソウル日本人学校  
校長

## オンライン授業についてのお知らせ

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

また、臨時休校に伴う様々な日程変更や教育活動の中止につきましても保護者の皆様のご理解、ご協力いただき重ねてお礼申し上げます。

さて、ソウル特別市教育局の指示と大使館及び学校運営委員会のご指導・助言に基づき、新学期の授業を以下の通り「オンライン」にて行いますのでご協力お願いします。

また、幼稚部、小学部につきましては保護者によるアシストが不可欠です。ご多用とは存じますが、パソコンの操作などご協力いただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いします。

## 1、ねらい

- ・子どもたちとのコミュニケーションを通して、子どもたちの不安を軽減させる。
- ・学習指導要領に沿って、学習を進めることによって子どもたちの学習定着を図る。
- ・授業を定期的に行うことによって、子どもたちが規則正しい生活ができるようにする。

## 2、期日

4月23日（木）～

※23日の始業式は、9：00より各クラスのミーティングIDで行います。

※8日以降の実施については、5月に改めてお知らせします。

## 3、使用ツール

「ZOOM」

ZOOMは、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングにオンラインで参加できるアプリ。パソコン、iPadやiPhoneの画面共有（相手と一緒にみること）できます。※アプリがなくても参加できます。使い方は別紙をご覧ください。

「ロイロノート」

ロイロノートのクラウド機能を使い動画や教材の配布、提出箱や「送る」の機能をつかった教師と子どもたちのやり取りなどで活用します。ロイロノートの使用の仕方は昨年同様です。新入生や転入生は別紙をご覧ください。

## 4、各クラスのミーティングIDと接続テスト（クラス発表）【取り扱いに注意してください】

クラス名	ミーティングID	ミーティングパスワード
年少組	543-735-1512	
年中組	902-539-2499	
年長組	448-527-2359	
小学1年生	588-922-1701	
小学2年生	702-232-2208	
小学3年生	499-191-4249	
小学4年生	785-281-1580	
小学5年生	936-830-2170	
小学6年生	432-297-9450	
中学1年生	564-422-3086	
中学2年生	393-581-0547	
中学3年生	206-369-9267	



※入室の際は、必ず園児・児童・生徒の氏名でお願いします。

（セキュリティ上こちらが許可しないと入室できない設定にしているため）

※20日（月）に、接続テストをお願いします。時程は下記のとおりです。

この時間帯に小学部の新学年の学級編成名簿を画面でお知らせします。

9：00～9：15 中学部+幼稚部 各学年この時間帯に接続してください。  
9：50～10：05 小学部低学年（1～3年）

## 4月オンライン授業を始めるにあたって（保護者版）

4月13日～4月17日 小学部開講子午（午後）

### 5、授業の時間について

時間割（毎日同じ時間になります。）1学年1日3コマの時間割です。

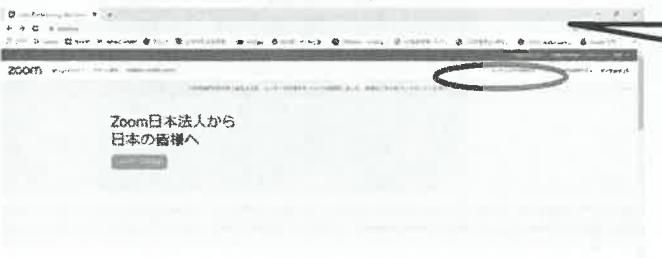
	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
1時間目：9:00～ 担当教師		学級 担当								授業 担当	授業 担当	授業 担当
2時間目：9:50～ 担当教師				授業 担当	授業 担当	授業 担当						
3時間目：10:40～ 担当教師	学級 担当						授業 担当	授業 担当	授業 担当			
4時間目：11:30～ 担当教師		学級 担当								授業 担当	授業 担当	授業 担当
5時間目：13:00～ 担当教師				授業 担当	授業 担当	授業 担当						
6時間目：13:50～ 担当教師							授業 担当	授業 担当	授業 担当	授業 担当	授業 担当	授業 担当
7時間目：14:40～ 担当教師				授業 担当	授業 担当	授業 担当						
8時間目：15:30～ 担当教師							授業 担当	授業 担当	授業 担当			

※兄弟姉妹で重なってしまう場合は、どちらかのお子さんのほうで受講していただき、受講できなかったお子さんにつきましては授業時間が終了後、ロイロノートにアップされる動画をご覧いただき学習を進めていただければと思います。

※幼稚部は、発達段階を考慮して時間を15～20分を予定しています。また、幼稚部はロイロノートを使用していないので、ライブのみとなります。ご理解ご協力をお願いします。

### ログイン方法

「ZOOM」のHPから各学年のミーティングIDを入力し参加します。



ミーティングに参加をクリック

ミーティングに参加する

ミーティングIDまたはパーソナルID

参加

各クラスのミーティングIDを入力して参加ボタン

初めてアクセスする場合や携帯電話の場合はパスワードを聞かれる時があります。その場合は担当から聞いたパスワードを入力してください。

### 授業の約束

- 話すとき以外、マイクはオフ（ミュート）にしておくこと。
- カメラがそれぞれのパソコンについている場合は常にオンにしておく。
- 画面の共有ボタンやチャット機能は先生の指示があるまでは使用しない。
- 5分前には、机に座り準備をする。時間になつたらすぐにアクセスをする。
- TV授業だが、学校と同じ授業態度で臨む（姿勢に注意し、飲食、立ち歩きなどはしない）

すると、会議室に入れます（授業に参加できます。）  
授業中は、カメラはONでお願いします。画面は、担任のほうで授業に必要な資料が見られるようにします。マイクは、話すとき以外は必ずミートにしておいてください。



## 4月オンライン授業を始めるにあたって（保護者版）

### ロイロノートの使い方

#### ① アプリをダウンロードして下さい。

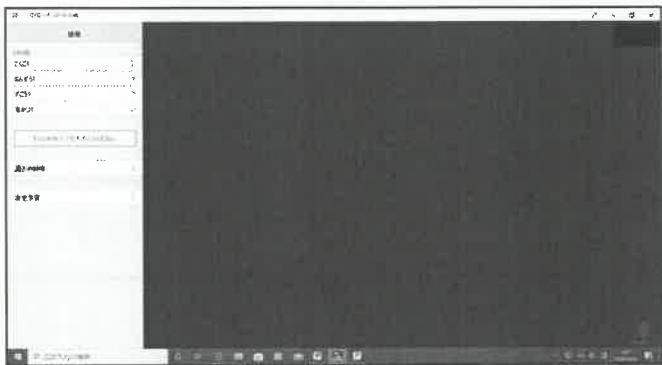


#### ② アプリから入ると以下の画面になります。

学校(SJS)、自分のID、パスワードを入れて下さい



#### ③ ノートの新規作成を選びます



#### ④ 以下のようになったらOKをおします。

(担当が名前を指示するかもしれません。)



#### ⑤ 書き込みが出来ます。



※「ロイロノート基本的な使い方」を検索すると出てきますので使い方を詳しく知りたい方は参考にして下さい。

<https://scrapbox.io/loilo-teacher-support/> → 使い方マニュアル

<https://n.loilo.tv/ja/contact> → ロイロノートの問合せ先 Web フォーム

※注意…以下の画面が出た人は⑥の書き込みにはいけませんので、一度消して①からやり直して下さい。

## 4月オンライン授業教材配布について（教職員版）

オンライン授業を始めるにあたり、オンライン授業の行い方や教材などを配布した。その際、感染防止の観点から学校と二村地区の二か所に分かれて配布を行った。

## 教科書などの配布物について

下記の通り、行う予定です。ご協力お願いします。

### ○期日

4月13日（月）13時～14時→新1, 2年

4月14日（火）11時～12時→新3, 4年 13時～14時→新5, 6年

4月16日（木）11時～12時→中学部 13時～14時→中学部

※長子のいる学年で取りに来る。（玄関にて配布）

当初の予定では、時間ごとに学校まで取りに来ていただく予定でしたが、外出自粛になっている点や感染防止、小さなお子さんのいる家庭に配慮して、配布場所を「学校」「二村」の2か所に設定する。

○学校の配布場所は「玄関」 →机を出して並べて置く

○二村の配布場所は「市民センター」 →ブルーシートをもって行き並べる。

または、バス停事 で調整中！

日時/場所/担当者	配布学年	学校配布	二村配布
4月13日（月）	13時～14時→新1, 2年	○教頭○藤倉 (学校に出勤している職員)	○校長、原田（山本）
4月14日（火）	11時～12時→新3, 4年 13時～14時→新5, 6年	○教頭○藤倉 (学校に出勤している職員)	○校長、原田（山本）
4月16日（木）	11時～12時→中学部 13時～14時→中学部	○教頭○松岡 (学校に出勤している職員)	○校長、奥村 森山



★10日までに各学年でやっていただきたいこと

①名簿作成（二村と上岩がわかるように作っていただけますと助かります。）

②配布物をまとめる

- ・通知表+旧学年のお便り+漢江ニ茶封筒
- ・教科書をひとまとめにする。（ひもで結ぶ）
- ・プリントなどの配布物を茶封筒に入れてまとめる。  
→・オンライン授業の案内文書（教務部作成）  
・ロイロノートのパスワードと案内資料（視聴覚部作成）  
・時間割表+ちょっとしたお知らせ（各担任）

**5月 オンライン授業と分散登校が始まった。**  
**オンライン授業教材配布・登校について（教職員版）**

**教材配布・子どもたちの登校について**

**1、子どもたちが登校するまでの流れ（4月13日現在※変更の可能性あり）**

日	月	火	水	木	金	土
17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
	オンライン授業	オンライン授業 教材配布のお知らせ	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	
24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
	教材配布（中学部） 中学部オンライン × 小学部オンライン ○ 幼稚部オンライン ○	教材配布（幼・小学部） 中学部オンライン ○ 小学部オンライン × 幼稚部オンライン ×	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	
31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業	入学式準備	
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
	入学式 在校生はオンライン	児童登校開始 幼稚部+中学部 小6 小5年以下(松組) 午前授業	幼稚部+中学部 小6 小5年以下(竹組) 午前授業	幼稚部+中学部 小6 小5年以下(松組) 午前授業	幼稚部+中学部 小6 小5年以下(竹組) 午前授業	
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
	中学部・小6 全日授業 小5年以下(松組) 幼稚部 午前授業	中学部・小6 全日授業 小5年以下(竹組) 幼稚部 午前授業	中学部・小6 全日授業 小5年以下(松組) 幼稚部 午前授業	中学部・小6 全日授業 小5年以下(竹組) 幼稚部 午前授業	中学部・小6 全日授業 小5年以下(松組) 幼稚部 午前授業	

※午前授業の場合は、3時間授業になるので **11:45分下校** になります。授業に関しては4月に出した時間割をもとに組んでください。

中学部→日本の先生と連絡を取り合って、英語や技術の授業に参加してもらう。美術の専科も行う。

小学部→日本の先生にも授業に入っていただく。（日本から教室に授業を配信）時間割は、基本韓国にいる先生のクラスの時間割で両クラスを行う。（子どもたちは、両クラスとも2週間で1週間分になります。）

幼稚部→通常通り

※教材配布のお知らせは、20日にHPとオンライン授業+ロイロノートを通してお知らせする。幼稚部は、学級委員さんにお願いする。

**2、教材の配布場所・時間 ※雨天決行**

自力（学校）				バス（お山公園）		
日	時間	学年	担当者	時間	学年	担当者
25	10:00~ 10:20~ 10:40~	中1 中2 中3	教頭・富家 松岡・森山	10:00~ 10:20~ 10:40~	中1 中2 中3	校長・谷川 奥村・朴愛 原田
26	10:00~ 10:20~ 10:40~	幼稚部 小学部 低学年 小学部 高学年	教頭・富家 小谷・井橋 山本 幼稚部 2名	10:00~ 10:15~ 10:30~ 10:45~ 11:00~ 11:15~ 11:30~ 11:45~ 12:00~	年少 年中 年長 小1 小2 小3 小4 小5 小6	校長・藤倉 櫻谷・原田 幼稚部 3名

※中学部は中学部の日、小学部は小学部の日に保護者に受け取りに来てもらう。

例えば、中学部・小学部のそれぞれに兄弟がいる場合は両日受け取りに来てもらう。

小学部・幼稚部、または同学部内に兄弟姉妹がいる場合は、初めに取り際に兄弟姉妹分をすべて渡す。

○運送方法

中学部：トラックを手配  
幼・小学部：ミニバンを手配

**3、配布するもの**

- 各学年で必要な教材・教具
- ダモア（4, 5月分）
- 健康観察カード
- 入学式・登校に関するプリント など



一つの封筒にまとめ、わかりやすいように記名しておく。  
(一つの封筒に入らない場合は複数でも可。ゴムなどで一つにまとめる。)

4月末から6月中旬まで第一弾オンライン授業が続いた。

6月までの、オンライン授業の成果と課題

## オンライン授業の成果と課題

### ○成果

- ・ZOOM のように相互で交流できることによって子どもたちの様子見とることができる。
- ・子どもと教師のみならず、子どもたち同士でも交流することができる。そのため、急に学校が休校になったことや外出禁止などからくる子どもたちの不安やストレスを軽減することができる。
- ・子どもたちが、規則正しい生活を送れるようになった。
- ・学習が、少しずつであるが定着することができている。学習指導要領に沿って学習を進めることができます。
- ・ICT 機器の活用を、教師はもちろん子どもたちもすることができた。
- ・ロイロノートを使うことで、手紙や課題の配布、回収ができた。今後も活用できそうである。

### ○課題

#### 〈家庭〉

- ・機器の確保が難しい家庭がある。特に兄弟姉妹がいる場合は、同じ時間に授業がある場合機器が複数台必要になります。また、各家庭によって使用している機器が違う。(スマホ、タブレット、パソコンなど)そのため、機器によって画面が見えづらい場合がある。
- ・幼稚部～小学部は、保護者のサポートが必須になってしまいます。ミュートやカメラの使い方など子どもたちだけでは難しい場面が多くあるため、授業の時間は保護者も一緒に参加しなくてはならない現状がある。(両親が共働きしている家庭にとって厳しい。)
- ・各家庭の WIFI やインターネット環境によって、音がすれてしまったり画面がフリーズしてしまったりすることがある。
- ・ZOOM やロイロノートの使い方を、子どもはもちろんだが親も覚えないと配布物や提出物などの管理が難しい。
- ・兄弟姉妹や機器の関係で、学校のように 1 時間目から授業を行うことができないため、授業がとびとびの時間になってしまいます。
- ・プリンターがない家庭は、印刷ができないため課題ができないことがある。

#### 〈学校〉

- ・インターネット環境があまりよくない。(特に WIFI) 各クラスで同時に配信する場合、画面がフリーズしてしまったり、声がとぎれとぎれになってしまったり、最悪インターネットが切れてしまうことがある。現時点では、応急的な対応としてモバイル WIFI を導入して行っている。
- ・教材研究に非常に時間がかかる。いつも通りに授業が行えないために、どのように展開すればよいのか、どのような教材が有効的なのかを探りで行っている。そのため、情報共有が必須だがコロナ感染防止のため時間の確保や話し合いの場を設けることが難しい。また、保護者もいろいろな学年の授業を見るため、先生方の授業を比較している現状もある。
- ・子どもたちが使用している機器が、それ違うため視覚的に伝えようとしても、うまくいかなかったりする場合がある。(スマホで受講している子どもたちもいるため。)
- ・ZOOM やロイロノートの操作を、まず教員がしっかり理解しないといけない。しかし、研修などの時間があまりとれていなかったため、各担任によって差がある現状がある。
- ・7 日までは、ソウルにいる教員でオンラインを行っていた。11 日以降は、日本にいる教員にもできるだけ参加して授業を行ってもらう予定です。しかし、日本にいる教員は、教科書や指導書、インターネット環境が十分でない方が多い。その中で、どのくらい授業を行えるのかが未知数である。
- ・幼稚部～小学部に関しては、親のサポートが必須のため常に授業を見られていることになる。常に授業参観のため、心情面で苦しくなってくる。(協力的な保護者が多いが、授業中に茶々を入れてくる保護者も数名いるのが現実である。)
- ・授業に参加できなかった子供たちのために、授業後、録画したものをロイロノートのアップしている。インターネットの状態にもよるが、かなり時間を要する場合もあるのでなかなか手間がかかる。
- ・教材を渡していないので、授業展開で難しい場面が多く出てくる。また、教科によってオンラインでは難しい場合が出てくる。(例えば、理科の春探しや種の観察など定見を通して学んでいくことが前提なので、同授業を展開していく工夫が必要になってくる。)
- ・専科の先生にも授業を行ってもらっているが、担任が授業を開き、録画したものをロイロノートにアップしなくてはいけないため、実質空き時間にならないことが多い。
- ・専科の時間も担任や担当が、ホストとして入っているので空き時間の確保が難しい。

韓国内の感染状況も落ち着き、7月20日から全校登校が始まった。  
しかし防疫対策の一環として保護者の立ち入りは禁止とした。  
授業参観や懇談会、フリー参観はすべてオンラインで行うようにした。（職員版）

## 2020 フリー参観週間&個別懇談について（幼・小・中）

教務

### 1 目的

- (1) 幼児、児童、生徒の園・学校生活を保護者に見てもらう機会とする。
  - (2) 家庭や学校の生活や学習について情報交換を行い、園児・児童の様子を知るとともに、今後
- の教育活動に活かす機会とする。

### 2 日時

令和2年12月1日(火)～12月4日(金) フリー参観（2校時～3校時まで）  
個別懇談（14：10～16：50）

**お弁当終了後13時10分 一斉下校**

### 3 場所

ソウル日本人学校 各教室、学習室

※1段階以上の防疫措置が継続されている場合は、ZOOM（オンライン）にて行う。

**※各担任にて、ZOOMのミーティングIDを取得してください。**

フリー参観→1日2時間、授業を配信 個別懇談会→オンラインで行う

### 4 参観、懇談内容

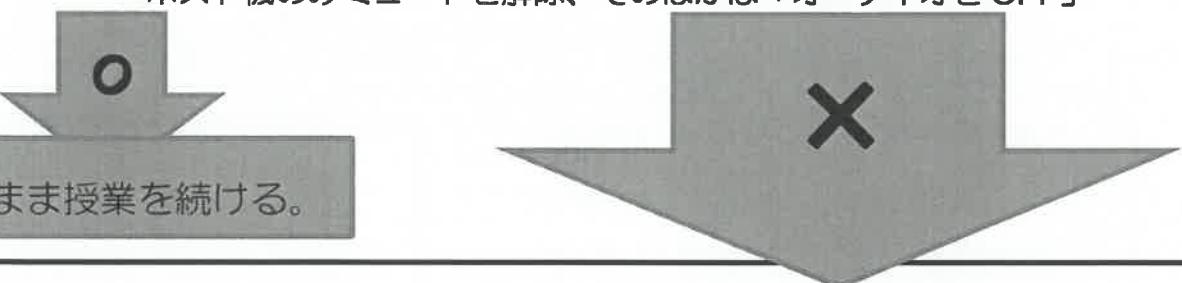
児童の学習・生活について

### 5 その他

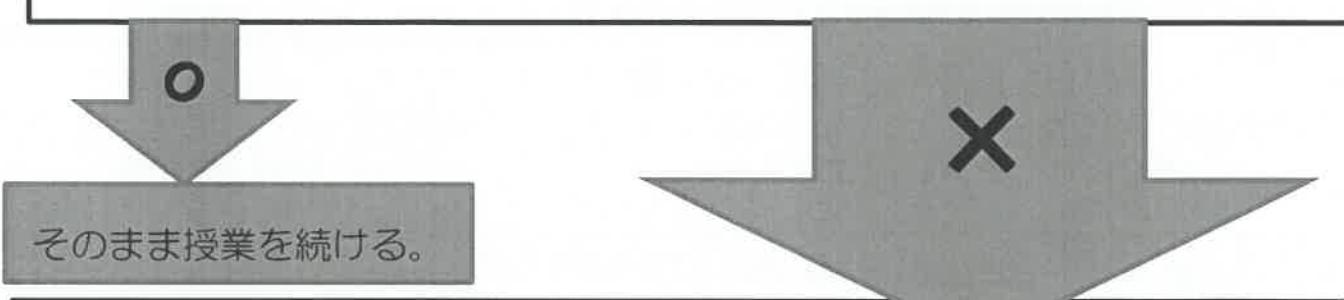
- (1) 兄弟関係が同じ日になるように、日程を組む。（原則、兄弟間の時間が1つ空きになるようにしておく。）**⇒先に組む学年は、できる範囲で兄弟がいる子を3番目以降に入れる。**
- (2) 兄弟、姉妹関係を考えて時間設定をしているので、保護者の方で空いているところ、変更可能なところを確認してもらうなど、保護者側から日程と時間を指定してもらう。（原則、教師が日程調整することがないようにする。）
- (3) 懇談当日、バスに乗らず保護者とともに下校する児童は、図書館の使用を可とする。ただし、教師の監督のもと、学校側で預かることはしない。また、懇談までに、自力下校をすることを、連絡帳等で確実に知らせてもらうようにする。
- (4) 懇談場所については、間のスペースで待機している保護者に懇談の話が聞こえないようするため、3年竹組、4年松組、5年竹組、6年松組は、各学年の学習室にて懇談を行う。（幼稚部、1、2年生は各教室にて行う。）
- (5) 返事に困る質問等があった場合は、即答することは避け、管理職へ報告する。

## フリー参観中のオンライン不具合の時の対処法

- ① クラス内で、授業で使うタブレットやパソコンは「SJS-AP」に接続。  
それ以外の使っていない機器（個人の携帯電話を含む）は、必ず wifi を OFF。  
「SJS-AP」に接続した機器のうちの1台で、ZOOM をホストとして開く。  
その他の機器は、ホストとしてではなく参加者として入室。  
ホスト機のみミュートを解除、そのほかは「オーディオを OFF」



**職員室に連絡する。** →原田・田中・富家に連絡する。  
**モバイルルーターにつなぐ。** 空いている職員が届けます



**タブレットにて、授業風景を録画する。**

※原田・田中・富家がセットしに行きます。

&さらに原田・田中・富家が、学級委員さんに連絡します

「〇年〇組のインターネットの調子がよくないので、本日の授業の様子はロイロノートに後日アップします。」

録画したものを、なるべくその日のうちにロイロノートにアップする。  
(担当：原田、田中)

※授業中、児童の名前以外で入室があった場合や不審者が入ってきた場合

→職員室に連絡いただければ、原田・田中・富家が教室に行き、その人を待機室に送ります。

## フリー参観・個別懇談会（保護者版）

### ○年○組 個別懇談会日程とフリー参観のお知らせ

秋涼の候、保護者の皆様にはますます健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、日程を決めさせていただきましたのでお知らせいたします。ご都合が悪い場合は、下記空欄の中でお選びいただき、担任まで変更のご連絡をお願いいたします。今年度は、コロナウィルス感染防止の観点よりオンライン（ZOOM）にて個人懇談を行います。

また、例年懇談会期間中は本校のフリー参観週間と位置づけておりましたが、今年度に限り2、3校時をオンライン（ZOOM）にて公開します。ご家庭にて、参観することができます。

参観・個別懇談のミーティングIDは、下記の通りになっております。外部に漏れないようご理解ご協力をお願いします。個別懇談の際は、各クラスのミーティングIDに待機室を設定します。こちらから認証するまで入室できませんので、お時間になりましたらアクセスをお願いします。待機室にいる際は、右記のような画面が表示されますので、そのままお待ちいただけますようよろしくお願いします。

記

#### クラスミーティング ID

授業参観用 ミーティングID：\_\_\_\_\_ PW：\_\_\_\_\_  
個人懇談用 ミーティングID：\_\_\_\_\_ PW：\_\_\_\_\_

時間	日程	12月1日（火）	12月2日（水）	12月3日（木）	12月4日（金）			
		14:10～14:30	14:30～14:50	14:50～15:10	15:10～15:30	15:30～15:50	15:50～16:10	16:10～16:30
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

※懇談時間は20分間設定しておりますが、接続などの準備時間もありますので、実質の面談時間は10分～15分間になります。ご承知おきください。

日	程	小学部（中学部）
第2校時		9:20～10:05(10)
第3校時		10:30(25)～11:15
幼稚部		幼稚部の参観時間は10:30～11:30

※懇談期間中は、（12月1日（火）～4日（金））13時10分一斉下校となります。

## フリー参観・個別懇談会（保護者版）

保護者の皆様

令和2年11月19日

ソウル日本人学校  
校長

### フリー参観のお知らせ

日頃より本校教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

例年懇談会期間中は本校のフリー参観週間と位置づけておりましたが、今年度に限り2. 3校時をオンライン（ZOOM）にて公開します。ご家庭にて、参観することができます。

本校といたしましてもオンラインでの授業参観は、初めての試みです。そのため、以下の点につきましてご理解ご協力いただけますようよろしくお願ひします。

記

#### ① 接続方法

- 基本的に、担任が配布しましたクラスのミーティングIDにて授業を行います。
- 外国語と英会話につきましては、各クラス（学年）をいくつかのグループに分けて行うため、下記のミーティングIDにアクセスをお願いします。

（英会話）※（ ）はパスワード 私は（ ）クラスです。

1年生	方先生	クラスのミーティングID	野々口先生 613-564-3500(XXXX)
2年生	保母先生	クラスのミーティングID	李先生 521-731-2885(XXXX)
3年生	保母先生	クラスのミーティングID	李先生 521-731-2885(XXXX)
4年生	方先生	クラスのミーティングID	野々口先生 613-564-3500(XXXX)
5年生	方先生	657-407-9890(1001)	保母先生 クラスのミーティングID
6年生	Aクラス	李先生 432-297-9450(XXXX)	Bクラス 野々口先生 クラスのミーティングID
中学1年生	Aクラス（野々口先生） 613-564-3500(XXXX)	Bクラス（保母先生） クラスのミーティングID	Cクラス（李先生） 521-731-2885(XXXX)
中学2年生	Aクラス（李先生） 521-731-2885(XXXX)	Bクラス（野々口先生） 613-564-3500(XXXX)	Cクラス（保母先生） クラスのミーティングID
中学3年生	Aクラス（野々口先生） 613-564-3500(XXXX)	Bクラス（保母先生） クラスのミーティングID	Cクラス（李先生） 521-731-2885(XXXX)

（韓国語）※（ ）はパスワード 私は（ ）クラスです。

1年生	うさぎクラス（オ先生） クラスのミーティングID	ねこクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)
2年生	うさぎクラス（オ先生） クラスのミーティングID	ねこクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)
3年生	トクラス（ジョン先生） 388-667-6926(XXXX)	トクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)
4年生	トクラス（ジョン先生） 388-667-6926(XXXX)	トクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)
5年生	トクラス（ジョン先生） 388-667-6926(XXXX)	トクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)
6年生	トクラス（ジョン先生） 388-667-6926(XXXX)	トクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)
中学1年生	トクラス（ジョン先生） 388-667-6926(XXXX)	トクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)
中学2年生	トクラス（ジョン先生） 388-667-6926(XXXX)	トクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)
中学3年生	トクラス（ジョン先生） 388-667-6926(XXXX)	トクラス（ジン先生） 986-524-8618(XXXX)

#### ② アクセスについて

- 今回のオンライン授業参観はZOOMを使用して行います。ZOOMは1アカウント（1つの授業）につき、アクセス数の制限があります。そのため、各家庭1つの機器のみでアクセスをお願いします。皆さんのが複数の機器で接続してしまいますと、ほかの保護者の方がアクセスできなくなってしまう恐れがあります。
- 授業や個人面談の際はお子さんの氏名（フルネーム）でアクセスをお願いします。それ以外の名前で接続された場合、個人情報の関係上こちらから強制退出させていただく場合もございます。ご理解ご協力をお願いします。
- 今回の授業参観は、ライブ配信のみとなります。また、録画や写真撮影はご遠慮ください。
- 学校から授業の様子を2~3台の端末で配信します。ギャラリービューにてお子さんの様子が見やすい画面にて、右上の「...」をクリックしていただき「ピン」で留めていただくことで大きな画面でお子さんの様子を参観することができます。※機器によって操作が異なる場合があります。

③ 時間割につきましては、各学年によりまたは学級によりをご覧ください。

12月中旬、コロナウイルス第3波によって、再度全校オンラインへの転換。  
第1回目のオンラインの反省を生かし、各クラスごと課題学習の時間などを設定した。

令和2年12月14日

保護者の皆様

ソウル日本人学校  
校長 小山 一成

## 新型コロナウイルス「COVID-19」感染防止措置による学校の対応について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

先日、ソウル市から発表されました新型コロナウイルス「COVID-19」の防疫体制強化に伴い、ソウル特別市教育庁、さらに大使館及び学校運営委員会のご指導・助言に基づき、以下の通りに対応します。今後の学校運営についても「園児・児童・生徒の安全」を最優先すべきと考えております。ご理解ご協力のほどお願いいたします。

記

### ◎12月15日(火)から全学部オンライン授業に切り替えます。

①期日 12月15日(火)～12月23日(水) ※変更があり次第、すぐにお知らせします。  
※12月24日(木)～1月6日(水)は冬休みとなりますのでオンライン授業はありません。

#### ②授業方法

○時間割が、通常と異なります。下記の時間割で行いますので、開始時間や教科、授業の進め方は明日のオリエンテーションでお伝えします。教科のオンライン授業につきましては、明後日(16日)より本格スタートします。オンライン授業は、1コマ40分授業になります。

○兄弟姉妹で重なってしまう場合は、どちらかのお子さんのほうで受講していただき、受講できなかつたお子さんにつきましては授業時間が終了後、ロイロノートにアップされる動画をご覧いただき学習を進めていただければと思います。ただし幼稚部はロイロノートを使用していないので、ライブのみとなります。また、学校にあるタブレットの貸し出しも可能ですので、必要な方は学校までお電話にてご連絡ください。また、韓国語・英会話につきましては、コース別学習になりますので幼稚部の授業同様ライブのみとなります。

○各授業に参加される場合は、必ず園児・児童・生徒の氏名をお願いします。違う名の場合は、セキュリティ上こちらが入室を許可しなかったり、待機室へ送ったりすることもありますのでご承知ください。

### 明日(15日)オリエンテーションの時間

	年少	年中	年長	1松	1竹	2松	2竹	3松	3竹	4松	4竹	5松	5竹	6松	6竹	中1	中2	中3
1h:8:20～ 担当教師				オリ 担任	オリ 担任							オリ 担任	オリ 担任					オリ 担任
2h:9:20～ 担当教師				オリ 担任		オリ 担任	オリ 担任							オリ 担任	オリ 担任			
3h:10:25～ 担当教師	オリ 担任							オリ 担任	オリ 担任							オリ 担任		
4h:11:25～ 担当教師		オリ 担任								オリ 担任	オリ 担任						オリ 担任	

※オリエンテーションで行うこと(各クラスのミーティングIDに接続してください。)

- ・オンライン授業の約束
- ・オンライン授業の進め方
- ・23日(水)までの時間割についてなど

## 基本の時間割

	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
1時間目：8:20～				授業	授業			授業	授業	課題学習	授業	授業
担当教師				担当	担当			担当	担当	各自	担当	担当
2時間目：9:20～			学級	課題学習		授業	授業	課題学習	課題学習	授業	課題学習	課題学習
担当教師			担当	各自		担当	担当	各自	各自	担当	各自	各自
3時間目：10:25～	学級			授業	授業	課題学習	授業	授業	授業	課題学習	授業	授業
担当教師	担当			担当	担当	各自	各自	担当	担当	各自	担当	担当
4時間目：11:25～		学級			課題学習	授業	授業		課題学習	授業	課題学習	課題学習
担当教師		担当			各自	担当	担当		各自	担当	各自	各自
5時間目：13:00～	英会話	英会話	英会話	授業	授業		課題学習	授業	授業	課題学習	授業	授業
担当教師	※水・木	※水・木	※水・木	担当	担当		各自	担当	担当	各自	担当	担当
6時間目：13:50～						授業	授業	課題学習		授業	課題学習	課題学習
担当教師						担当	担当	各自		担当	各自	各自

※課題学習については、各学年やクラス、前の授業で指示がありますのでその課題に取り組んでください。

また、課題学習時はオンライン接続はせず各個人で取り組んでください。課題が終わり次第、各自で休み時間を取ってください。

※上記の時間割は、基本の時間割ですので変更になることもありますので詳しい時間割につきましては、  
明日のオリエンテーションでお知らせします。

## 各クラスミーティングID

クラス名	ミーティングID	ミーティングパスワード
年少組	543-735-1512	
年中組	902-539-2499	
年長組	774-577-0597	
小学部1年松組	588-922-1701	
小学部1年竹組	857-898-2423	
小学部2年松組	715-918-1906	
小学部2年竹組	702-232-2208	
小学部3年松組	499-191-4249	
小学部3年竹組	551-232-2160	
小学部4年松組	248-841-6320	
小学部4年竹組	785-281-1580	
小学部5年松組	408-969-7626	
小学部5年竹組	936-830-2170	
小学部6年松組	432-297-9450	
小学部6年竹組	928-748-8741	
中学部1年生	564-422-3086	
中学部2年生	393-581-0547	
中学部3年生	206-369-9267	



第一弾オンライン授業から、第二弾オンラインで変更したところ  
1年を通してのオンライン授業の成果と課題（年度末に追記したもの赤字）

## オンライン授業の成果と課題

### ○成果（良かった点）

- ・ZOOM のように相互で交流できることによって子どもたちの様子見とることができる。
- ・子どもと教師のみならず、子どもたち同士でも交流することができる。そのため、急に学校が休校になったことや外出禁止などからくる子どもたちの不安やストレスを軽減することができる。
- ・子どもたちが、規則正しい生活を送れるようになった。
- ・学習が、少しずつであるが定着することができている。学習指導要領に沿って学習を進めることができる。
- ・ICT 機器の活用を、教師はもちろん子どもたちもすることができた。
- ・ロイロノートを使うことで、手紙や課題の配布、回収ができた。今後も活用できそうである。
- ・外面共有することで、細かいところまで子どもたちに見せることができ。ホワイトボードを拡大したり、図工や家庭科など手元を拡大して見せたり、子どもたちに見せたいところをクローズアップすることができる。
- ・グループ活動や対話を重要な時に、アウトブレーカー（グループセッション）を活用することができる。現在、防疫対策の一環でグループ活動が思うようにできないがオンラインでは大いにすることができる。
- ・授業内容によっては、大人数を一斉に指導することができる。（しかし一方で、見切れない場合があ、少人数のほうが有効的なことが多い。）
- ・始業式や終業式、集会など大勢で集まるのが難しい場合でもオンラインを活用すればできる。
- ・フリー参観や懇談会など、校外行事に関してはオンラインを活用すればできる。（オンラインフリー参観は、複数カメラで教室の様子を発信し、保護者が自分の子どもやクラス全体の様子などが分かるようにした。）
- ・オンライン授業は、様々な方法でできるとわかった。
  - \*教科書をスキャンして教科書を映しながら行う。
  - \*パワーポイントにて、授業の流れを作成しておき授業を行う。
  - \*タブレットのノートアプリを画面に映して、ノートを取りながら行う。
  - \*できたる教科書を活用する。
  - \*ZOOM 機能のホワイトボードやブレイクアウトセッション、質問機能などを活用する。
  - など、先生たち一人ひとりが自分のやりやすい方法や単元によってより子どもたちに伝わりやすい方法で行うことができた。
- ・オンラインだからできる授業が展開できる。
  - \*日本の学校とつなぐ。
  - \*外部講師を依頼することができる。
  - \*普段授業では行えない場所で授業を行うことができる。
- ・一人ひとりの様子を画面を通してじっくり見ることができる。
- ・録画を通して、子どもたちが何度も学ぶことができる。
- ・教師側が複数の端末を使うと有効的であることが分かった。
  - \* 子供と同じ画面を映しておくもの
    - \*子ども全員の様子が見えるもの など
- ・教員自身が自宅からでも、パソコンインターネット環境があれば授業を行うことができる。
- ・ロイロノートを活用すれば宿題や課題を毎日出すことや回収をすることができる。一覧で見ることができるので管理がとてもしやすい



## ○課題（赤字は、後期改善したもの）

### 〈家庭〉

- ・機器の確保が難しい家庭がある。特に兄弟姉妹がいる場合は、同じ時間に授業がある場合機器が複数台必要になります。また、各家庭によって使用している機器が違う。（スマホ、タブレット、パソコンなど）そのため、機器によって画面が見えづらい場合がある。  
→学校にタブレット機器を大量に導入し、タブレットの貸し出しを行った。
- ・幼稚部～小学部は、保護者のサポートが必須になってしまい。ミュートやカメラの使い方など子どもたちだけでは難しい場面が多くあるため、授業の時間は保護者も一緒に参加しなくてはならない現状がある。（両親が共働きしている家庭にとって厳しい。）  
→幼稚部に関しては、まだ難しいところはあるが小学校低学年の子どもたちは機器にも慣れ一人でも参加できるようになってきた。授業の決まりややり方も行っていくうちに習得できた。
- ・各家庭の WIFI やインターネット環境によって、音がすれてしまったり画面がフリーズしてしまったりすることがある。
- ・ZOOM やロイロノートの使い方を、子どもはもちろんだが親も覚えないと配布物や提出物などの管理が難しい。  
→保護者の方も使い方にだいぶ慣れ、手紙配布や連絡のやり取りなどロイロノートが活用がよりできるようになってきた。
- ・兄弟姉妹や機器の関係で、学校のように 1 時間目から授業を行うことができないため、授業がとびとびの時間になってしまい。  
→学校にタブレット機器を大量に導入し、タブレットの貸し出しを行った。
- ・プリンターがない家庭は、印刷ができないため課題ができることがある。  
→ロイロノート上で記入することはできるように工夫したが、やはり鉛筆と違い字の止めやはね、はらいなど細かいところまで行うことは難しい。中学部や大人ならタブレット上で記入でもよいが、小学部などに関して難しい場面も多くあった

### 〈学校〉

- ・インターネット環境があまりよくない。（特に WIFI）各クラスで同時に配信する場合、画面がフリーズしてしまったり、声がとぎれとぎれになってしまったり、最悪インターネットが切れてしまうことがある。現時点では、応急的な対応としてモバイル WIFI を導入して行っている。  
→4月当初学校のインターネットの不具合や回線の容量不足などが影響していたが、モバイルルーターなどを業者からレンタルをして対応してきた。しかし、モバイルルーターも日や時間によってつながりにくくなってしまった。文科省からの ICT 整備授業からの予算にて学校内 LAN や無線 LAN の整備を行った。整備を行ったことでオンライン授業がスムーズに行える環境が整った。しかし、幼稚部や特別教室などに至っては整備ができていないので今後も継続して整備していく必要がある。
- ・教材研究に非常に時間がかかる。いつも通りに授業が行えないために、どのように展開すればよいのか、どのような教材が有効的なのかを探りで行っている。そのため、情報共有が必須だがコロナ感染防止のため時間の確保や話し合いの場を設けることが難しい。また、保護者もいろいろな学年の授業を見る事ができるため、先生方の授業を比較している現状もある。  
→教員研修や他の先生方の授業の録画などを活用し教材研究を行っていった。やはり、通常の授業以上に教材研究に時間がかかるのは事実である。今後もさらにどんな手法がより有効的なのかを研究していく室用がある。
- ・子どもたちが使用している機器が、それ違うため視覚的に伝えようとしても、うまくいかなかつたりする場合がある。（スマホで受講している子どもたちもいるため。）  
→学校にタブレット機器を大量に導入し、タブレットの貸し出しを行った。
- ・ZOOM やロイロノートの操作を、まず教員がしっかり理解しないといけない。しかし、研修などの時間があまりとれていなかったため、各担任によって差がある現状がある。  
→教員研修や他の先生方の授業の録画などを活用し教材研究を行っていった。やはり、通常の

授業以上に教材研究に時間がかかるのは事実である。今後もさらにどんな手法がより有効的なのかを研究していく必要がある。

- ・7日までは、ソウルにいる教員でオンラインを行っていた。11日以降は、日本にいる教員にもできるだけ参加して授業を行ってもらう予定である。しかし、日本にいる教員は、教科書や指導書、インターネット環境が十分でない方が多い。その中で、どのくらい授業を行えるのかが未知数である。
- ・幼稚部～小学部に関しては、親のサポートが必須のため常に授業を見られていることになる。常に授業参観のため、心情面で苦しくなってくる。(協力的な保護者が多いが、授業中に茶々を入れてくる保護者も数名いるのが現実である。)
- ・授業に参加できなかった子供たちのために、授業後、録画したものをロイロノートのアップしている。インターネットの状態にもよるが、かなり時間を要する場合もあるのでなかなか手間がかかる。

→文科省からのICT整備授業からの予算にて学校内LANや無線LANの整備を行った。整備を行ったことでオンライン授業がスムーズに行える環境が整った。しかし、幼稚部や特別教室などに至っては整備ができていないので今後も継続して整備していく必要がある。

- ・教材を渡していないので、授業展開で難しい場面が多く出てくる。また、教科によってオンラインでは難しい場合が出てくる。(例えば、理科の春探しや種の観察など定見を通して学んでいくことが前提なので、同授業を展開していく工夫が必要になってくる。)

→数か月に1回というような形で教材配布の日を設けた。そのことによって教材や学校からの配布物を配ることができた。

- ・専科の先生にも授業を行ってもらっているが、担任が授業を開き、録画したものをロイロノートにアップしなくてはいけないため、実質空き時間にならないことが多い。専科の時間も担任や担当が、ホストとして入っているので空き時間の確保が難しい。

→専科の先生方にも、ZOOMの使い方をはじめ、ロイロノートの使い方の研修を行った。専科の先生や講師の先生のスキルアップも進んできているが、多少の差があるので今後も研修が必要だと感じた。

オンライン授業やオンラインを活用しての行事を行ってきて、様々な成果や課題が出てきた。このコロナウィルス感染拡大のオンライン授業は、不可欠なものと考えられる。このコロナ禍、外出も自由にできない子どもたちにとって、オンライン授業は心のよりどころとなっている。授業が受けられることはもちろんだが、友だちや教師とのかかわりをもつことができるからである。しかし、今回ソウル日本人学校だからできたともいえる。それは環境面が一番大きく影響している。(保護者の支援体制や校内のインターネット環境など)

## あとがき

「主体的・対話的で深い学びの実現」～世界に向か心を開く子どもの育成～をテーマとする本年度の研究では、多面的・多角的な考え方を深める指導の工夫、自他を尊重し共に生きようとする態度を育てる工夫、ICT活用の在り方、を研究の視点におき授業実践が行われました。

本校の特色の一つは、幼稚部・小学部・中学部が同じ敷地内に存在していることです。今年度は残念ながらコロナ禍の中で、学校行事をはじめ、縦割りでの活動が年間を通して十分に行われる事ができませんでした。しかし、幼児、児童、生徒のみならず、教職員も校内研究及び日々の授業において、常に「主体的・対話的で深い学びの実現」を育てていくという共通認識のもと、全ての教育活動に結び付く実践的な研究が進められています。

本年度は、小学部3年篠原倫夫先生による社会科の授業、が代表研究として行われました。この研究授業を筆頭に、小学部、中学部の教員がブロック授業を公開してくれました。どの授業も子どもの主体性を生かし、オンラインを含む授業の中で対話的な授業形態で進められていました。また、授業以外にも教員研修の中で、韓国をもっと知ろうということで、阪元・井越・松岡先生の韓国文化理解の発表会がありました。合わせて、プログラミング教育やジャストスマイルの活用についての研修会もありました。さらに、小学部4年生の子供たちがインターネットを使ったテレビ通信交流、世界3か国（岐阜・シドニー・シンガポール）日本人学校、中学部が熊本やソウルの善一中学の子ども達と交流を果たすことができました。パソコン教室の整備、タブレットも一人1台確保され多くの子ども達が授業の中で利用活用する事ができ、パソコン教育も充実させることができました。

結びに、今後も続けて研究に取り組み研究の成果をより確かなものにして子ども達の能力を高めていけるように心がけていきたいと思います。

次年度も、この研究を積み重ね子ども達にとって、より良い教育活動に成りうるよう取り組みを継続しなければなりません。

令和3年3月  
ソウル日本人学校  
教頭 西川 隆志

## 令和2年度 研究同人

番号	氏名	フリガナ
校長	小山 一成	コヤマ カズシゲ
教頭	西川 隆志	ニシカワ タカシ
教務	原田 克巳	ハラダ カツミ
副教務	金 惠榮	キム ヘヨン
園長	林 宣伶	イム ソニョン
主任	朴 賢倣	パクヒョンスク
たんぽぽ(年少)	李 尚恩	イ サンウン
さくら(年中)	本間 美由紀	ホンマ ミユキ
ひまわり(年長)	永友 美紀	ナガトモ ミキ
1松	小谷 美幸	コタニ ミユキ
1竹	市原 綾馬	イチハラ リョウマ
2松	谷内 真二	タニウチシンジ
2竹	井橋 由貴子	イハシ ユキコ
3松	今村 肇彦	イマムラ タケヒコ
3竹	篠原 倫夫	シノハラ ノリオ
4松	霜鳥 一幸	シモトリ カズユキ
4竹	櫻谷 幸代	サクラダニ サチヨ
5松	阪元 啓介	サカモト ケイスケ
5竹	山本 雄太	ヤマモト ユウタ
6松	藤倉 隆行	フジクラタカユキ
6竹	井越 基子	イコシ モトコ
中主任	松岡 英志	マツオカエイシ
副教務	森山 喜明	モリヤマヨシアキ
中1	奥村 健二	オクムラ ケンジ
中2	小林 実季	コバヤシ ミノリ
中3	谷川 貴美代	タニガワ キミヨ

番号	氏名	フリガナ
司書教諭 現地交流	安 賢卿	アン ヒョンギョン
担当(韓) 校外学習	吳 柔昊	オ ユギョン
講師	田 中 惠	タナカ メグミ
養護教諭	奥田 奈央	オクダ ナオ
事務長	富家 真理	トミイエ マリ
事務	田 起燕	ジョン ギヨン
事務	禹 恩玲	ウ ウニヨン
事務	朴 愛美	パク エミ
電気技師	金 鎮泉	キムジンチョン
警備主任	安 孝必	アン ヒヨビル
警備 外部委託	李 孝永	イ ヒヨヨン
警備 外部委託	申 汀鑑	シン ジョンホ
警備 外部委託	金 鎮泉	キム ジンチョン
講師(家庭)	池 上 徳子	イケガミ ノリコ
講師(音楽)	山 本 典子	ヤマモト ノリコ
講師(音楽)	太 田 朝子	オオタ トモコ
講師(英)	保 母 理絵	ボボ リエ
講師(英)	李 恩珠	イ ウンジュ
講師(英)	野々口 香織	ノノグチ カオリ
講師(英)	方 秀援	パン スウォン
講師(韓)	陳 恩映	チン ウニヨン
講師(韓)	田 慧敏	ジョン ヘミン
スクールカウンセラー	巖 ダンビ	オム ダンビ
清掃 外部委託	朴 貴玉	パク グイオク
清掃 外部委託	鄭 淑子	ジョン ソクシャ



